

男女共同参画についての市民意識調査

調査結果報告

平成24年2月
新潟県村上市

■目次

1 市民意識調査の概要	1
2 回答者の属性	2
3 男女の平等感について	5
4 家庭・結婚生活について	12
5 在宅介護について	28
6 就労について	30
7 教育について	42
8 地域活動等について	44
9 ワーク・ライフ・バランスについて	45
10 暴力等について	48
11 男女共同参画の推進について	55
12 意見や要望など	57
13 各設問における「その他」の意見	66

1 市民意識調査の概要

1 調査方法

- (1) 調査地域 村上市全域
- (2) 調査対象 村上市在住の満 20 歳以上の男女
- (3) 標本数 2,000 (男性 999、女性 1,001)
- (4) 標本抽出法 住民基本台帳より無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送により調査票・返信用封筒を配布し、郵送により回収

2 調査項目

- (F) 回答者の属性
 - (1) 男女の平等感について
 - (2) 家庭・結婚生活について
 - (3) 在宅介護について
 - (4) 就労について
 - (5) 教育について
 - (6) 地域活動等について
 - (7) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について
 - (8) 暴力等について
 - (9) 男女共同参画の推進について
 - (10) 意見や要望など

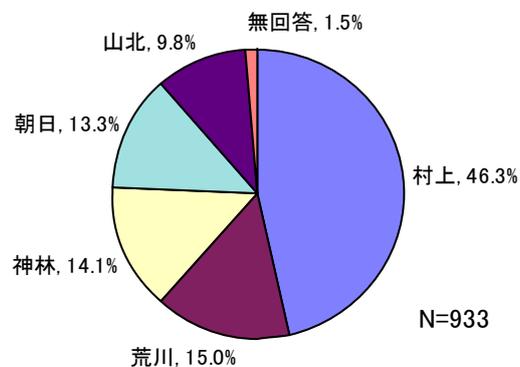
3 回収結果

- (1) 有効回収数 933 (男性 433、女性 486、性別不明 14)
- (2) 回収率 46.7% (男性 43.3%、女性 48.6%)

2 回答者の属性

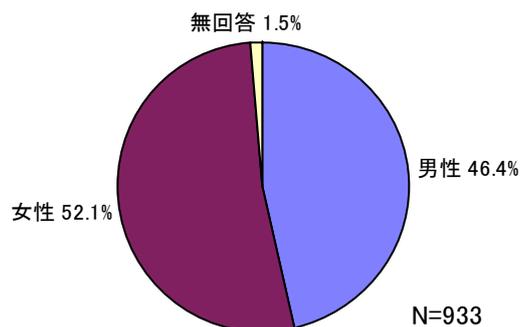
F 1 住んでいる地区について

選択項目	回答数	構成比
村 上	432	46.3%
荒 川	140	15.0%
神 林	132	14.1%
朝 日	124	13.3%
山 北	91	9.8%
無回答	14	1.5%
計	933	100.0%



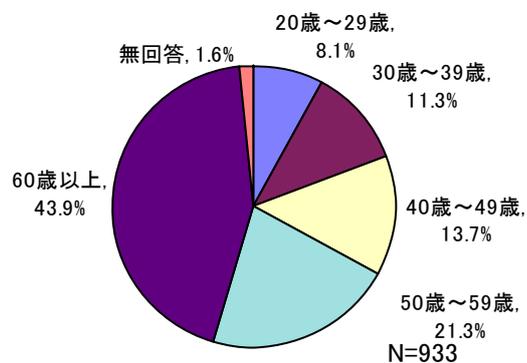
F 2 性別について

選択項目	回答数	構成比
男 性	433	46.4%
女 性	486	52.1%
無回答	14	1.5%
計	933	100.0%



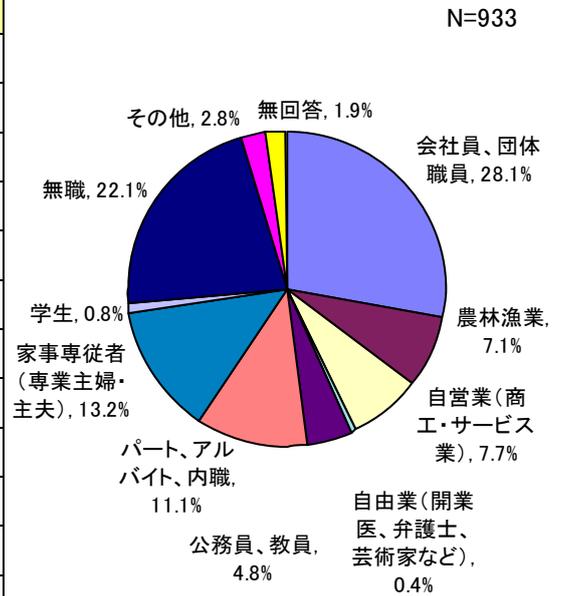
F 3 年齢について

選択項目	回答数	構成比
20歳～29歳	76	8.1%
30歳～39歳	105	11.3%
40歳～49歳	128	13.7%
50歳～59歳	199	21.3%
60歳以上	410	43.9%
無回答	15	1.6%
計	933	100.0%



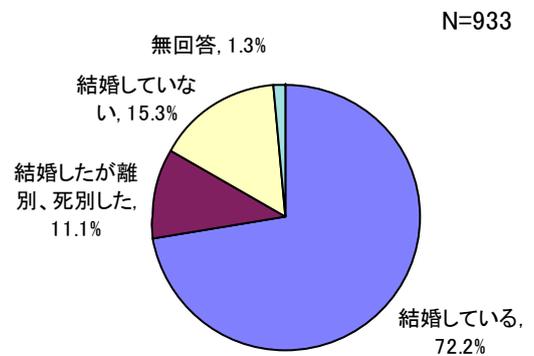
F 4 職業について

選択項目	回答数	構成比
会社員、団体職員	262	28.1%
農林漁業	66	7.1%
自営業(商工・サービス業)	72	7.7%
自由業(開業医、弁護士、芸術家など)	4	0.4%
公務員、教員	45	4.8%
パート、アルバイト、内職	104	11.1%
家事専従者(専業主婦・主夫)	123	13.2%
学生	7	0.8%
無職	206	22.1%
その他	26	2.8%
無回答	18	1.9%
計	933	100.0%



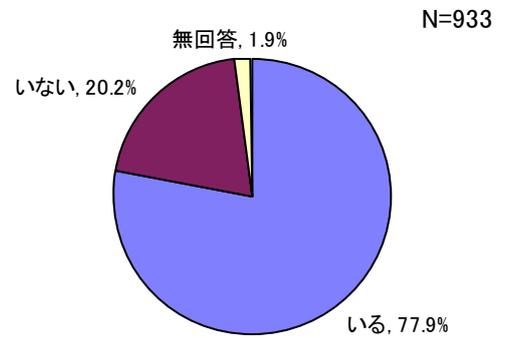
F 5 結婚(事実婚)について

選択項目	回答数	構成比
結婚している	674	72.2%
結婚したが離別、死別した	104	11.1%
結婚していない	143	15.3%
無回答	12	1.3%
計	933	100.0%



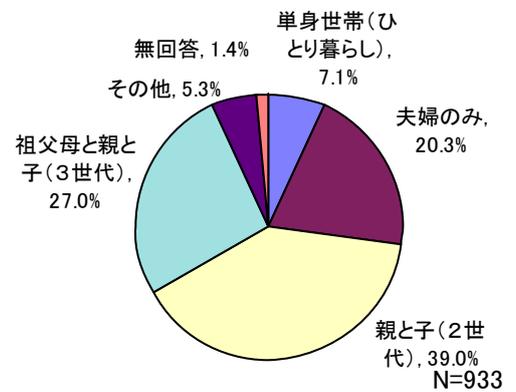
F 6 子どもの有無について

選択項目	回答数	構成比
いる	727	77.9%
いない	188	20.2%
無回答	18	1.99%
計	933	100.0%



F 7 家族の構成について

選択項目	回答数	構成比
単身世帯(ひとり暮らし)	66	7.1%
夫婦のみ	189	20.3%
親と子(2世代)	364	39.0%
祖父母と親と子(3世代)	252	27.0%
その他	49	5.3%
無回答	13	1.4%
計	933	100.0%



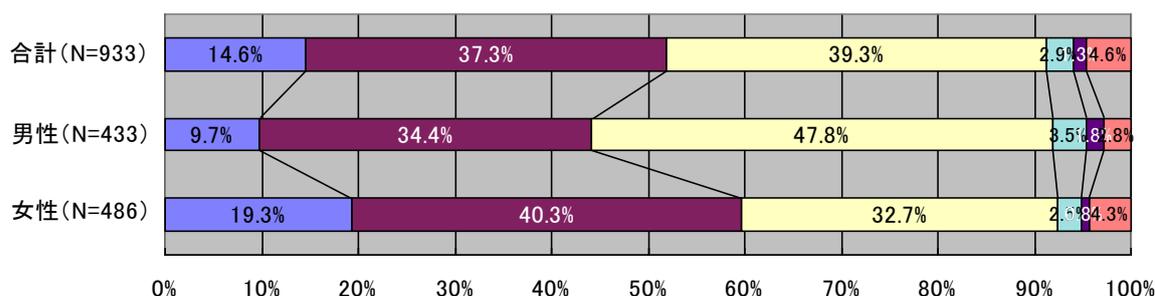
3 男女の平等感について

問1 今の村上市での男女の地位の平等についてどのように思われますか。それぞれの項目について、あなたの考えに最も近いものを選んでください。

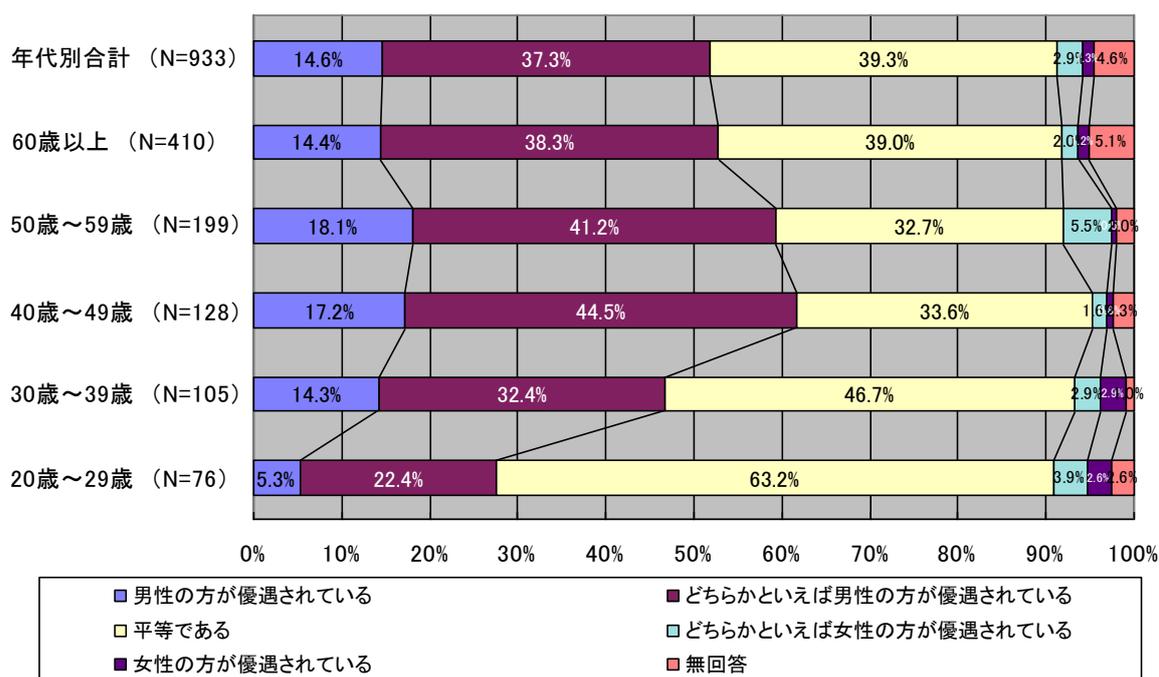
① 家庭の中で

- 全体では、「平等である」が39.3%で最も多い。
- 「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせると、51.9%（男性44.1%、女性59.6%）となっている。
- 男女別で見ると、男性は「平等である」が47.8%で最も多く、女性は「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が40.3%で最も多くなっている。
- 年代別で見ると、20～30代、60歳以上では「平等である」が最も多く、40～50代では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も多くなっている。

【男女別】



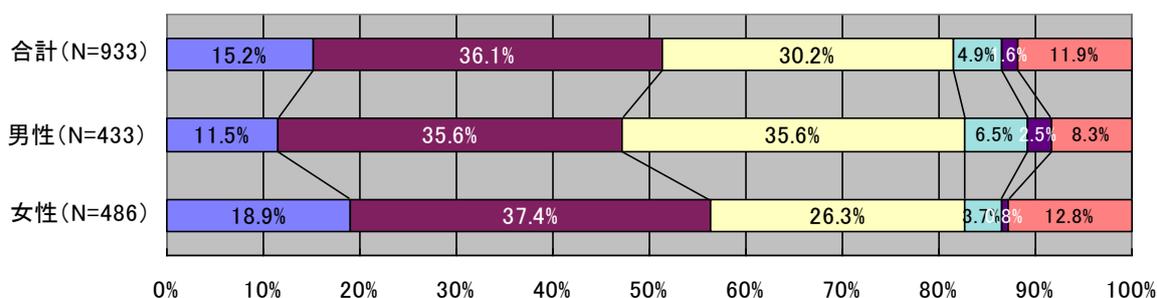
【年代別】



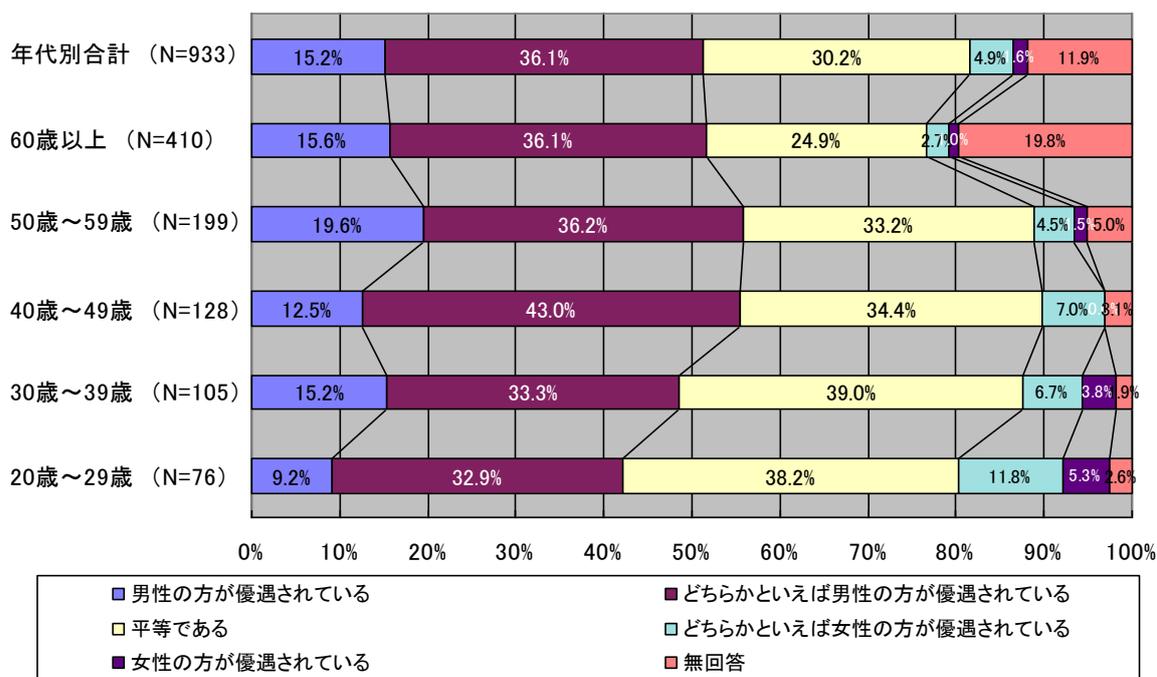
②職場の中で

- 全体では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が36.1%で最も多い。
- 「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせると51.3%（男性47.1%、女性56.3%）となっている。
- 男女別で見ると、男性は「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と「平等である」が35.6%で最も多く、女性は「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が37.4%で最も多くなっている。
- 年代別で見ると、20～30代では「平等である」が最も多く、40代以上では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も多くなっている。

【男女別】



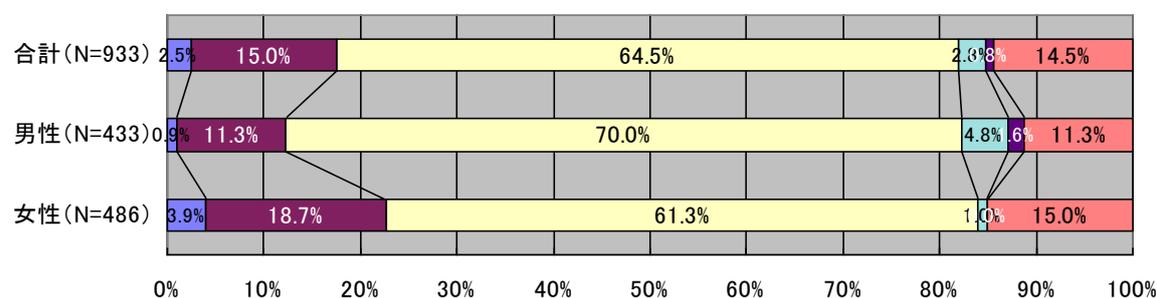
【年代別】



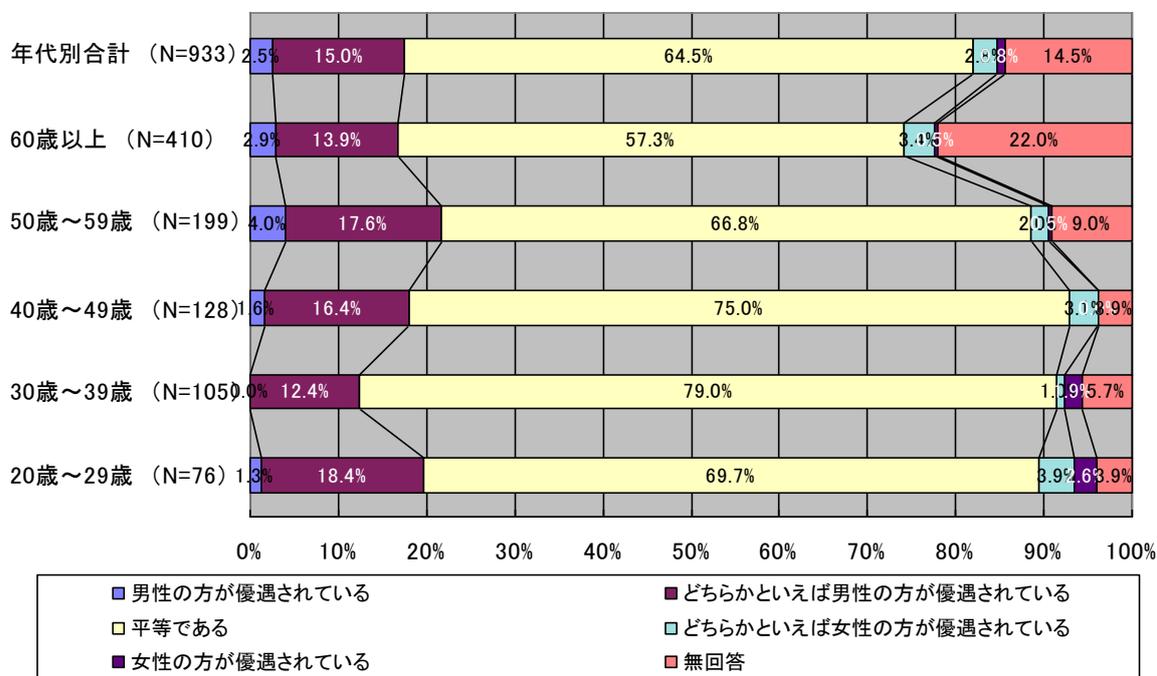
③学校教育の場で

- 全体では、「平等である」が64.5%で最も多い。
- 「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせると、17.5%（男性12.2%、女性22.6%）となっている。
- 男女別で見ると、男女とも「平等である」が最も多い。（男性70.0%、女性61.3%）
- 年代別で見ると、どの年代でも「平等である」が最も多い。

【男女別】



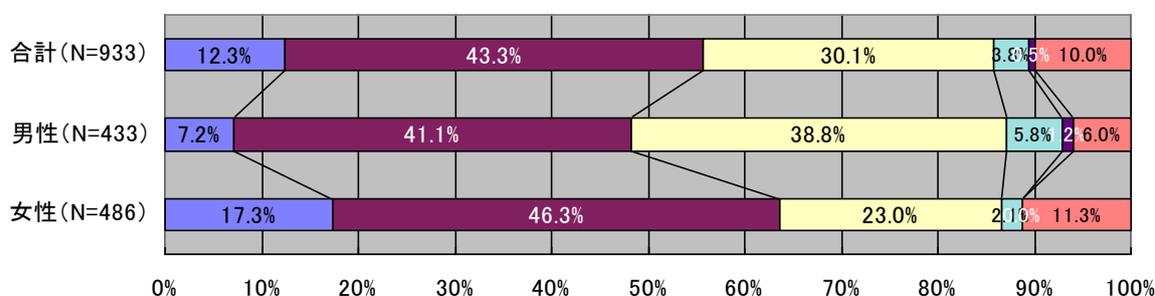
【年代別】



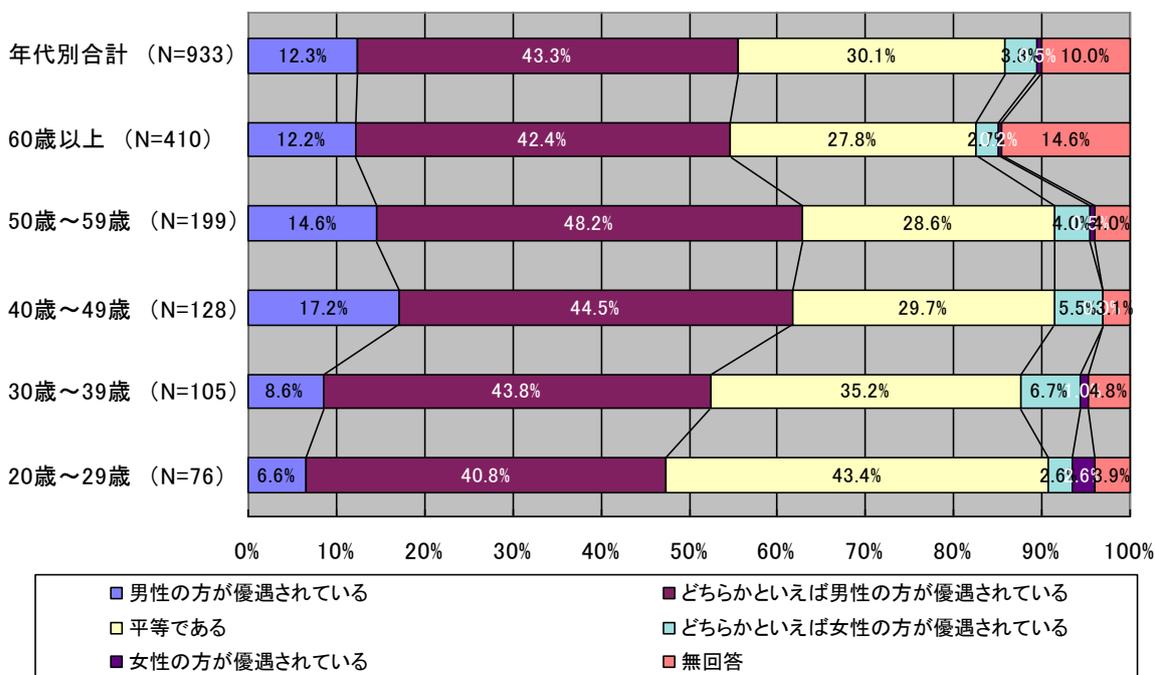
④地域社会の中で

- 全体では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が 43.3%で最も多い。
- 「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせると、55.6%（男性 48.3%、女性 63.6%）となっている。
- 男女別で見ると、男女とも「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も多い。（男性 41.1%、女性 46.3%）
- 年代別で見ると、20代では「平等である」が最も多く、他の年代では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も多くなっている。

【男女別】



【年代別】



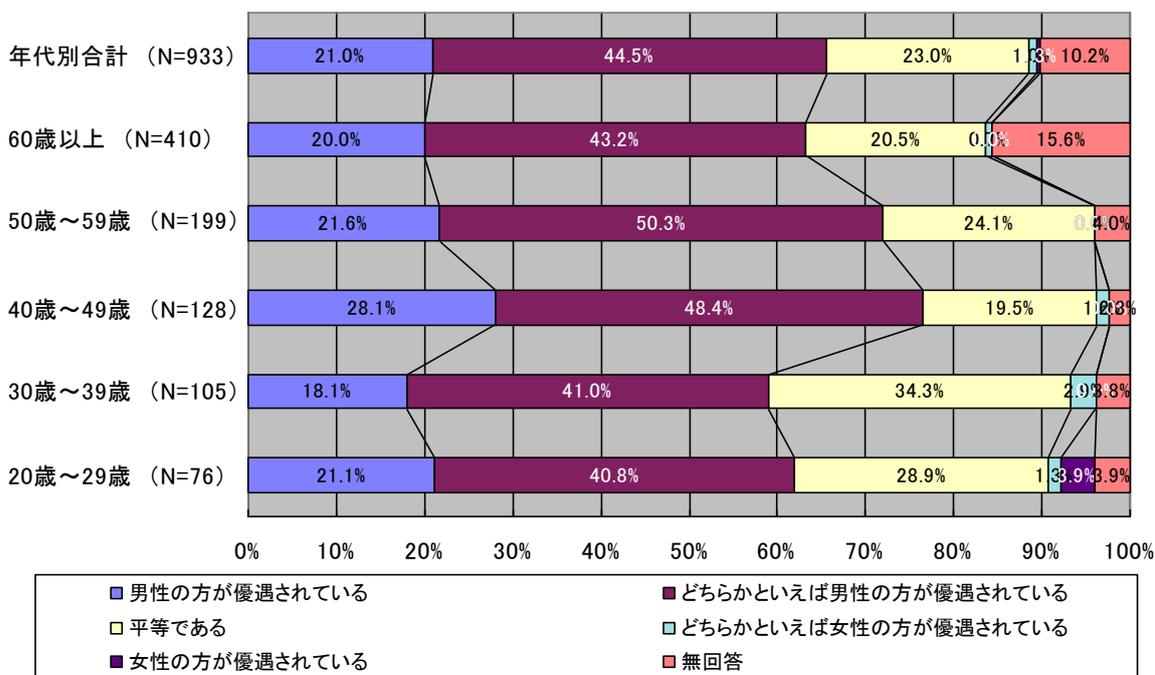
⑤政治・経済活動の場で

- 全体では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が44.5%で最も多い。
- 「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせると、65.5%（男性59.3%、女性72.2%）となっている。
- 男女別で見ると、男女とも「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も多い。（男性43.4%、女性46.1%）
- 年代別で見ると、どの年代でも「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も多い。

【男女別】



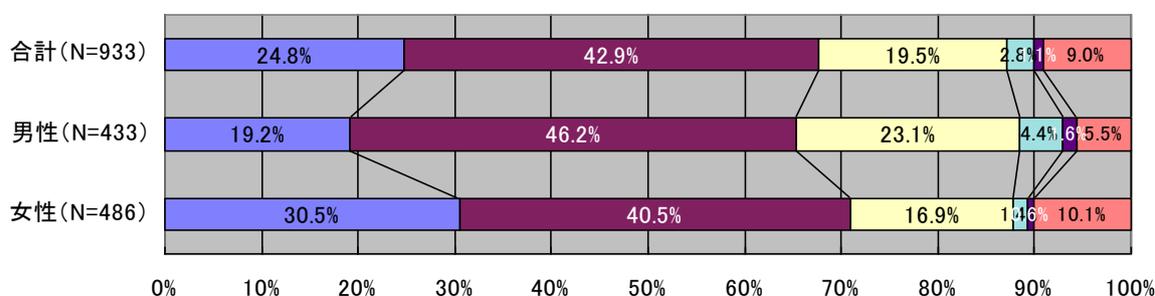
【年代別】



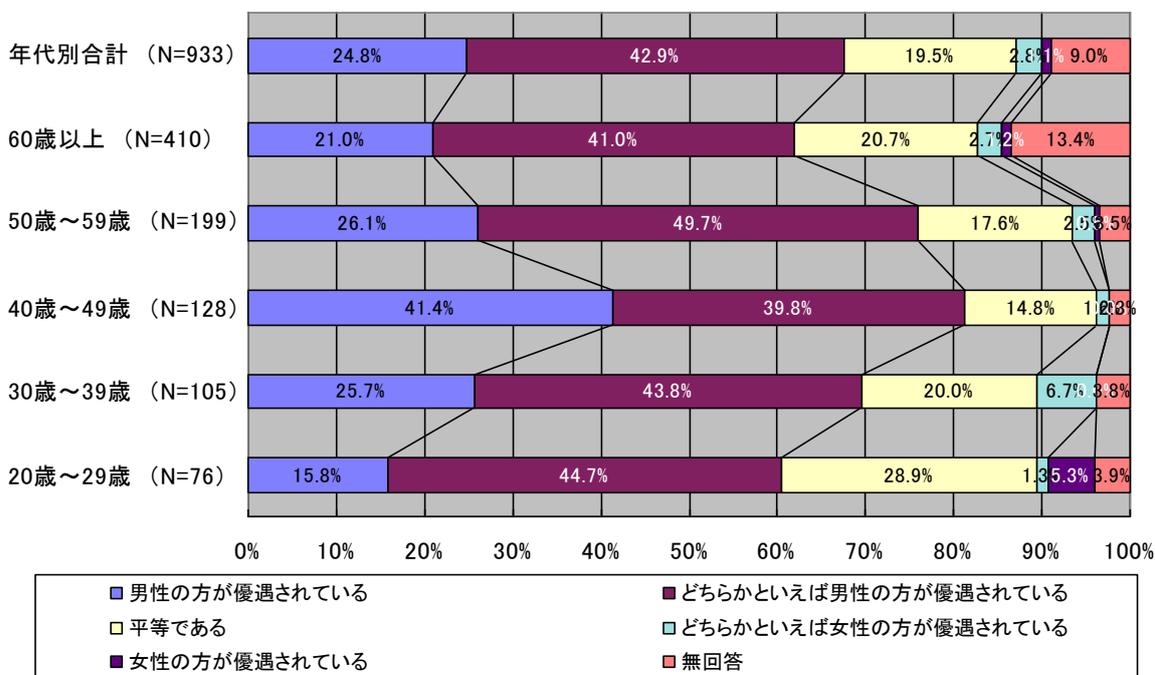
⑥慣習・しきたりで

- 全体では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が 42.9%で最も多い。
- 「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせると、67.7%（男性 65.4%、女性 71.0%）となっている。
- 男女別で見ると、男女とも「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も多い。（男性 46.2%、女性 40.5%）
- 年代別で見ると、40代では「男性の方が優遇されている」が最も多く、他の年代では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も多くなっている。

【男女別】



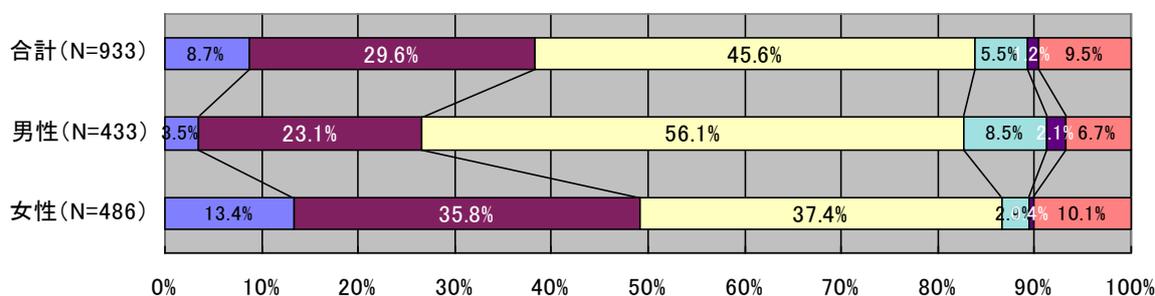
【年代別】



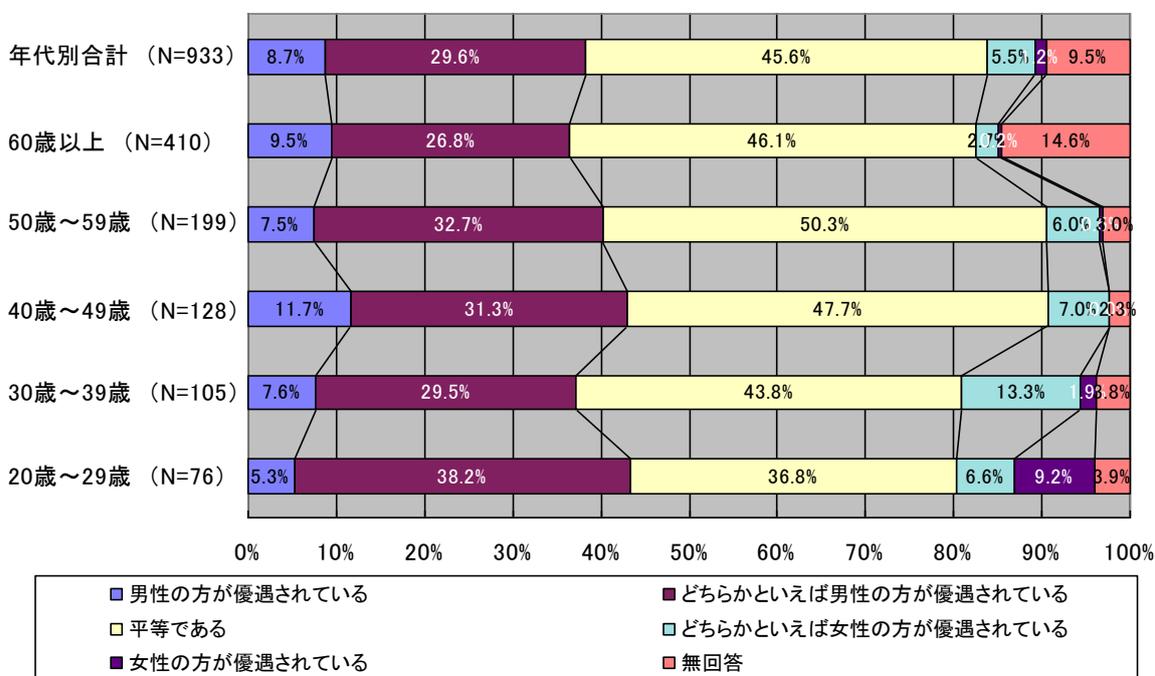
⑦法律や制度の面で

- 全体では、「平等である」が 45.6%で最も多い。
- 「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせると、38.3%（男性 26.6%、女性 49.2%）となっている。
- 男女別で見ると、男女とも「平等である」が最も多い。（男性 56.1%、女性 37.4%）
- 年代別で見ると、20代では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が最も多く、他の年代では「平等である」が最も多くなっている。

【男女別】



【年代別】



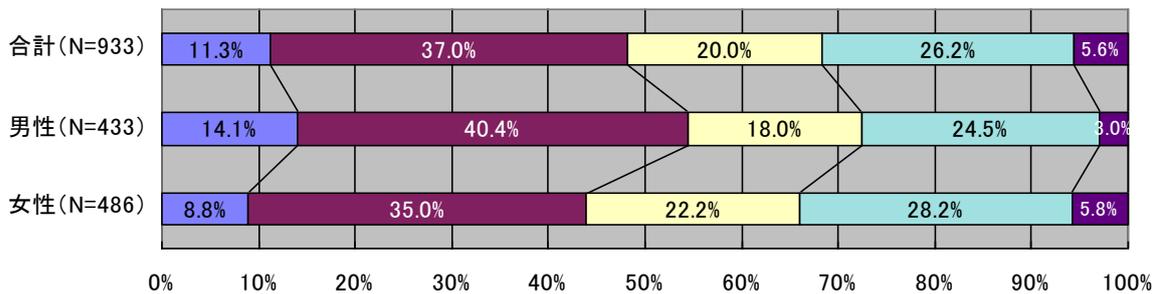
4 家庭・結婚生活について

問2 あなたの家庭のことや結婚などに対する考え方についておたずねします。
あなたの考え方に最も近いものをお選びください。

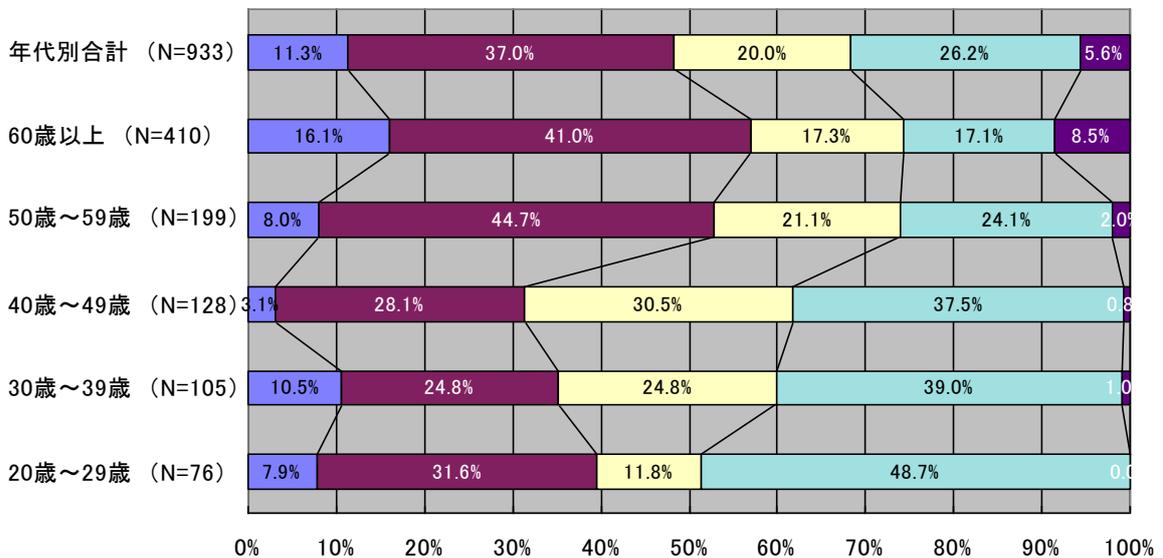
①男は仕事、女は家庭を中心にする方がよい

- ・全体では、「どちらかといえばそう思う」が37.0%で最も多い。
- ・「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると、48.3%（男性54.5%、女性43.8%）
- ・「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせると、46.2%（男性42.5%、女性50.4%）となっている。
- ・男女別で見ると、男女とも「どちらかといえばそう思う」が最も多い。（男性40.4%、女性35.0%）
- ・年代別で見ると、20～40代では「そう思わない」が最も多く、50代以上では「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっている。

【男女別】



【年代別】

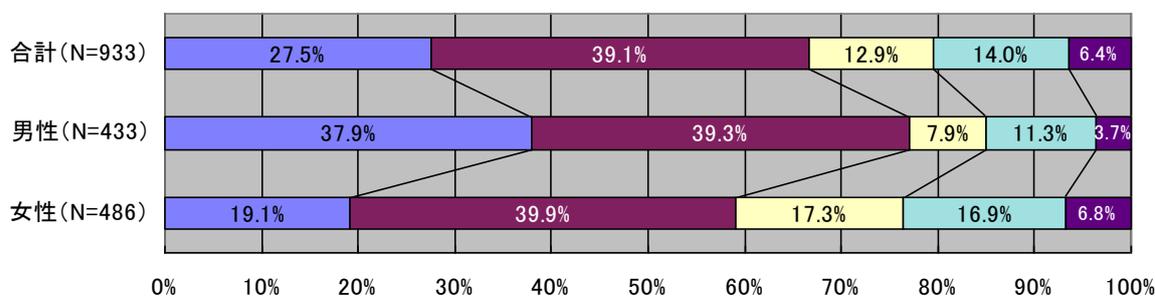


■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う □ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

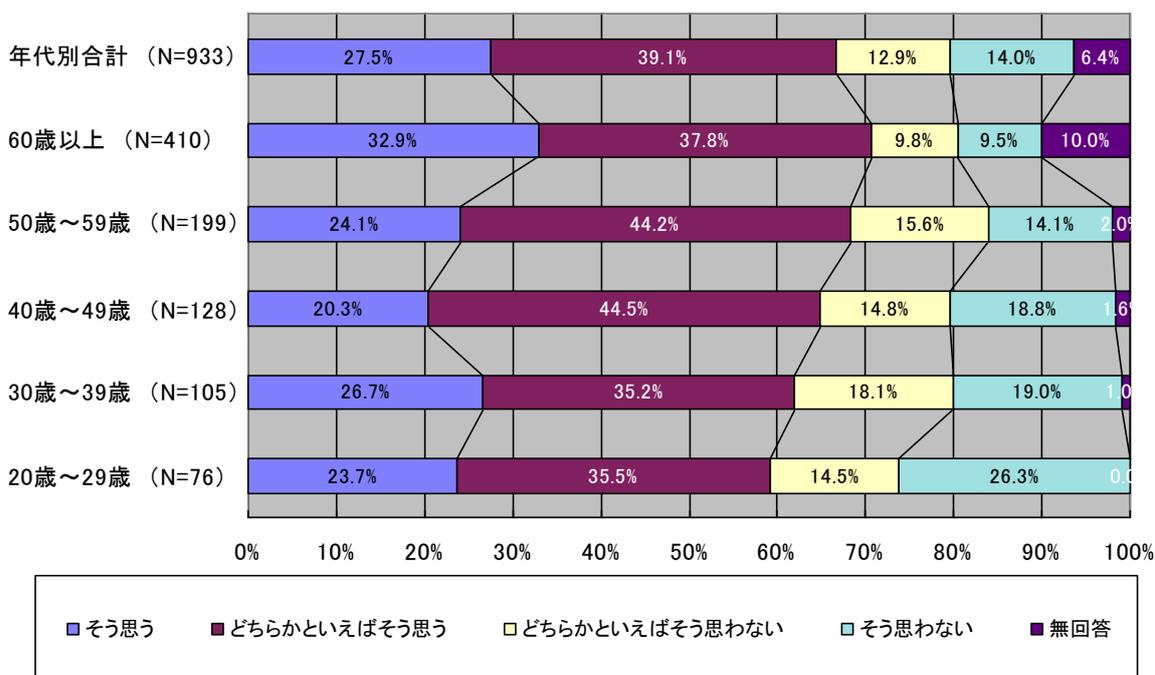
②男の子は男らしく、女の子は女らしくした方がよい

- 全体では、「どちらかといえばそう思う」が 39.1%で最も多い。
- 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると、66.6%（男性 77.2%、女性 59.0%）となっている。
- 「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせると、26.9%（男性 19.2%、女性 34.2%）となっている。
- 男女別で見ると、男女とも「どちらかといえばそう思う」が最も多い。（男性 39.3%、女性 39.9%）
- 年代別で見ると、どの年代でも「どちらかといえばそう思う」が最も多い。

【男女別】



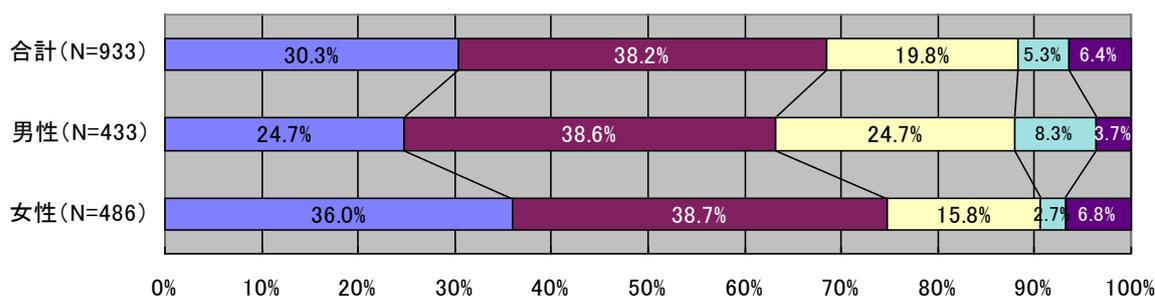
【年代別】



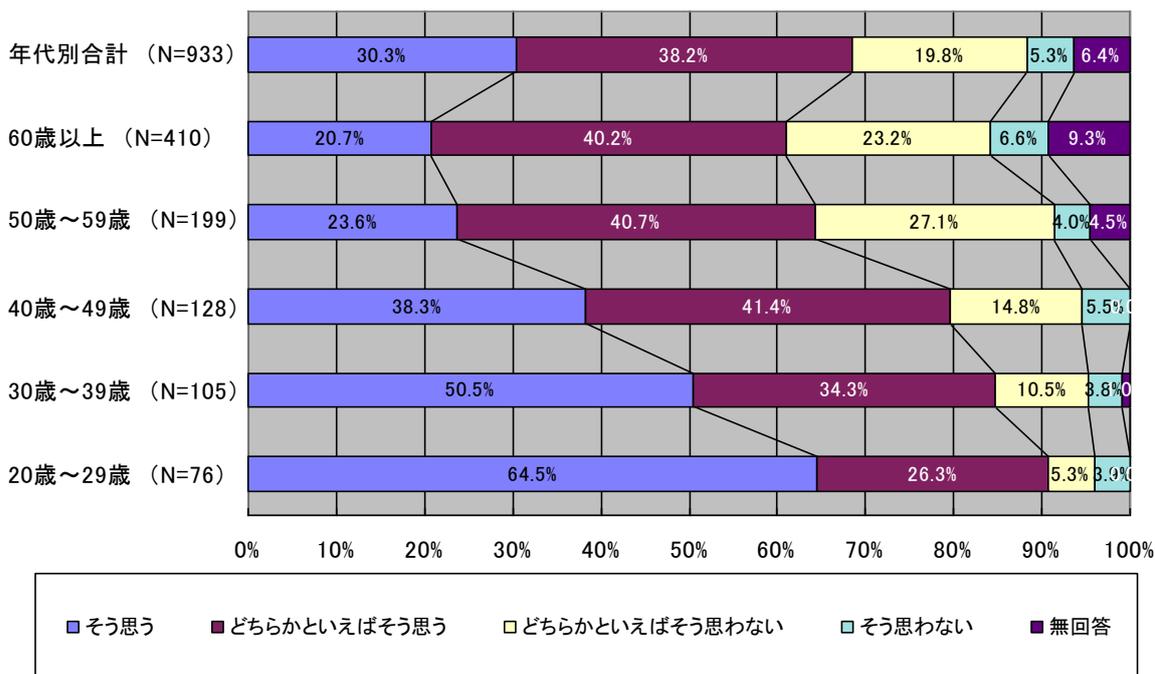
③男女とも平等に家事・育児をする方がよい

- 全体では、「どちらかといえばそう思う」が 38.2%で最も多い。
- 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると、68.5%（男性 63.3%、女性 74.7%）となっている。
- 「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせると、25.1%（男性 33.0%、女性 18.5%）となっている。
- 男女別で見ると、男女とも「どちらかといえばそう思う」が最も多い。（男性 38.6%、女性 38.7%）
- 年代別で見ると、20～30代では「そう思う」が最も多く、40代以上では「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっている。

【男女別】



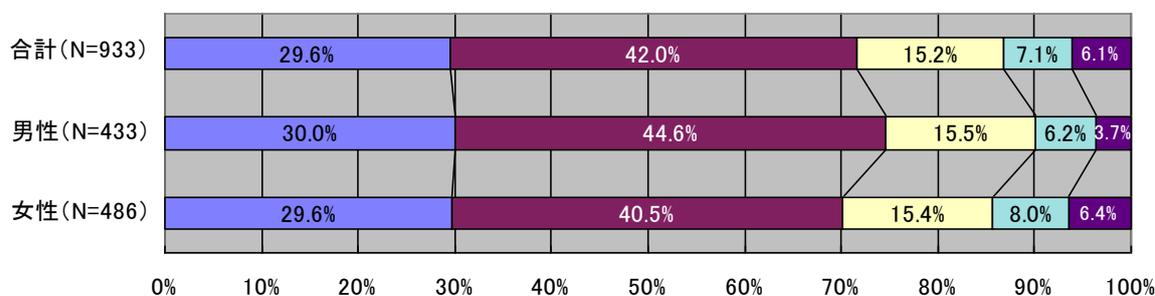
【年代別】



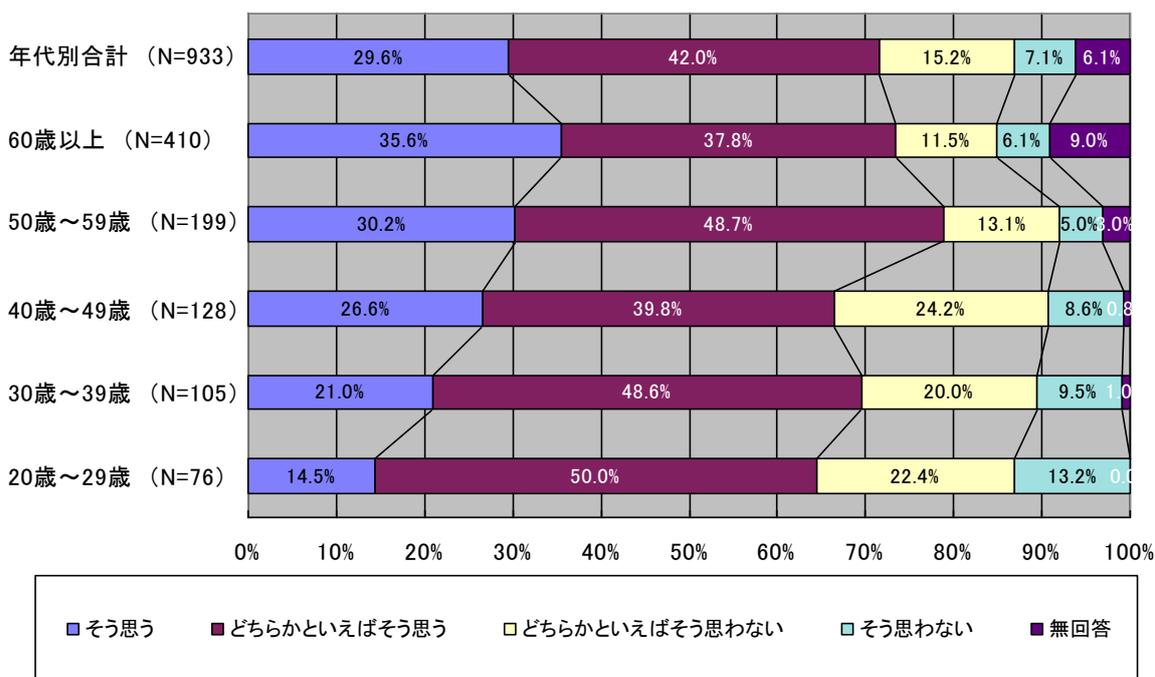
④子どもが小さい時は母親が子育てに専念した方がよい

- 全体では、「どちらかといえばそう思う」が 42.0%で最も多い。
- 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると、71.6%（男性 74.6%、女性 70.1%）となっている。
- 「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせると、22.3%（男性 21.7%、女性 23.4%）となっている。
- 男女別で見ると、男女とも「どちらかといえばそう思う」が最も多い。（男性 44.6%、女性 40.5%）
- 年代別で見ると、どの年代でも「どちらかといえばそう思う」が最も多い。

【男女別】



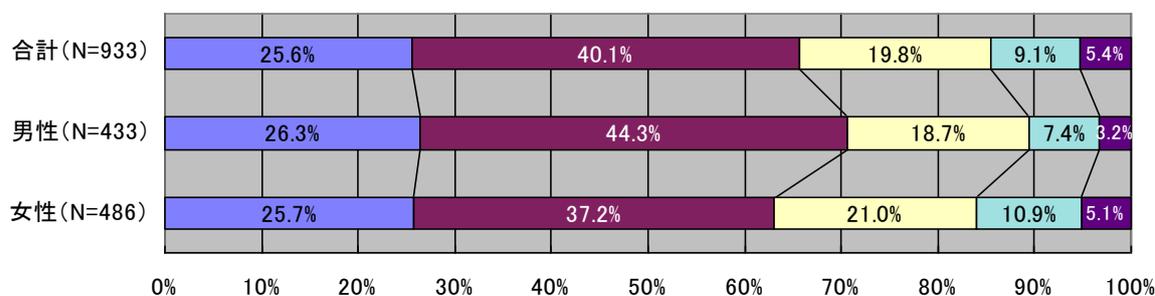
【年代別】



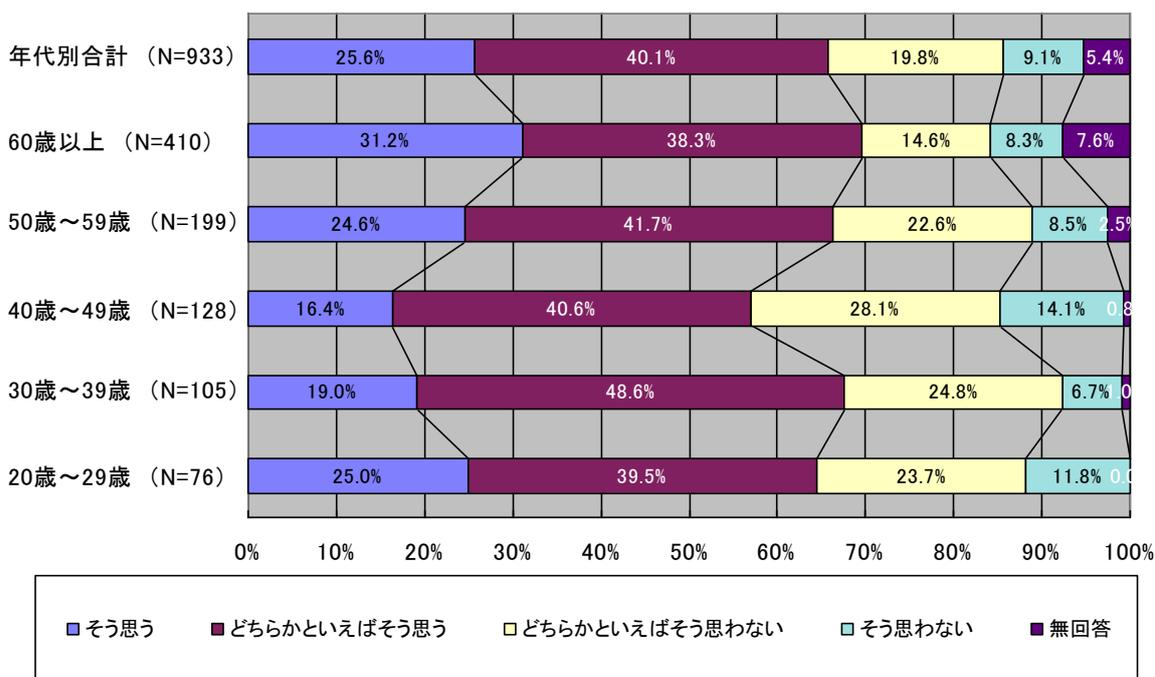
⑤女性が仕事を持つのはよいが、家事・育児はきちんとすべきである。

- 全体では、「どちらかといえばそう思う」が40.1%で最も多い。
- 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると、65.7%（男性70.6%、女性62.9%）となっている。
- 「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせると、28.9%（男性26.1%、女性31.9%）となっている。
- 男女別で見ると、男女とも「どちらかといえばそう思う」が最も多い。（男性44.3%、女性37.2%）
- 年代別で見ると、どの年代でも「どちらかといえばそう思う」が最も多い。

【男女別】



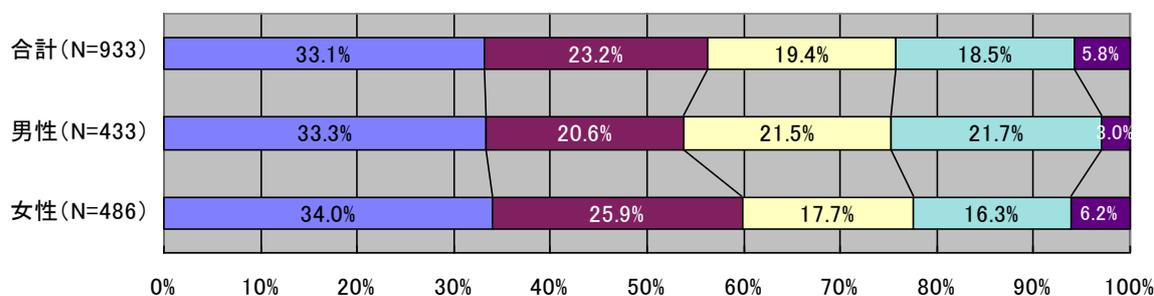
【年代別】



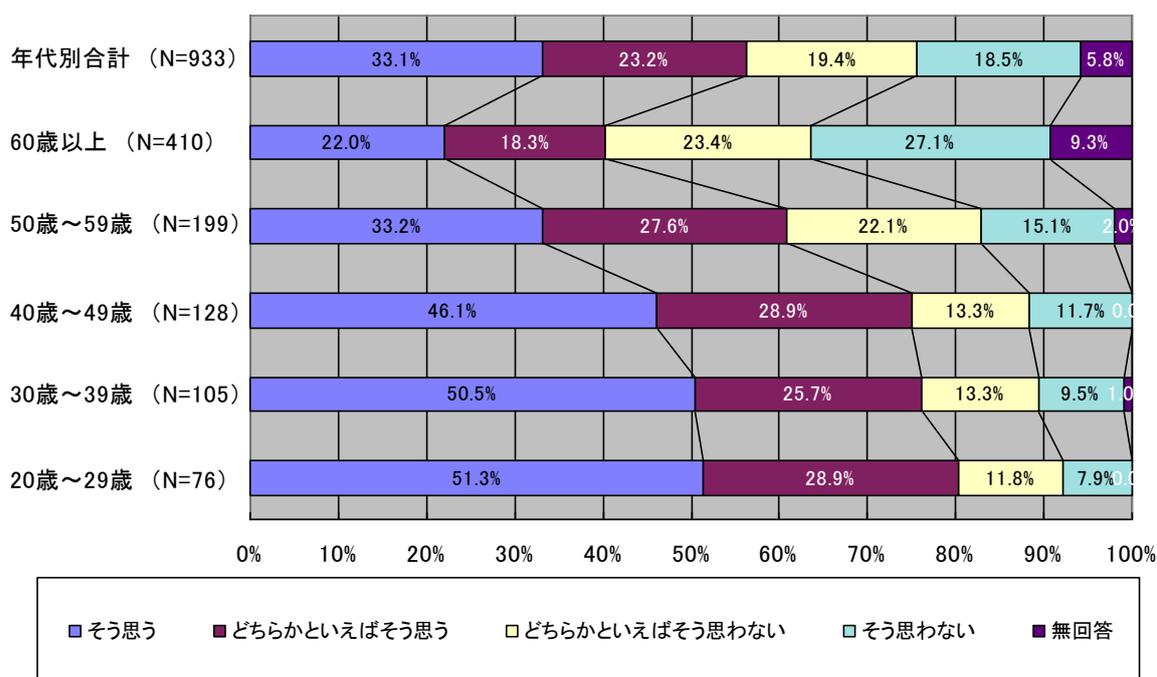
◎結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

- 全体では、「そう思う」が33.1%で最も多い。
- 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると、56.3%（男性53.9%、女性59.9%）となっている。
- 「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせると、37.9%（男性43.2%、女性34.0%）となっている。
- 男女別で見ると、男女とも「そう思う」が最も多い。（男性33.3%、女性34.0%）
- 年代別で見ると、20～50代では「そう思う」が最も多く、60歳以上では「そう思わない」が最も多くなっている。

【男女別】



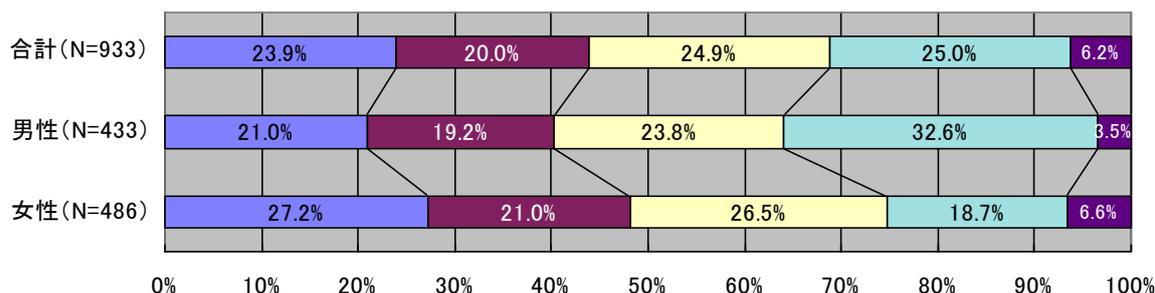
【年代別】



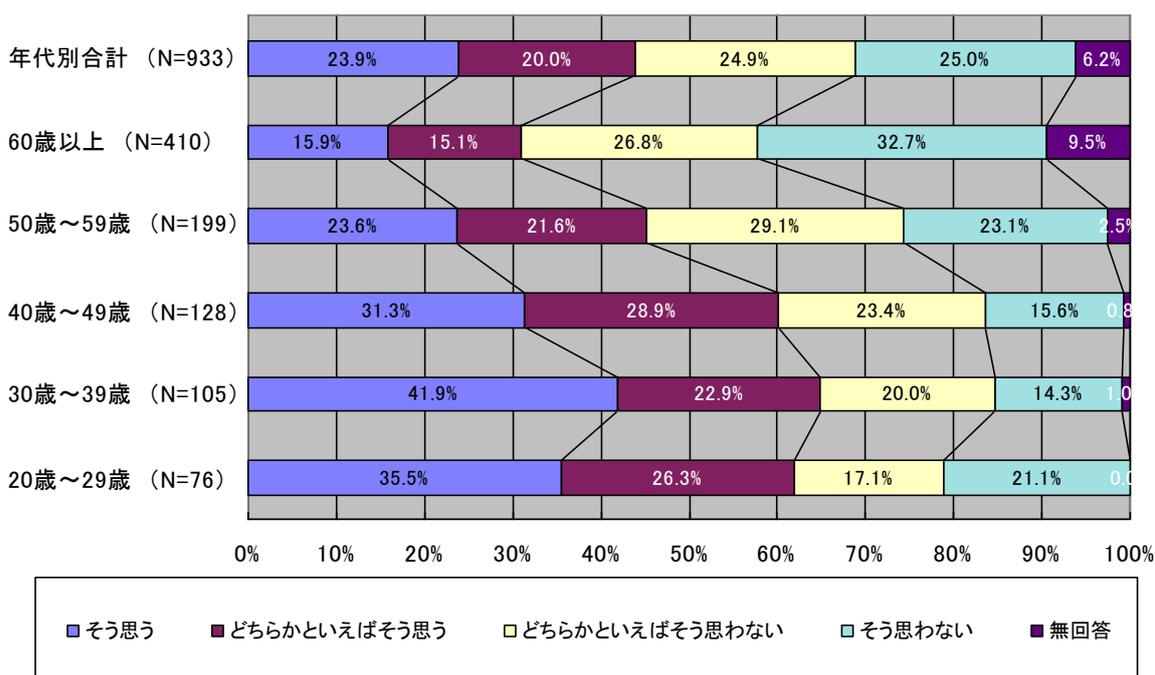
⑦結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない

- 全体では、「そう思わない」が25.0%で最も多い。
- 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると、43.9%（男性40.2%、女性48.2%）となっている。
- 「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせると、49.9%（男性56.4%、女性45.2%）となっている。
- 男女別で見ると、男性は「そう思わない」が32.6%で最も多く、女性は「そう思う」が27.2%で最も多くなっている。
- 年代別で見ると、20～40代では、「そう思う」が最も多く、50代では「どちらかといえばそう思わない」が、60歳以上では「そう思わない」が最も多くなっている。

【男女別】



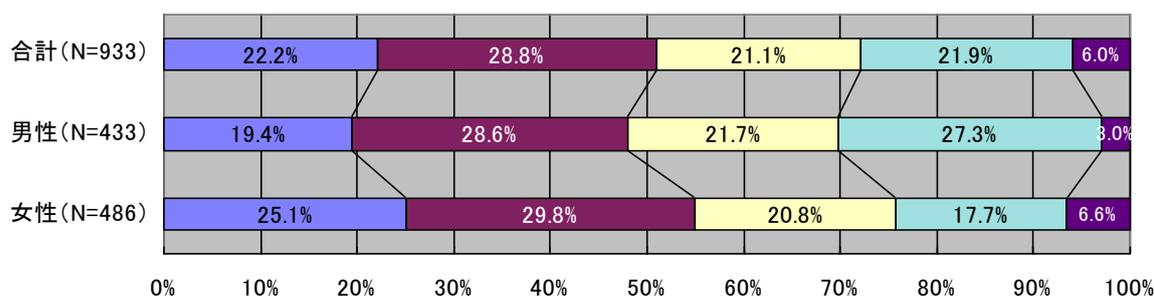
【年代別】



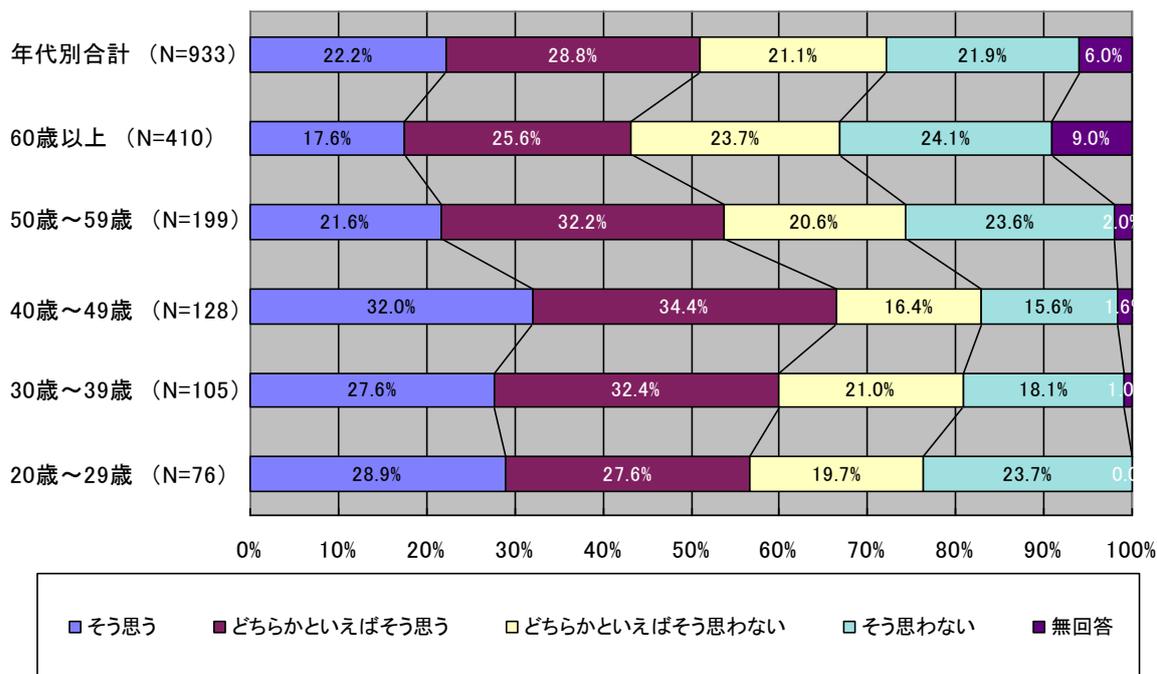
⑨今の社会では離婚すると女性の方が不利である

- 全体では、「どちらかといえばそう思う」が28.8%で最も多い。
- 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると、51.0%（男性48.0%、女性54.9%）となっている。
- 「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせると、43.0%（男性49.0%、女性38.5%）となっている。
- 男女別で見ると、男女とも「どちらかといえばそう思う」が最も多い。（男性28.6%、女性29.8%）
- 年代別で見ると、20代では「そう思う」が最も多く、他の年代では「どちらかといえばそう思う」が最も多くなっている。

【男女別】



【年代別】



問3(1) 次の家庭内の仕事について、夫婦でどのように分担するのが理想だと思いますか。

(2) 現在結婚(事実婚含む)している方におたずねします。実際に、あなたの家庭では、次の家庭内の仕事を夫婦でどのように分担していますか。

①生活費の確保

理想

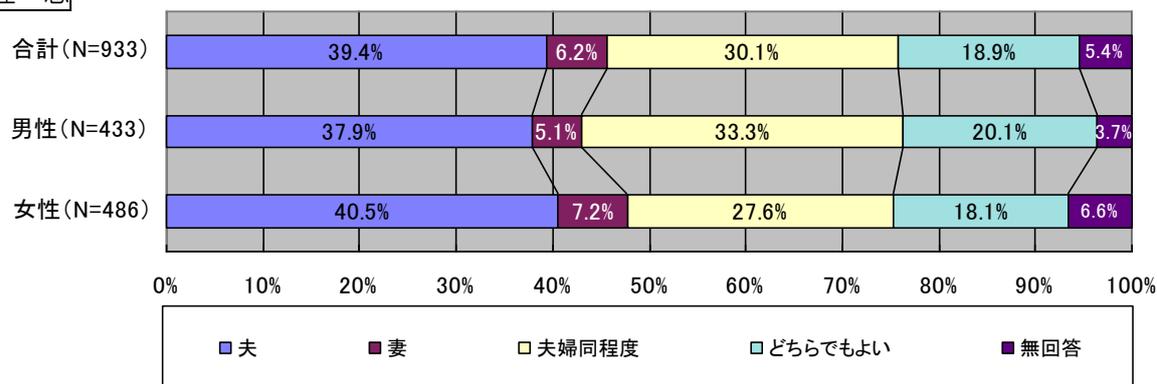
- ・全体では、「夫」が39.4%で最も多く、「夫婦同程度」が30.1%で続いている。
- ・男女別で見ると、男女とも「夫」が最も多い。(男性37.9%、女性40.5%)
- ・年代別で見ると、20代では「夫婦同程度」が最も多く、他の年代では「夫」が最も多くなっている。

現実

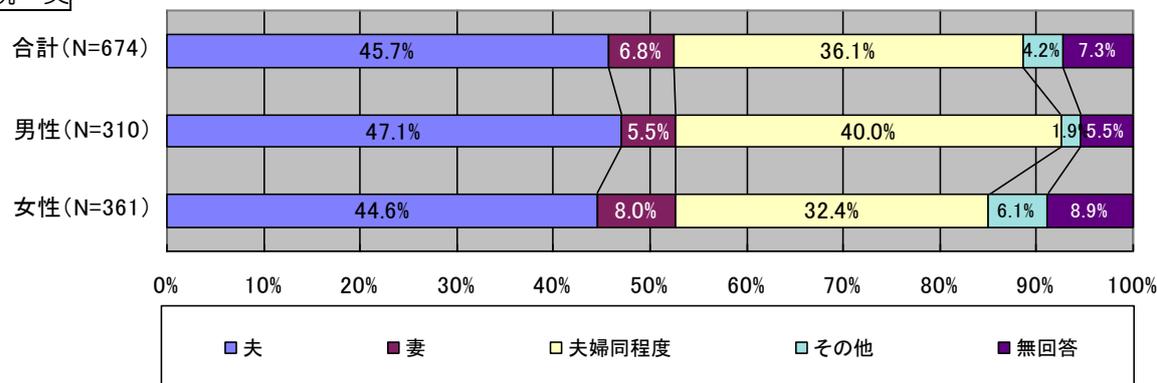
- ・全体では、「夫」が45.7%で最も多く、「夫婦同程度」が36.1%で続いている。
- ・年代別で見ると、30代では「夫婦同程度」が最も多く、他の年代では「夫」が最も多くなっている。

【男女別】

理想



現実



【年代別】

理想

現実

選択項目	20代 N=76	30代 N=105	40代 N=128	50代 N=199	60以上 N=410	合計 N=933	選択項目	20代 N=27	30代 N=63	40代 N=99	50代 N=161	60以上 N=322	合計 N=674
夫	32.9%	35.2%	36.7%	44.2%	39.5%	39.4%	夫	44.4%	44.4%	44.4%	46.6%	46.0%	45.7%
妻	6.6%	5.7%	4.7%	3.5%	8.0%	6.2%	妻	7.4%	6.3%	4.0%	6.2%	8.1%	6.8%
夫婦同程度	40.8%	31.4%	34.4%	31.2%	26.6%	30.1%	夫婦同程度	40.7%	46.0%	43.4%	41.0%	28.9%	36.1%
どちらでもよい	19.7%	24.8%	22.7%	18.1%	17.1%	18.9%	その他	3.7%	3.2%	7.1%	3.7%	3.7%	4.2%
無回答	0.0%	2.9%	1.6%	3.0%	8.8%	5.4%	無回答	3.7%	0.0%	1.0%	2.5%	13.4%	7.3%

②家計の管理

理想

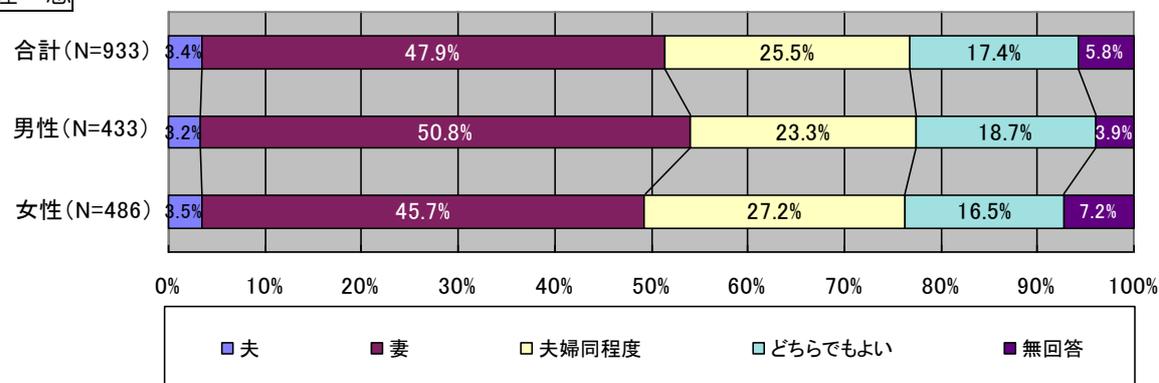
- 全体では、「妻」が47.9%で最も多い。
- 男女別で見ると、男女とも「妻」が最も多い。(男性 50.8%、女性 45.7%)
- 年代別で見ると、どの年代でも「妻」が最も多い。

現実

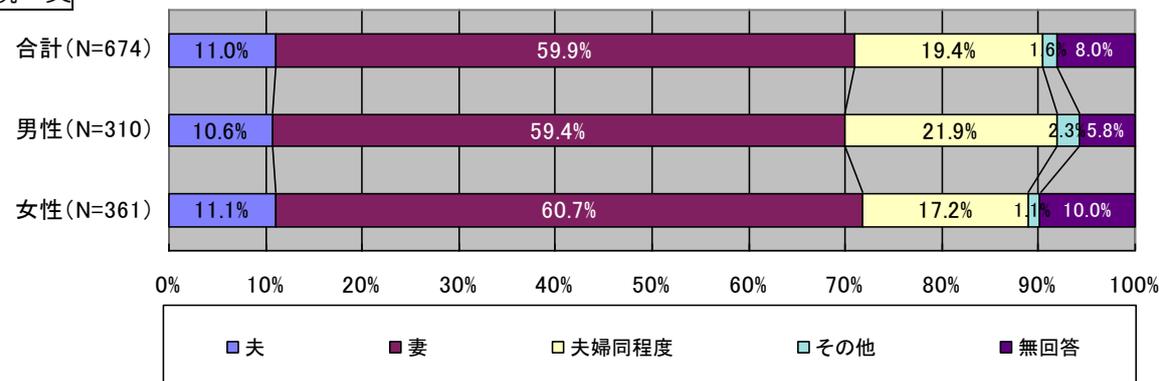
- 全体では、「妻」が59.9%で最も多い。
- 年代別に見ると、どの年代でも「妻」が最も多い。

【男女別】

理想



現実



【年代別】

理想

選択項目	20代 N=76	30代 N=105	40代 N=128	50代 N=199	60以上 N=410	合計 N=933
夫	5.3%	0.0%	0.8%	4.0%	4.1%	3.4%
妻	43.4%	50.5%	46.1%	51.8%	47.1%	47.9%
夫婦同程度	18.4%	26.7%	26.6%	24.1%	27.1%	25.5%
どちらでもよい	32.9%	21.0%	25.0%	17.1%	11.7%	17.4%
無回答	0.0%	1.9%	1.6%	3.0%	10.0%	5.8%

現実

選択項目	20代 N=27	30代 N=63	40代 N=99	50代 N=161	60以上 N=322	合計 N=674
夫	14.8%	3.2%	7.1%	16.1%	10.9%	11.0%
妻	55.6%	73.0%	68.7%	63.4%	53.4%	59.9%
夫婦同程度	25.9%	19.0%	21.2%	15.5%	20.2%	19.4%
その他	0.0%	4.8%	2.0%	1.9%	0.9%	1.6%
無回答	3.7%	0.0%	1.0%	3.1%	14.6%	8.0%

③家族の世話、介護

理想

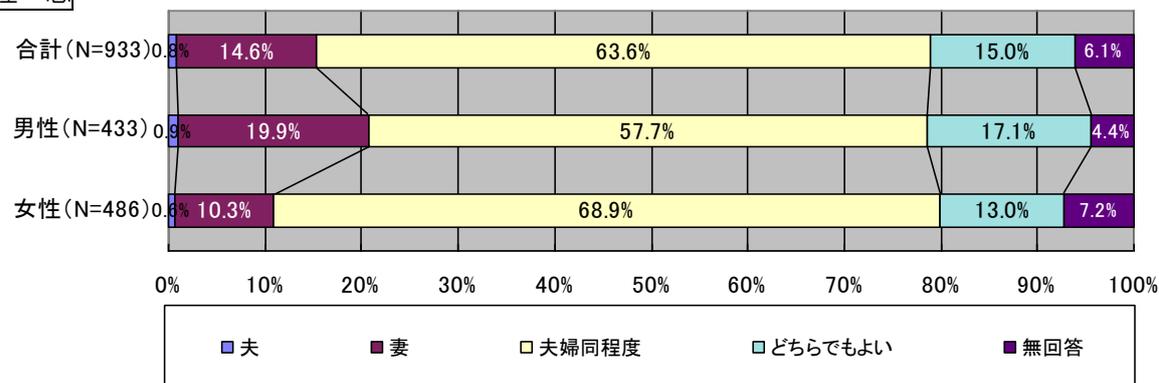
- ・全体では、「夫婦同程度」が63.6%で最も多い。
- ・男女別で見ると、男女とも「夫婦同程度」が最も多い。(男性57.7%、女性68.9%)
- ・年代別で見ると、どの年代でも「夫婦同程度」が最も多い。

現実

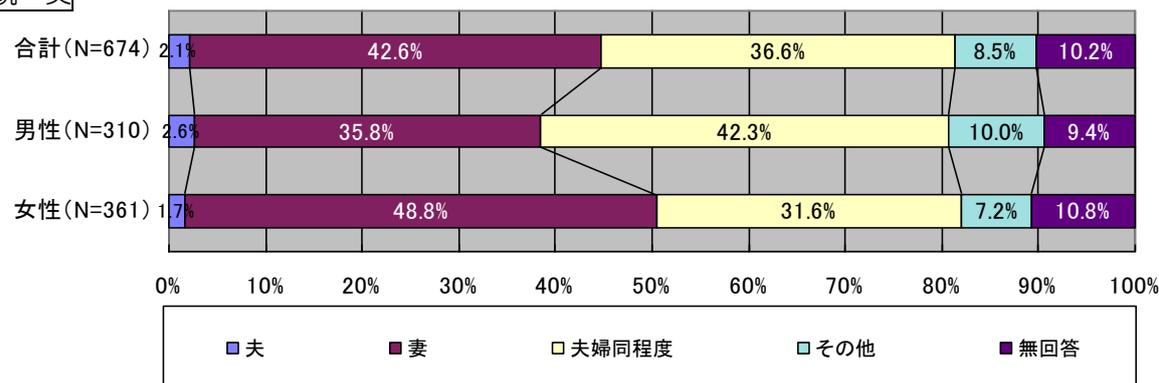
- ・全体では、「妻」が42.6%で最も多く、「夫婦同程度」が36.6%が続いている。
- ・年代別で見ると、20代では「夫婦同程度」が最も多く、他の年代では「妻」が最も多くなっている。

【男女別】

理想



現実



【年代別】

理想

選択項目	20代 N=76	30代 N=105	40代 N=128	50代 N=199	60以上 N=410	合計 N=933
夫	1.3%	0.0%	0.8%	0.5%	1.0%	0.8%
妻	10.5%	11.4%	7.0%	14.6%	18.8%	14.6%
夫婦同程度	71.1%	69.5%	70.3%	65.3%	58.0%	63.6%
どちらでもよい	17.1%	17.1%	20.3%	15.1%	12.4%	15.0%
無回答	0.0%	1.9%	1.6%	4.5%	9.8%	6.1%

現実

選択項目	20代 N=27	30代 N=63	40代 N=99	50代 N=161	60以上 N=322	合計 N=674
夫	0.0%	0.0%	4.0%	0.6%	2.8%	2.1%
妻	18.5%	49.2%	48.5%	49.7%	37.9%	42.6%
夫婦同程度	55.6%	34.9%	33.3%	39.1%	35.1%	36.6%
その他	22.2%	15.9%	13.1%	6.8%	5.3%	8.5%
無回答	3.7%	0.0%	1.0%	3.7%	18.9%	10.2%

④家庭の大事な問題の決定・将来の生活設計

理想

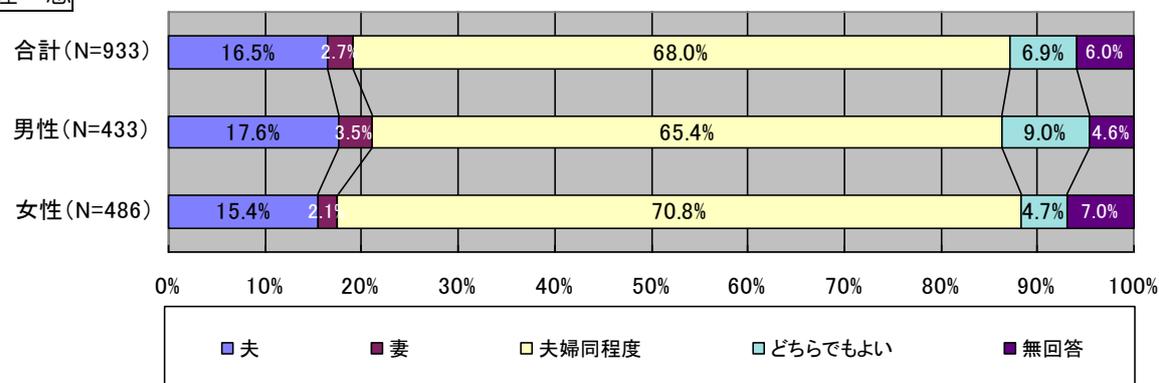
- 全体では、「夫婦同程度」が68.0%で最も多い。
- 男女別で見ると、男女とも「夫婦同程度」が最も多い。(男性65.4%、女性70.8%)
- 年代別で見ると、どの年代でも「夫婦同程度」が最も多い。

現実

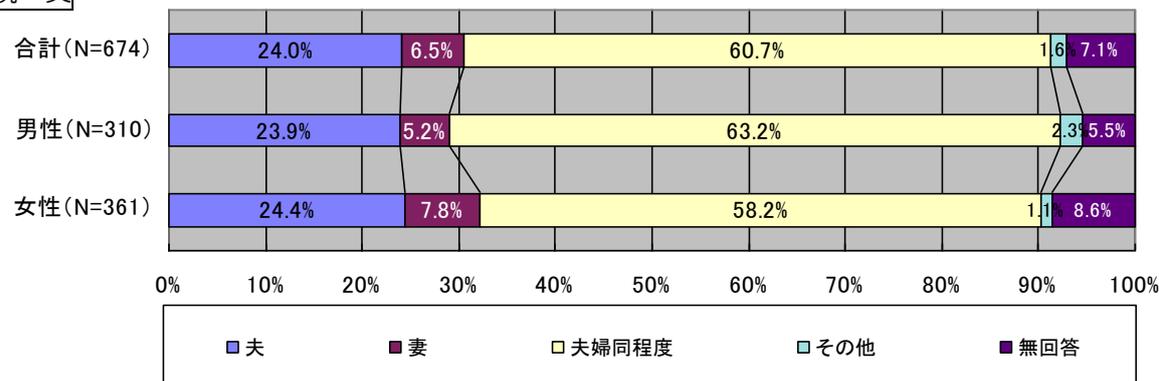
- 全体では、「夫婦同程度」が60.7%で最も多い。
- 年代別で見ると、どの年代でも「夫婦同程度」が最も多い。

【男女別】

理想



現実



【年代別】

理想

選択項目	20代 N=76	30代 N=105	40代 N=128	50代 N=199	60以上 N=410	合計 N=933
夫	7.9%	11.4%	11.7%	14.1%	22.0%	16.5%
妻	1.3%	4.8%	0.8%	1.5%	3.7%	2.7%
夫婦同程度	75.0%	74.3%	75.8%	74.4%	60.0%	68.0%
どちらでもよい	15.8%	6.7%	10.2%	6.0%	4.6%	6.9%
無回答	0.0%	2.9%	1.6%	4.0%	9.8%	6.0%

現実

選択項目	20代 N=27	30代 N=63	40代 N=99	50代 N=161	60以上 N=322	合計 N=674
夫	11.1%	17.5%	20.2%	28.0%	25.8%	24.0%
妻	7.4%	12.7%	6.1%	7.5%	5.0%	6.5%
夫婦同程度	74.1%	68.3%	69.7%	59.6%	55.6%	60.7%
その他	3.7%	1.6%	3.0%	2.5%	0.6%	1.6%
無回答	3.7%	0.0%	1.0%	2.5%	13.0%	7.1%

⑤炊事・掃除・洗濯

理想

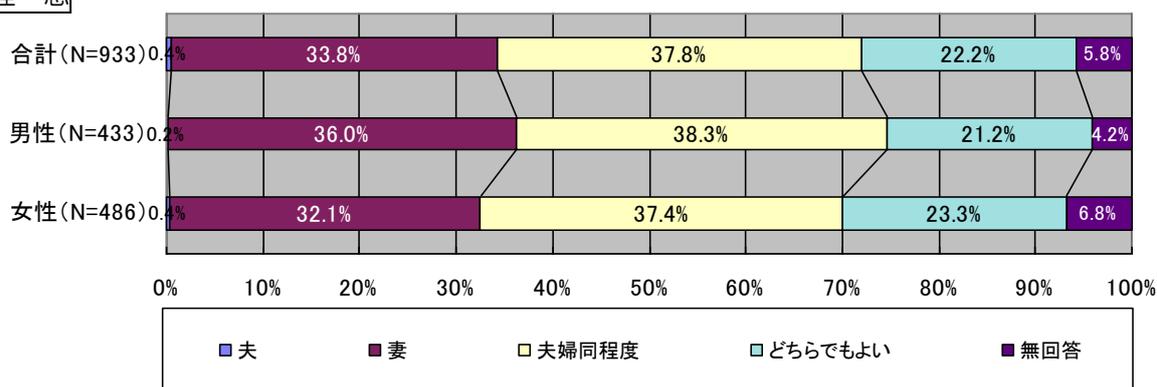
- ・全体では、「夫婦同程度」が37.8%で最も多く、「妻」が33.8%が続いている。
- ・男女別で見ると、男女とも「夫婦同程度」が最も多い。(男性38.3%、女性37.4%)
- ・年代別で見ると、20~40代では「夫婦同程度」が最も多く、50代以上では「妻」が最も多くなっている。

現実

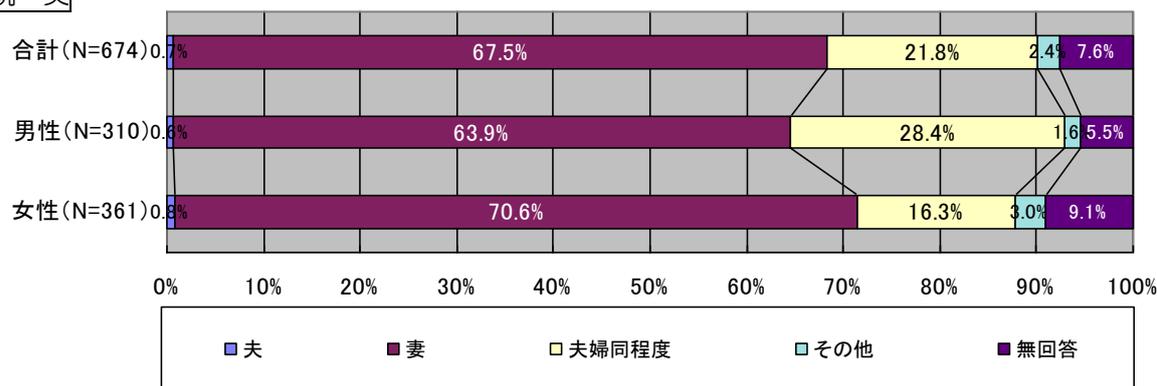
- ・全体では、「妻」が67.5%で最も多い。
- ・年代別に見ると、20代では「夫婦同程度」が最も多く、他の年代では「妻」が最も多くなっている。

【男女別】

理想



現実



【年代別】

理想

選択項目	20代 N=76	30代 N=105	40代 N=128	50代 N=199	60以上 N=410	合計 N=933
夫	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.4%
妻	18.4%	25.7%	33.6%	37.2%	37.1%	33.8%
夫婦同程度	55.3%	51.4%	34.4%	34.2%	34.4%	37.8%
どちらでもよい	23.7%	21.0%	30.5%	25.1%	18.5%	22.2%
無回答	1.3%	1.9%	1.6%	3.5%	9.5%	5.8%

現実

選択項目	20代 N=27	30代 N=63	40代 N=99	50代 N=161	60以上 N=322	合計 N=674
夫	0.0%	0.0%	1.0%	0.6%	0.9%	0.7%
妻	37.0%	74.6%	79.8%	77.6%	59.6%	67.5%
夫婦同程度	59.3%	22.2%	14.1%	15.5%	24.2%	21.8%
その他	0.0%	3.2%	4.0%	3.7%	1.2%	2.4%
無回答	3.7%	0.0%	1.0%	2.5%	14.0%	7.6%

⑥子育て（教育、しつけ、PTAなどの学校行事）

理想

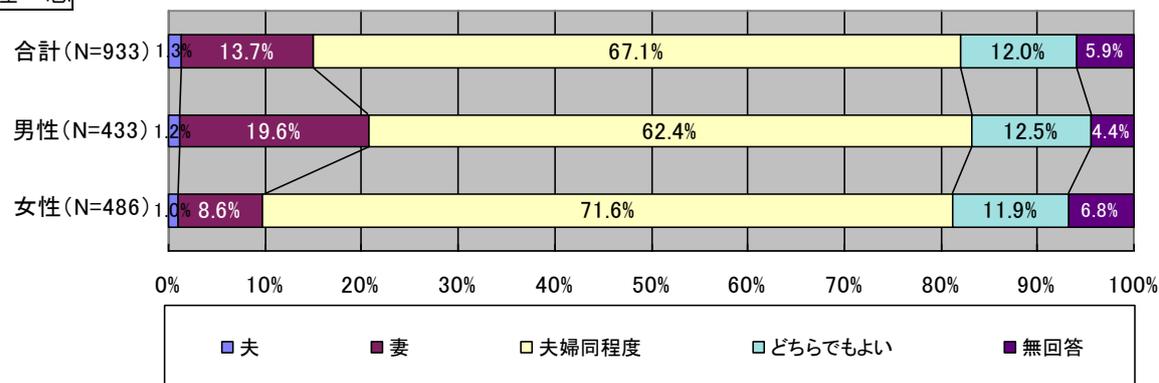
- ・全体では、「夫婦同程度」が67.1%で最も多い。
- ・男女別で見ると、男女とも「夫婦同程度」が最も多い。（男性62.4%、女性71.6%）
- ・年代別で見ると、どの年代でも「夫婦同程度」が最も多い。

現実

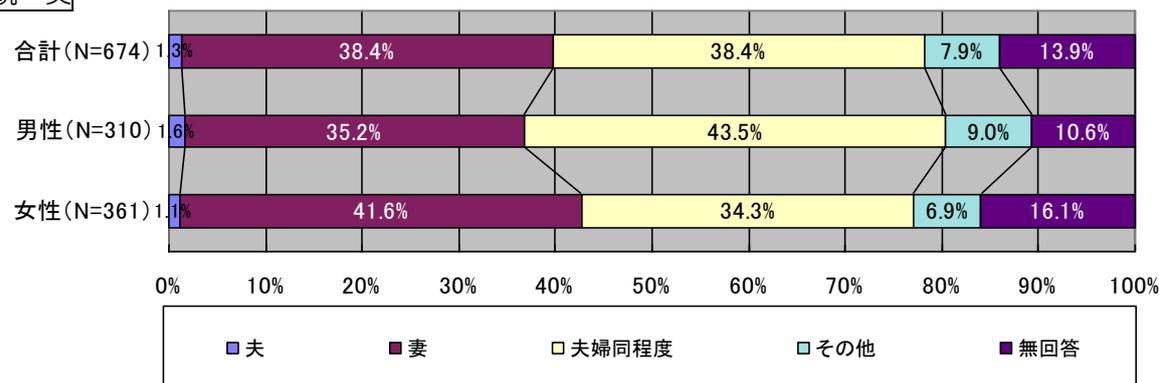
- ・全体では、「妻」と「夫婦同程度」が38.4%で最も多い。
- ・年代別で見ると、20代と60歳以上では「夫婦同程度」が最も多く、他の年代では「妻」が最も多くなっている。

【男女別】

理想



現実



【年代別】

理想

選択項目	20代 N=76	30代 N=105	40代 N=128	50代 N=199	60以上 N=410	合計 N=933
夫	0.0%	1.0%	1.6%	2.5%	0.5%	1.3%
妻	9.2%	11.4%	7.8%	17.1%	15.6%	13.7%
夫婦同程度	73.7%	74.3%	73.4%	64.8%	63.7%	67.1%
どちらでもよい	17.1%	10.5%	15.6%	12.1%	10.5%	12.0%
無回答	0.0%	2.9%	1.6%	3.5%	9.8%	5.9%

現実

選択項目	20代 N=27	30代 N=63	40代 N=99	50代 N=161	60以上 N=322	合計 N=674
夫	0.0%	1.6%	3.0%	1.9%	0.6%	1.3%
妻	25.9%	55.6%	49.5%	40.4%	32.0%	38.4%
夫婦同程度	48.1%	36.5%	40.4%	39.1%	36.6%	38.4%
その他	18.5%	4.8%	6.1%	10.6%	6.8%	7.9%
無回答	7.4%	1.6%	1.0%	8.1%	23.9%	13.9%

⑦親戚・近所とのつきあい

理想

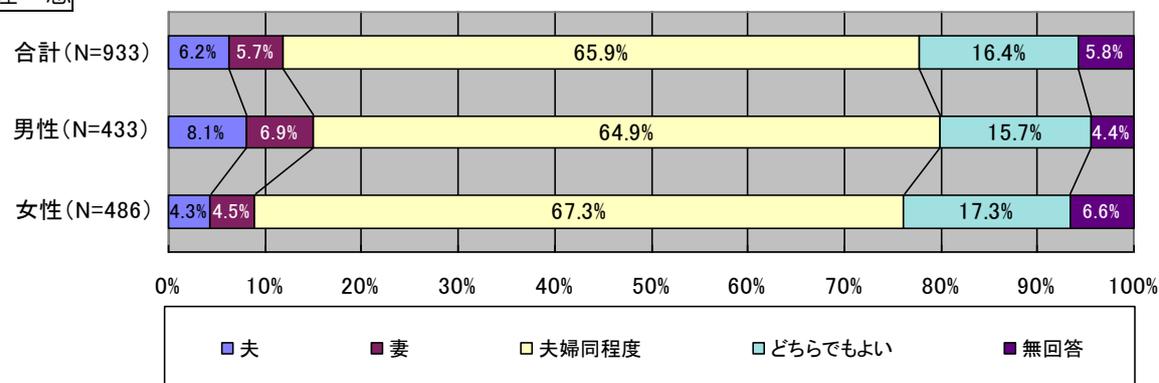
- ・全体では、「夫婦同程度」が65.9%で最も多い。
- ・男女別で見ると、男女とも「夫婦同程度」が最も多い。(男性64.9%、女性67.3%)
- ・年代別で見ると、どの年代でも「夫婦同程度」が最も多い。

現実

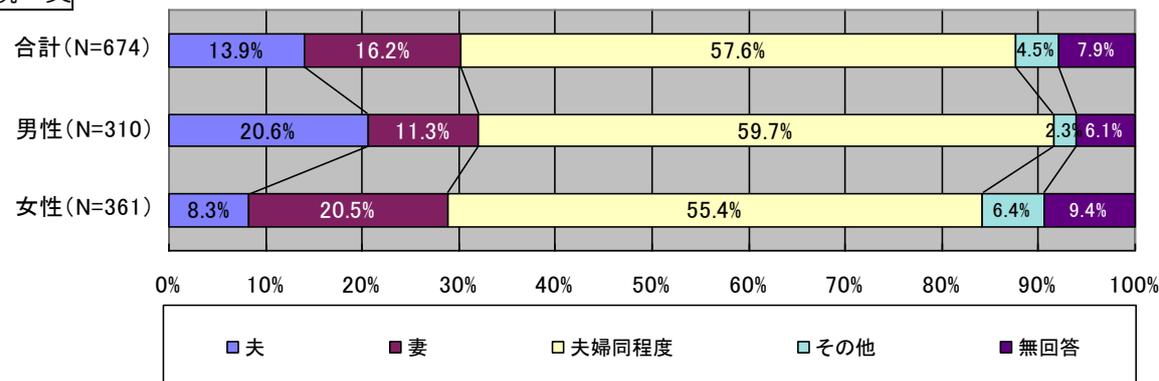
- ・全体では、「夫婦同程度」が57.6%で最も多い。
- ・年代別で見ると、どの年代でも「夫婦同程度」が最も多い。

【男女別】

理想



現実



【年代別】

理想

選択項目	20代 N=76	30代 N=105	40代 N=128	50代 N=199	60以上 N=410	合計 N=933
夫	1.3%	5.7%	7.8%	8.0%	5.6%	6.2%
妻	6.6%	5.7%	3.1%	4.5%	6.8%	5.7%
夫婦同程度	68.4%	67.6%	68.8%	64.8%	65.4%	65.9%
どちらでもよい	23.7%	19.0%	18.0%	19.6%	12.4%	16.4%
無回答	0.0%	1.9%	2.3%	3.0%	9.8%	5.8%

現実

選択項目	20代 N=27	30代 N=63	40代 N=99	50代 N=161	60以上 N=322	合計 N=674
夫	7.4%	19.0%	16.2%	16.8%	11.5%	13.9%
妻	14.8%	27.0%	12.1%	19.3%	14.0%	16.2%
夫婦同程度	59.3%	49.2%	61.6%	55.3%	58.7%	57.6%
その他	14.8%	4.8%	9.1%	5.0%	1.9%	4.5%
無回答	3.7%	0.0%	1.0%	3.7%	14.0%	7.9%

⑨町内会や自治会の会合への出席

理想

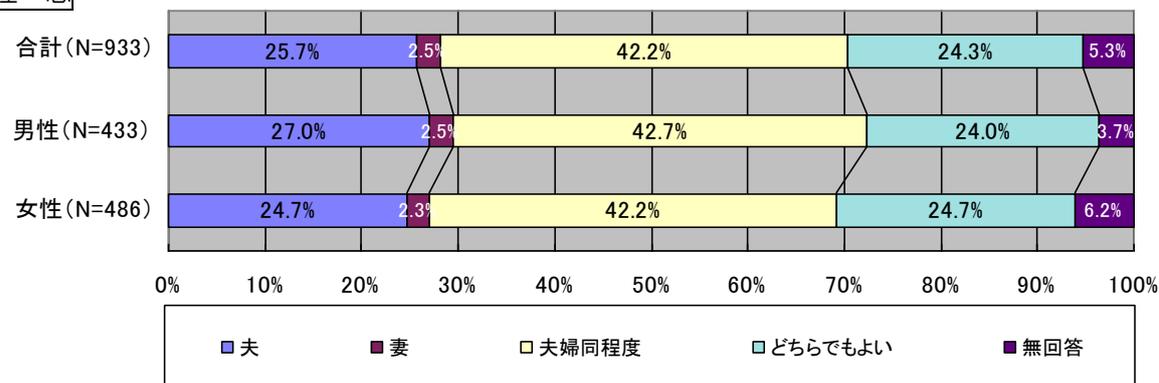
- 全体では、「夫婦同程度」が42.2%で最も多い。
- 男女別で見ると、男女とも「夫婦同程度」が最も多い。(男性42.7%、女性42.2%)
- 年代別で見ると、どの年代でも「夫婦同程度」が最も多い。

現実

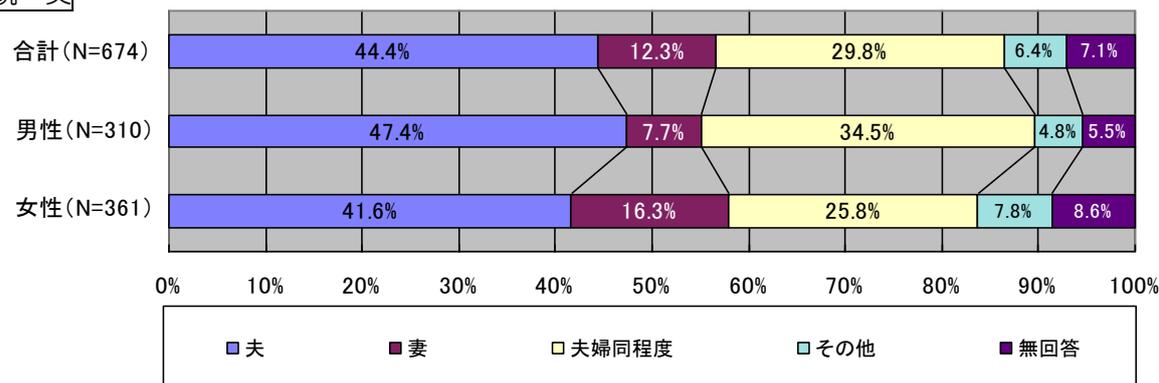
- 全体では、「夫」が44.4%で最も多い。
- 年代別で見ると、20～30代では「夫婦同程度」が最も多く、40代以上では「夫」が最も多くなっている。

【男女別】

理想



現実



【年代別】

理想

選択項目	20代 N=76	30代 N=105	40代 N=128	50代 N=199	60以上 N=410	合計 N=933
夫	25.0%	21.0%	29.7%	26.6%	25.6%	25.7%
妻	5.3%	2.9%	1.6%	2.0%	2.2%	2.5%
夫婦同程度	44.7%	45.7%	42.2%	45.2%	40.0%	42.2%
どちらでもよい	25.0%	28.6%	25.0%	23.6%	23.2%	24.3%
無回答	0.0%	1.9%	1.6%	2.5%	9.0%	5.3%

現実

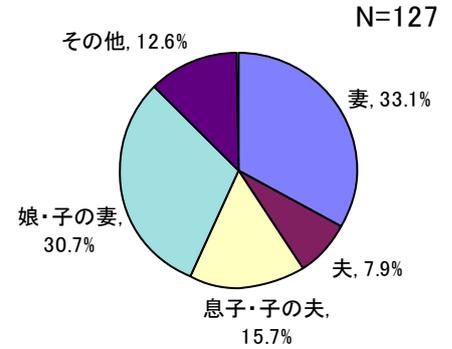
選択項目	20代 N=27	30代 N=63	40代 N=99	50代 N=161	60以上 N=322	合計 N=674
夫	29.6%	31.7%	48.5%	53.4%	42.2%	44.4%
妻	0.0%	20.6%	16.2%	14.9%	9.3%	12.3%
夫婦同程度	44.4%	33.3%	25.3%	24.2%	32.0%	29.8%
その他	22.2%	14.3%	9.1%	4.3%	3.7%	6.4%
無回答	3.7%	0.0%	1.0%	3.1%	12.7%	7.1%

5 在宅介護について

問4 「誰が主に介護を行っているか」、「家庭内の分担はどのようにするとよいか」、「今後、男女がともに介護に参加していくために重要なこと」について

①ご家庭に在宅介護を要する方がいらっしゃる方におたずねします。介護を受けている方から見て、どなたが主にされていますか。【あてはまるものすべてに○】

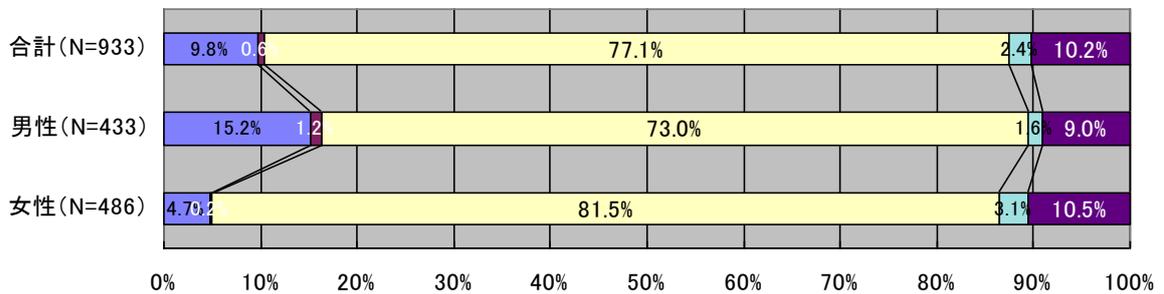
- ・「妻」が33.1%で一番多い。
- ・「妻」と「娘・子の妻」を合わせると、63.8%となっている。
- ・「夫」と「息子・子の夫」を合わせると、23.6%となっている。



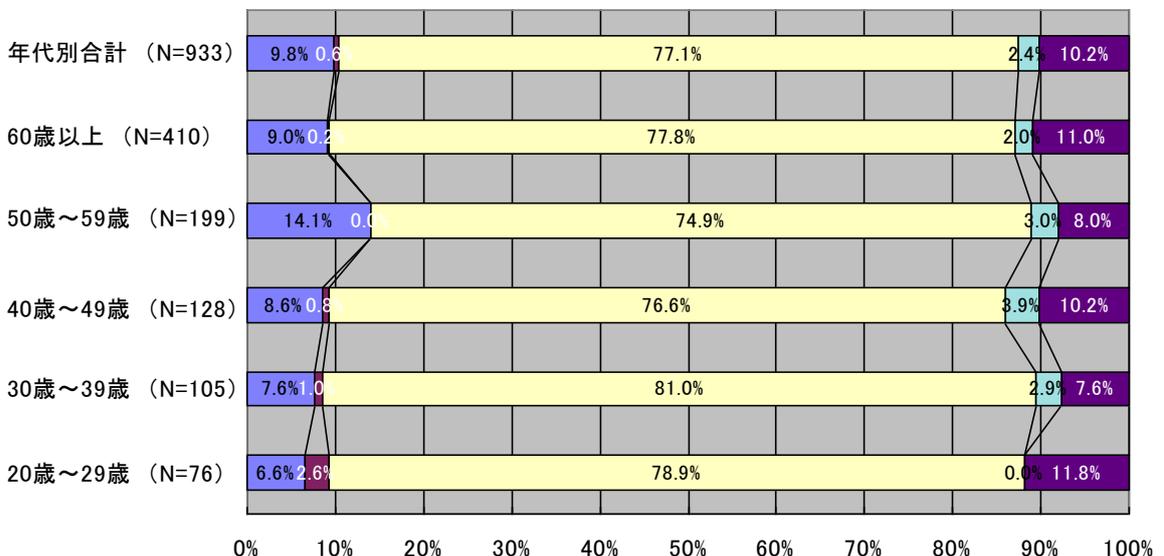
②あなたは、介護をする場合に、家庭内の分担はどのようにするとよいと思いますか。

- ・全体では、「男女が共同して受け持つ方がよい」が77.1%で最も多い。
- ・男女別で見ると、男女とも「男女が共同して受け持つ方がよい」が最も多い。(男性73.0%、女性81.5%)
- ・年代別で見ると、どの年代でも「男女が共同して受け持つ方がよい」が最も多い。

【男女別】



【年代別】

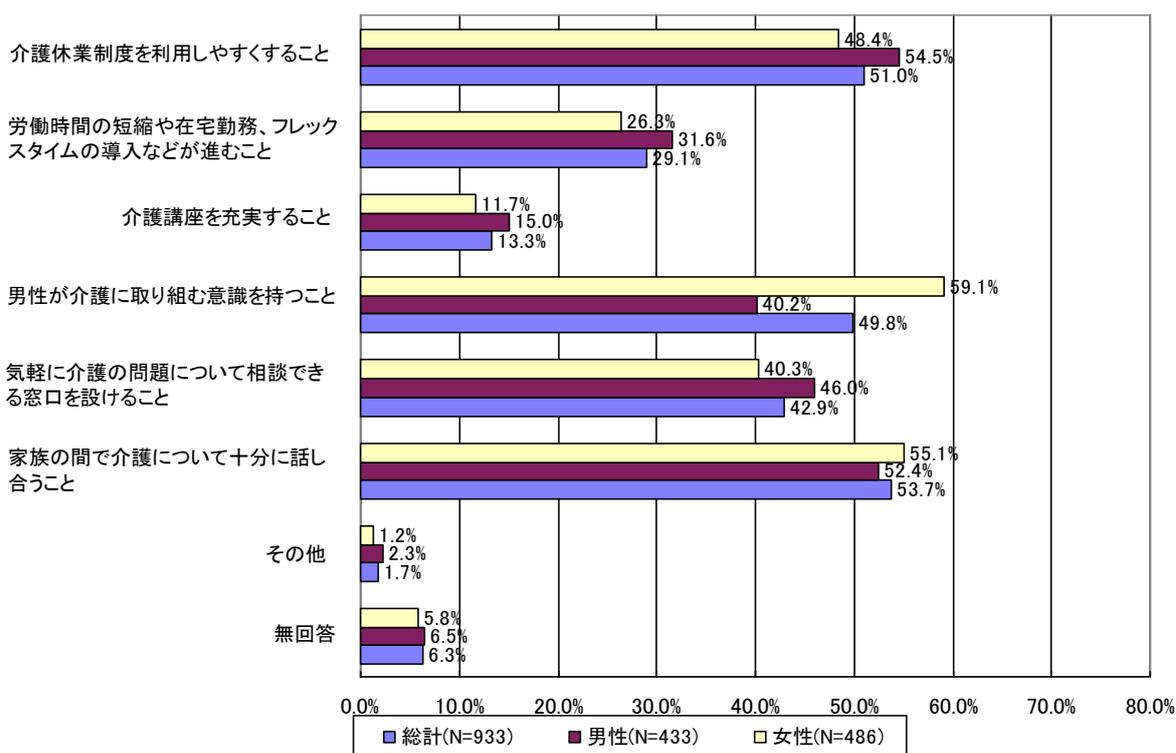


■ 主として女性が受け持つ方がよい ■ 主として男性が受け持つ方がよい □ 男女が共同して受け持つ方がよい
 □ その他 ■ 無回答

③今後、男性が女性とともに介護に参加していくためには、どのようなことが重要になる
 と思いますか。【3つまで〇】

- ・全体では、「家族の間で介護について十分に話し合うこと」が 53.7%で最も多く、「介護休業制度を利用しやすくすること」が 51.0%、「男性が介護に取り組む意識を持つこと」が 49.8%、「気軽に介護の問題について相談できる窓口を設けること」が 42.9%で続いている。
- ・男女別で見ると、男性は「介護休業制度を利用しやすくすること」が 54.5%で最も多く、女性は「男性が介護に取り組む意識を持つこと」が 59.1%で最も多くなっている。
- ・年代別で見ると、20～40 代では「介護休業制度を利用しやすくすること」が最も多く、50 代では「男性が介護に取り組む意識を持つこと」が、60 歳以上では「家族の間で介護について十分に話し合うこと」が最も多くなっている。

【男女別】



【年代別】

選択項目	20代 N=76	30代 N=105	40代 N=128	50代 N=199	60以上 N=410	合計 N=933
介護休業制度を利用しやすくすること	65.8%	61.0%	59.4%	54.8%	41.7%	51.0%
労働時間の短縮や在宅勤務、フレックスタイムの導入などが進むこと	36.8%	40.0%	39.1%	31.7%	19.8%	29.1%
介護講座を充実すること	9.2%	9.5%	8.6%	16.1%	15.4%	13.3%
男性が介護に取り組む意識を持つこと	44.7%	51.4%	55.5%	55.3%	46.6%	49.8%
気軽に介護の問題について相談できる窓口を設けること	42.1%	38.1%	33.6%	41.7%	48.1%	42.9%
家族の間で介護について十分に話し合うこと	44.7%	50.5%	45.3%	48.7%	61.2%	53.7%
その他	0.0%	2.9%	1.6%	1.5%	2.0%	1.7%
無回答	7.9%	5.7%	7.8%	3.0%	6.8%	6.3%

6 就労について

問5 「女性はどのような働き方をしていくのが理想だと思うか」、「現実にはどのような働き方をしているか」、「理想と現実が違っている理由」について

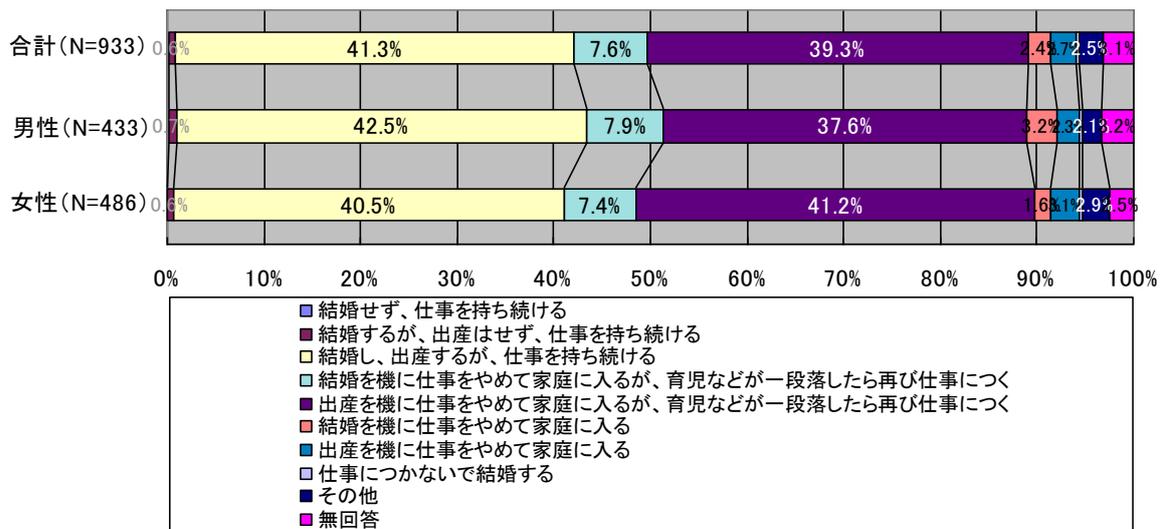
①あなたは、女性はどのような働き方をしていくのが理想だと思いますか。

・全体では、「結婚し、出産するが、仕事を続ける」が41.3%で最も多く、「出産を機に仕事をやめて家庭に入るが、育児などが一段落したら再び仕事につく」が39.3%で続いている。

・男女別で見ると、男性は「結婚し、出産するが、仕事を続ける」が42.5%で最も多く、女性は「出産を機に仕事をやめて家庭に入るが、育児などが一段落したら再び仕事につく」が41.2%で最も多くなっている。

・年代別で見ると、20代と60歳以上では「出産を機に仕事をやめて家庭に入るが、育児などが一段落したら再び仕事につく」が最も多く、他の年代では「結婚し、出産するが、仕事を続ける」が最も多くなっている。

【男女別】



【年代別】

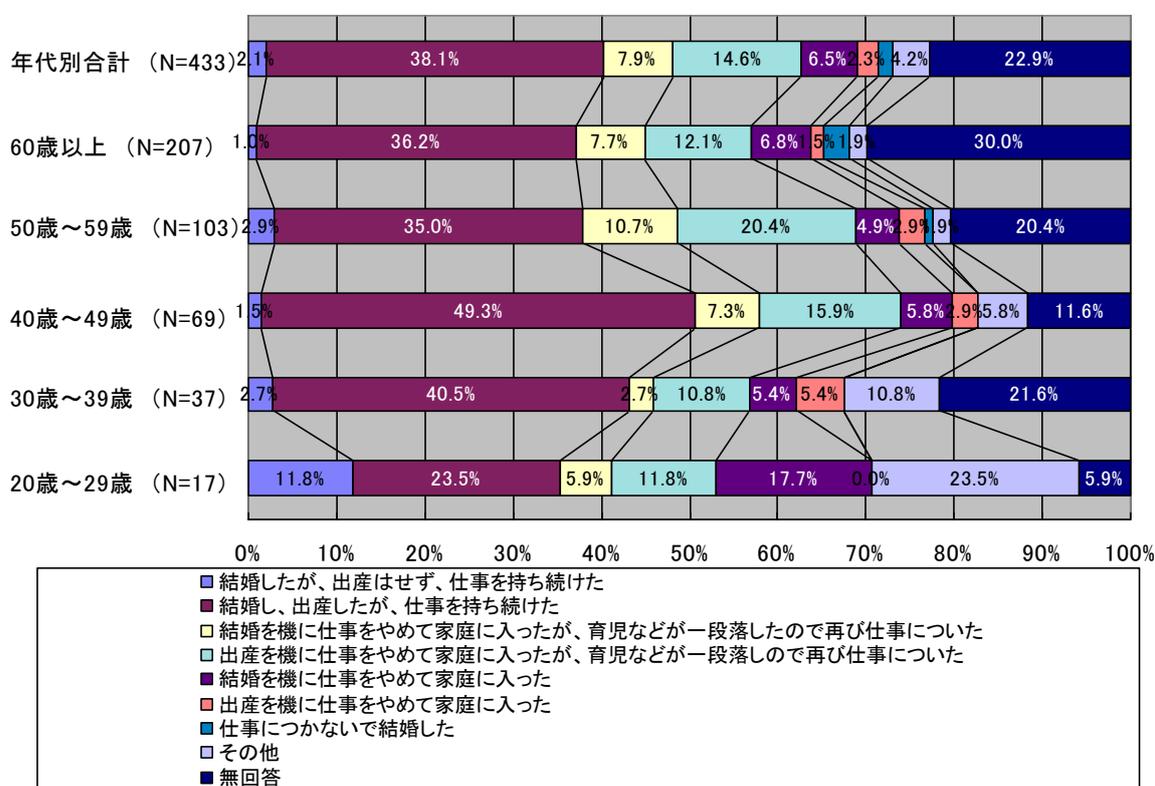
選択項目	20代 N=76	30代 N=105	40代 N=128	50代 N=199	60以上 N=410	合計 N=933
結婚せず、仕事を続ける	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.2%
結婚するが、出産はせず、仕事を続ける	0.0%	1.9%	0.8%	0.5%	0.5%	0.6%
結婚し、出産するが、仕事を続ける	42.1%	43.8%	47.7%	44.7%	37.3%	41.3%
結婚を機に仕事をやめて家庭に入るが、育児などが一段落したら再び仕事につく	3.9%	7.6%	5.5%	6.0%	9.8%	7.6%
出産を機に仕事をやめて家庭に入るが、育児などが一段落したら再び仕事につく	47.4%	32.4%	39.1%	39.2%	40.2%	39.3%
結婚を機に仕事をやめて家庭に入る	2.6%	6.7%	1.6%	2.0%	1.5%	2.4%
出産を機に仕事をやめて家庭に入る	1.3%	1.9%	0.0%	2.0%	4.4%	2.7%
仕事につかないで結婚する	0.0%	1.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.3%
その他	2.6%	2.9%	3.1%	3.5%	1.7%	2.5%
無回答	0.0%	1.9%	1.6%	1.5%	4.6%	3.1%

②現在結婚（事実婚を含む）している女性の方または結婚したが離別、死別した女性の方におたずねします。現実、あなたはどのような働き方をしていますか。

・「結婚し、出産したが、仕事をもち続けた」が40.4%で最も多く、「出産を機に仕事をやめて家庭に入ったが、育児などが一段落したので再び仕事についた」が15.5%で続いている。

・年代別で見ると、20代では「結婚し、出産したが、仕事をもち続けた」と「その他」が最も多く、他の年代では「結婚し、出産したが、仕事をもち続けた」が最も多くなっている。

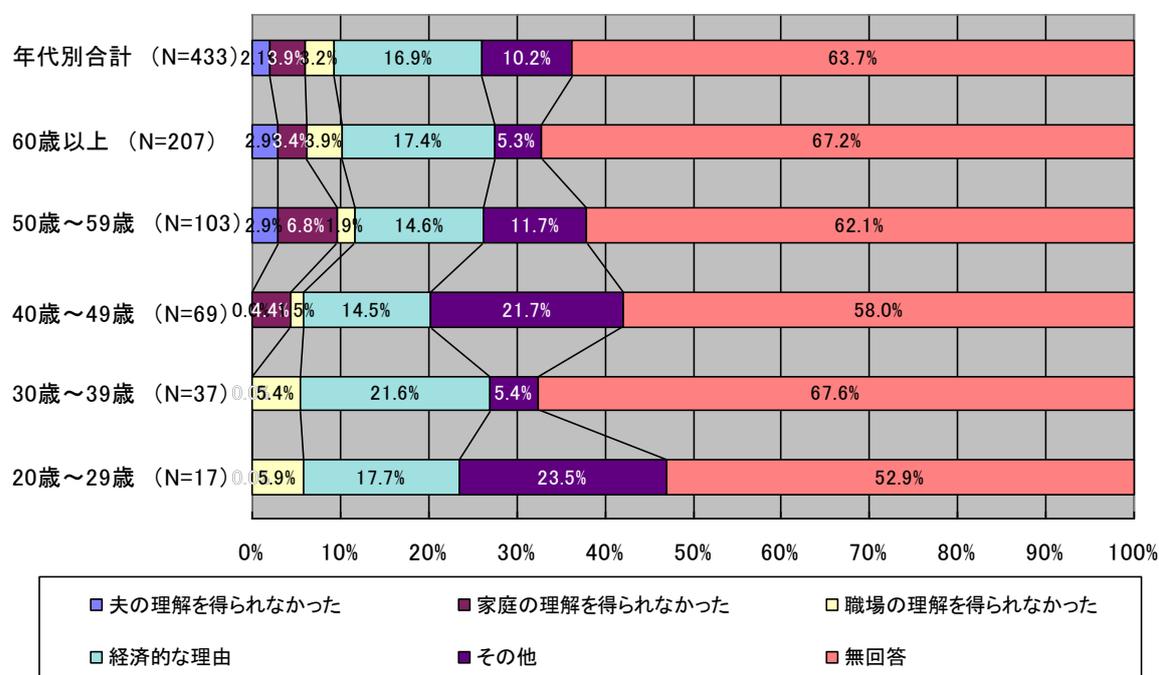
【年代別】



③ 問5(2)でお答えいただいた「現実」と問5(1)でお答えいただいた「理想」が違っている方におたずねします。「理想」と「現実」が違っている理由について、次の中から最も近いものを選んでください。

- 全体では、「無回答」を除くと「経済的な理由」が16.9%で最も多い。
- 年代別で見ると、「その他」を除き、どの年代でも「経済的な理由」が最も多い。
- 「無回答」には、理想と現実が違わない人も含まれている。

【年代別】

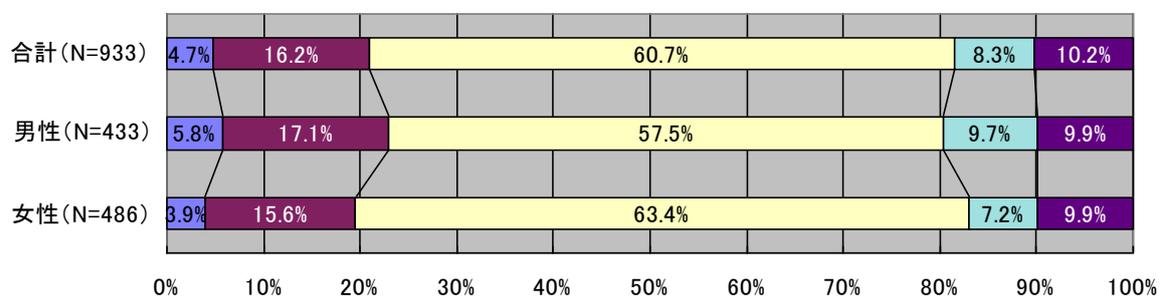


問6 あなたは、村上市を全般的にみて、女性が働く環境についてどう思いますか。

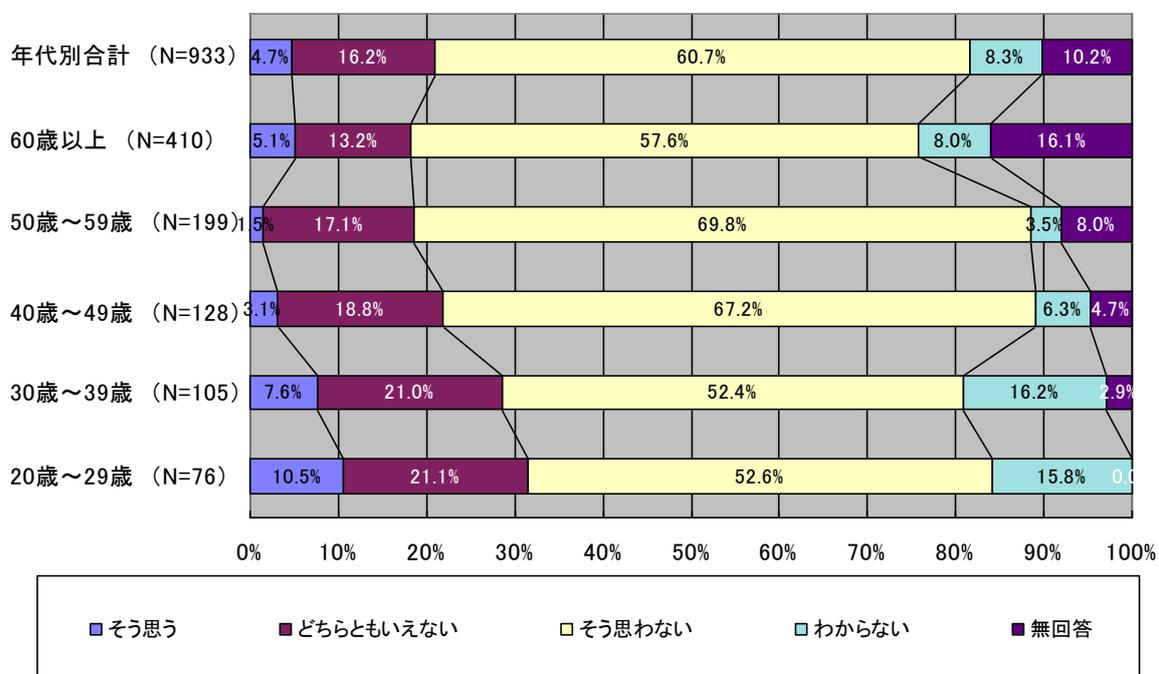
①働く場が多い

- 全体では、「そう思わない」が60.7%で最も多い。
- 「そう思う」は4.7%（男性5.8%、女性3.9%）となっている。
- 男女別で見ると、男女とも「そう思わない」が最も多い。（男性57.5%、女性63.4%）
- 年代別で見ると、どの年代でも「そう思わない」が最も多い。

【男女別】



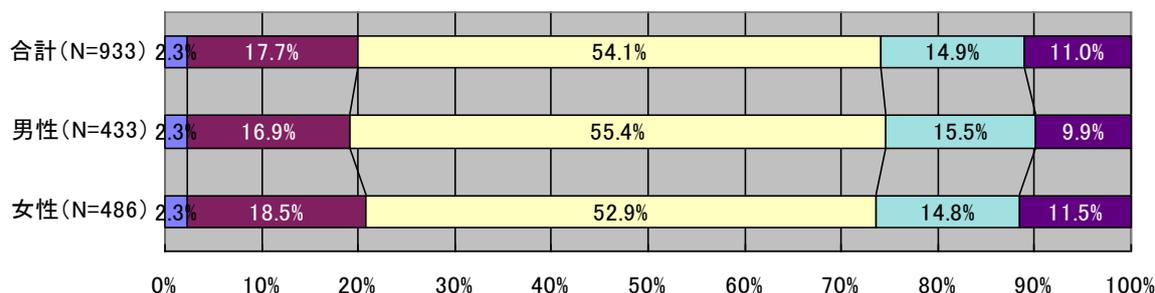
【年代別】



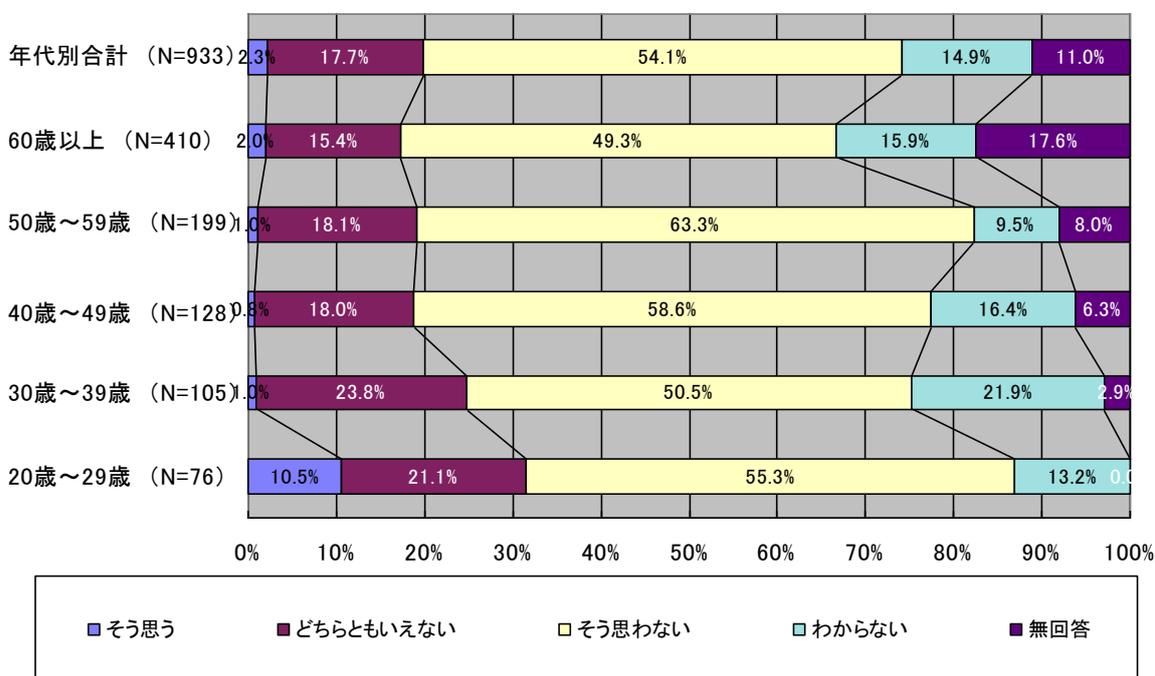
②能力発揮の場が多い

- 全体では、「そう思わない」が54.1%で最も多い。
- 「そう思う」は2.3%（男女とも2.3%）となっている。
- 男女別で見ると、男女とも「そう思わない」が最も多い。（男性55.4%、女性52.9%）
- 年代別で見ると、どの年代でも「そう思わない」が最も多い。

【男女別】



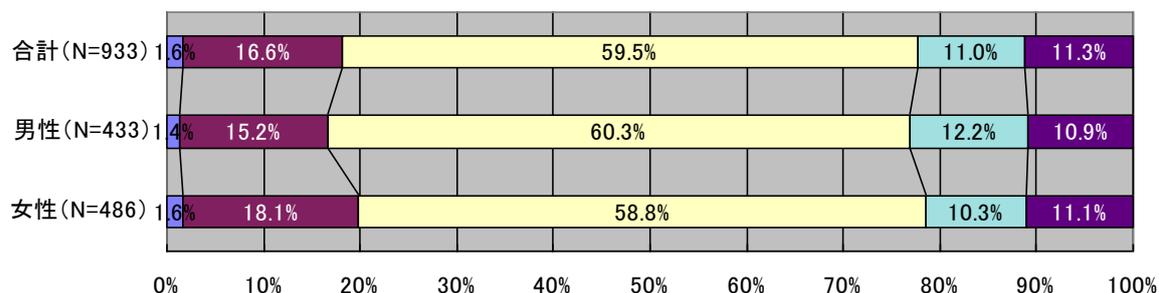
【年代別】



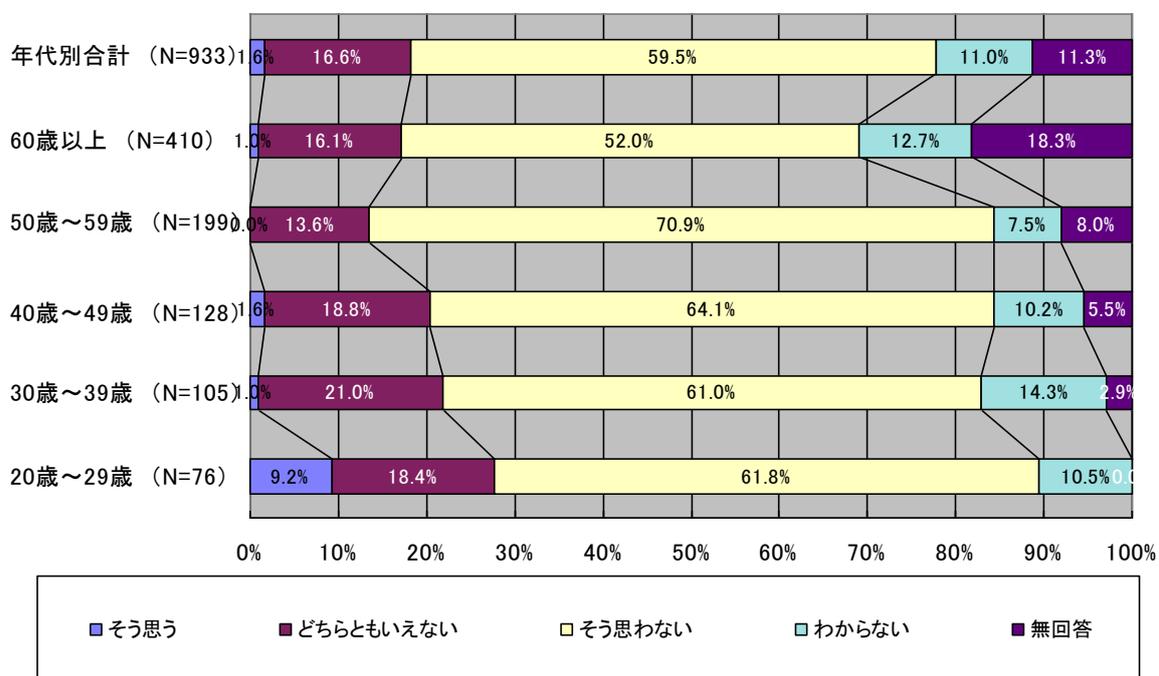
③労働条件が整っている

- 全体では、「そう思わない」が59.5%で最も多い。
- 「そう思う」は1.6%（男性1.4%、女性1.6%）となっている。
- 男女別で見ると、男女とも「そう思わない」が最も多い。（男性60.3%、女性58.8%）
- 年代別で見ると、どの年代でも「そう思わない」が最も多い。

【男女別】



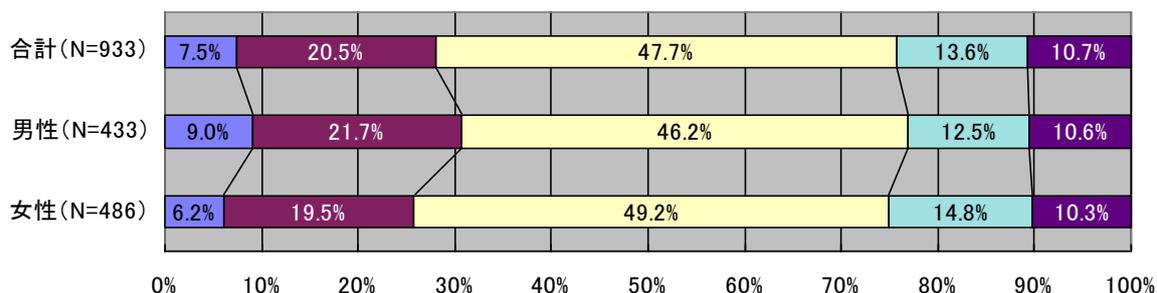
【年代別】



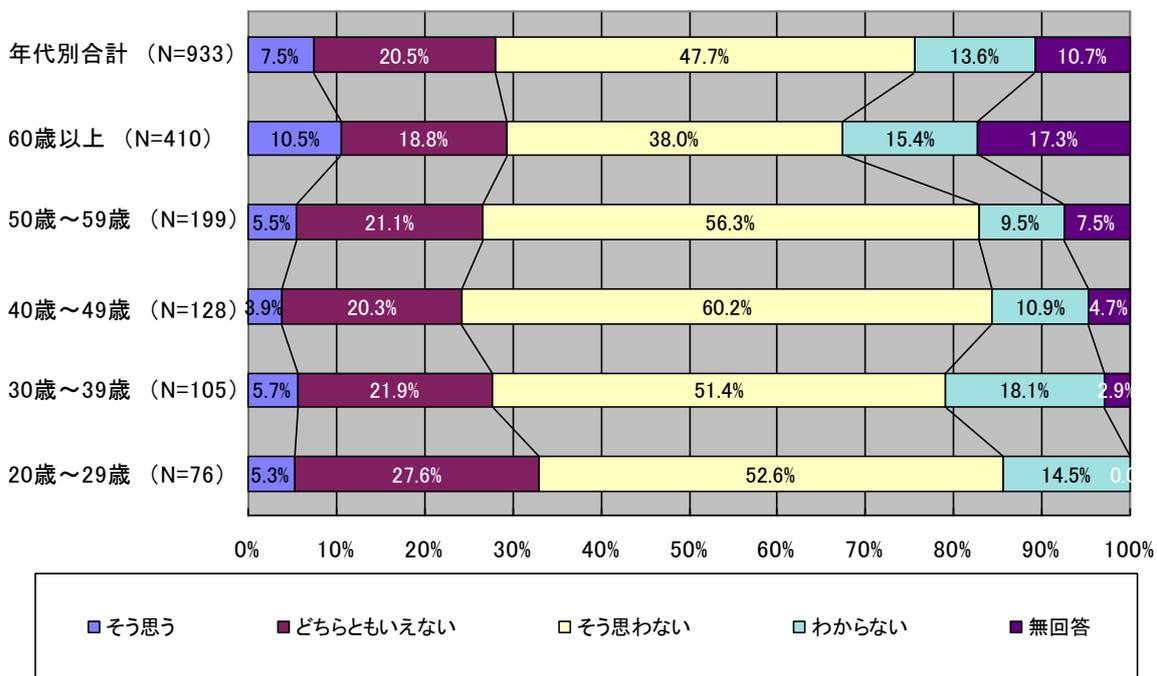
④育児施設が整備されている

- 全体では、「そう思わない」が47.7%で最も多い。
- 「そう思う」は7.5%（男性9.0%、女性6.2%）となっている。
- 男女別で見ると、男女とも「そう思わない」が最も多い。（男性46.2%、女性49.2%）
- 年代別で見ると、どの年代でも「そう思わない」が最も多い。

【男女別】



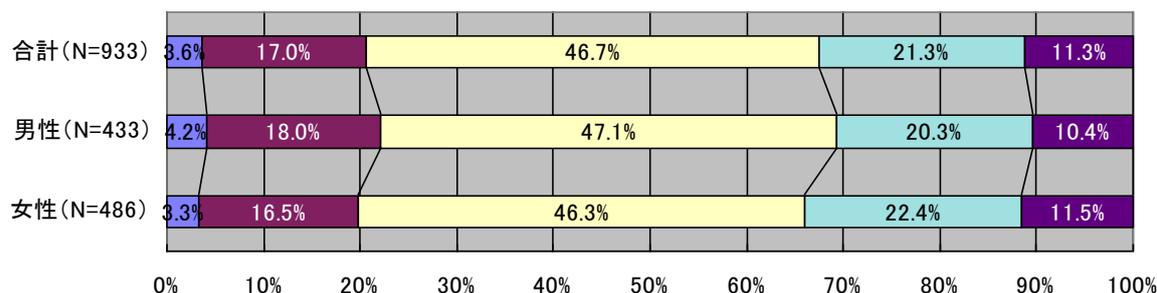
【年代別】



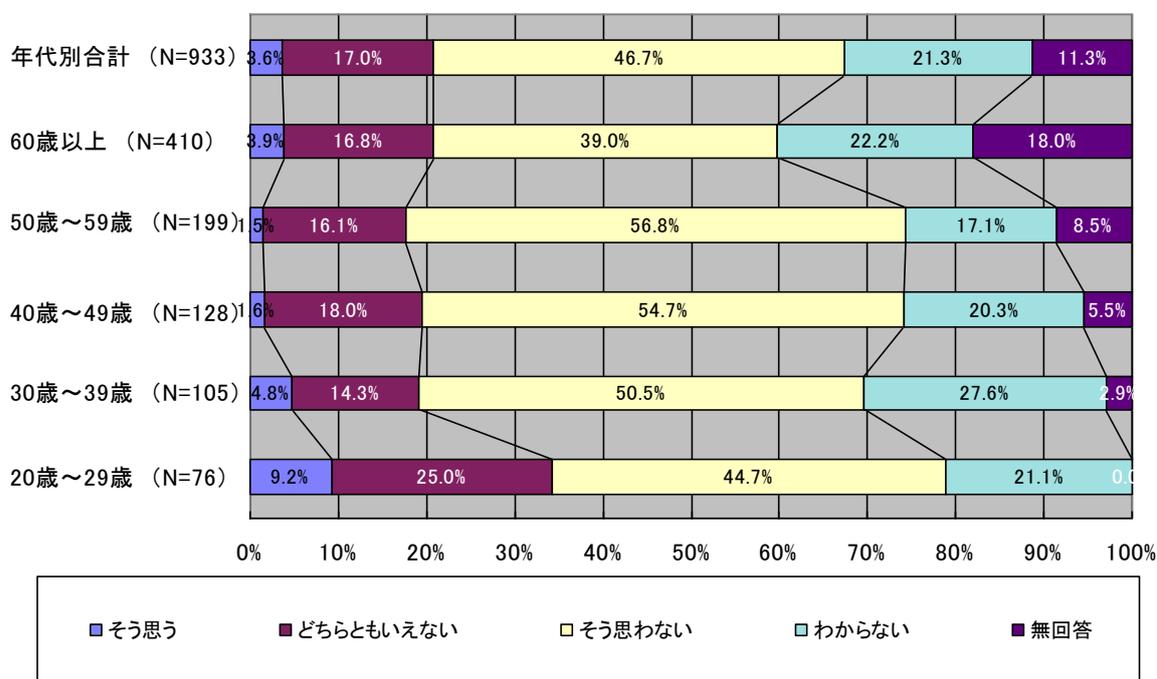
⑤昇進・給与等に男女の差別的扱いがない

- 全体では、「そう思わない」が46.7%で最も多い。
- 「そう思う」は3.6%（男性4.2%、女性3.3%）となっている。
- 男女別で見ると、男女とも「そう思わない」が最も多い。（男性47.1%、女性46.3%）
- 年代別で見ると、どの年代でも「そう思わない」が最も多い。

【男女別】



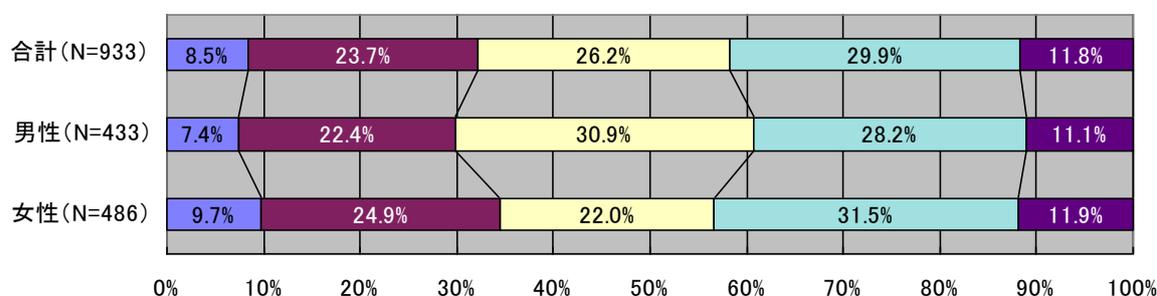
【年代別】



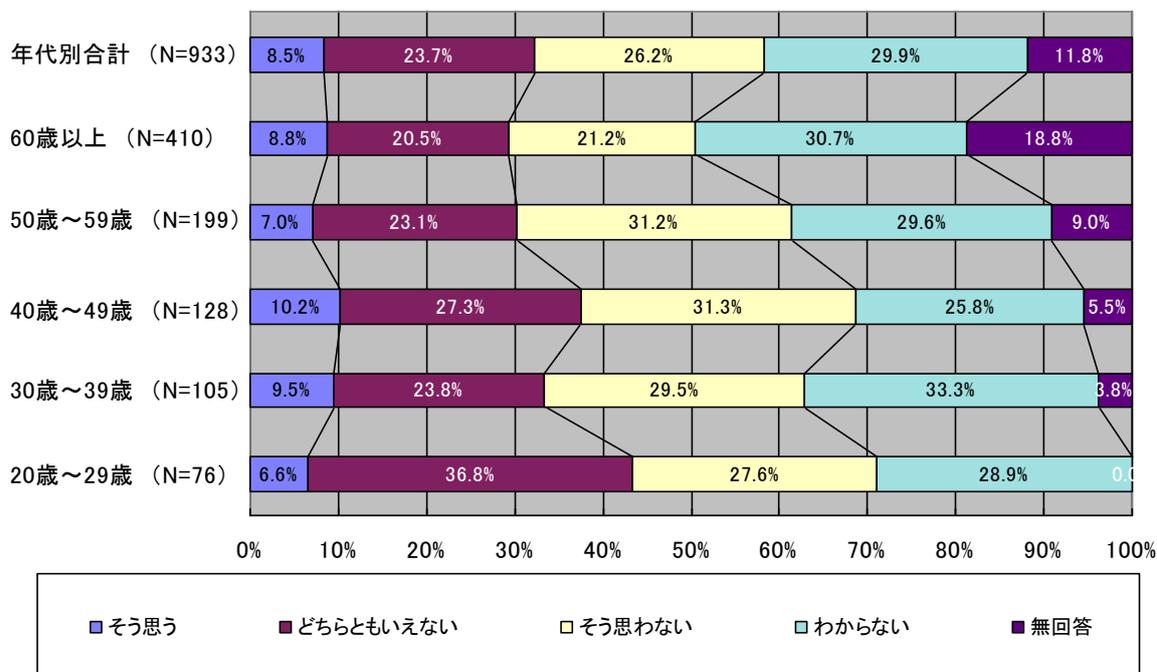
⑥結婚・出産退職の圧力等がない

- 全体では、「わからない」が29.9%で最も多い。
- 「そう思う」は8.5%（男性7.4%、女性9.7%）となっている。
- 「そう思わない」は26.2%（男性30.9%、女性22.0%）となっている。
- 男女別で見ると、男性は「そう思わない」が30.9%で最も多く、女性は「わからない」が31.5%で最も多くなっている。
- 年代別で見ると、20代では「どちらともいえない」が最も多く、30代と60歳以上では「わからない」が、40～50代では「そう思わない」が最も多くなっている。

【男女別】



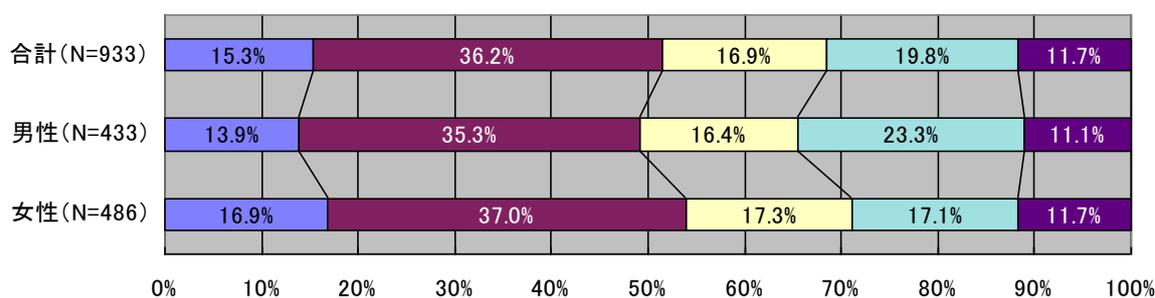
【年代別】



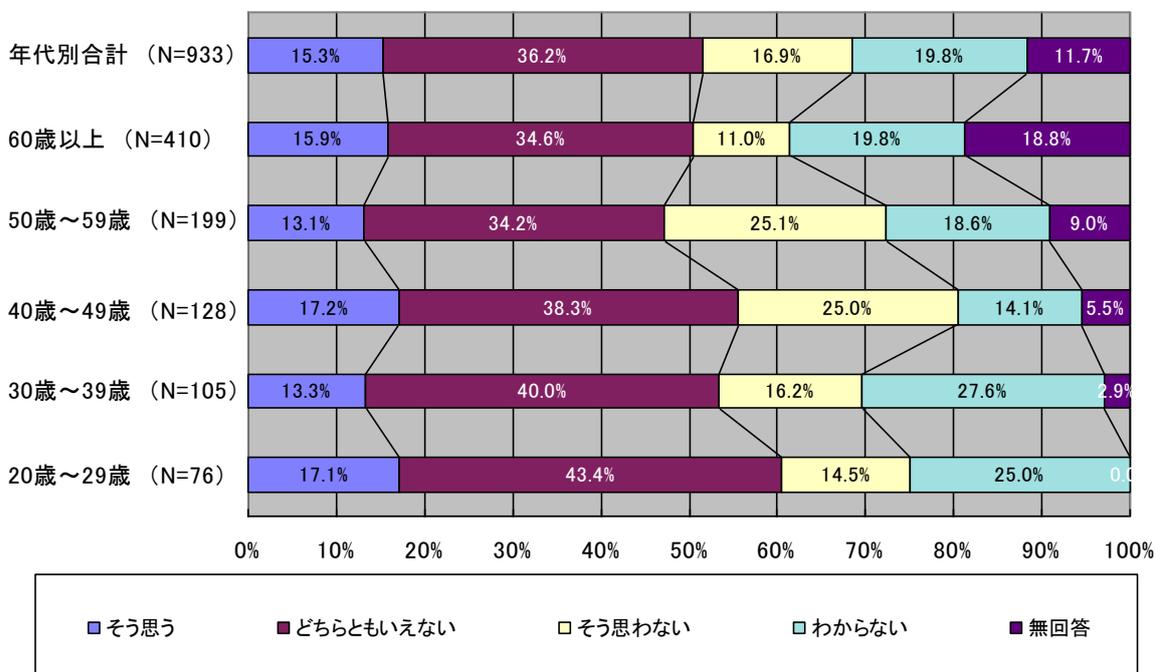
⑦家族の理解や協力が得やすい

- 全体では、「どちらともいえない」が36.2%で最も多い。
- 「そう思う」は15.3%（男性13.9%、女性16.9%）となっている。
- 「そう思わない」は16.9%（男性16.4%、女性17.3%）となっている。
- 男女別で見ると、男女とも「どちらともいえない」が最も多い。（男性35.3%、女性37.0%）
- 年代別で見ると、どの年代でも「どちらともいえない」が最も多くなっている。

【男女別】



【年代別】



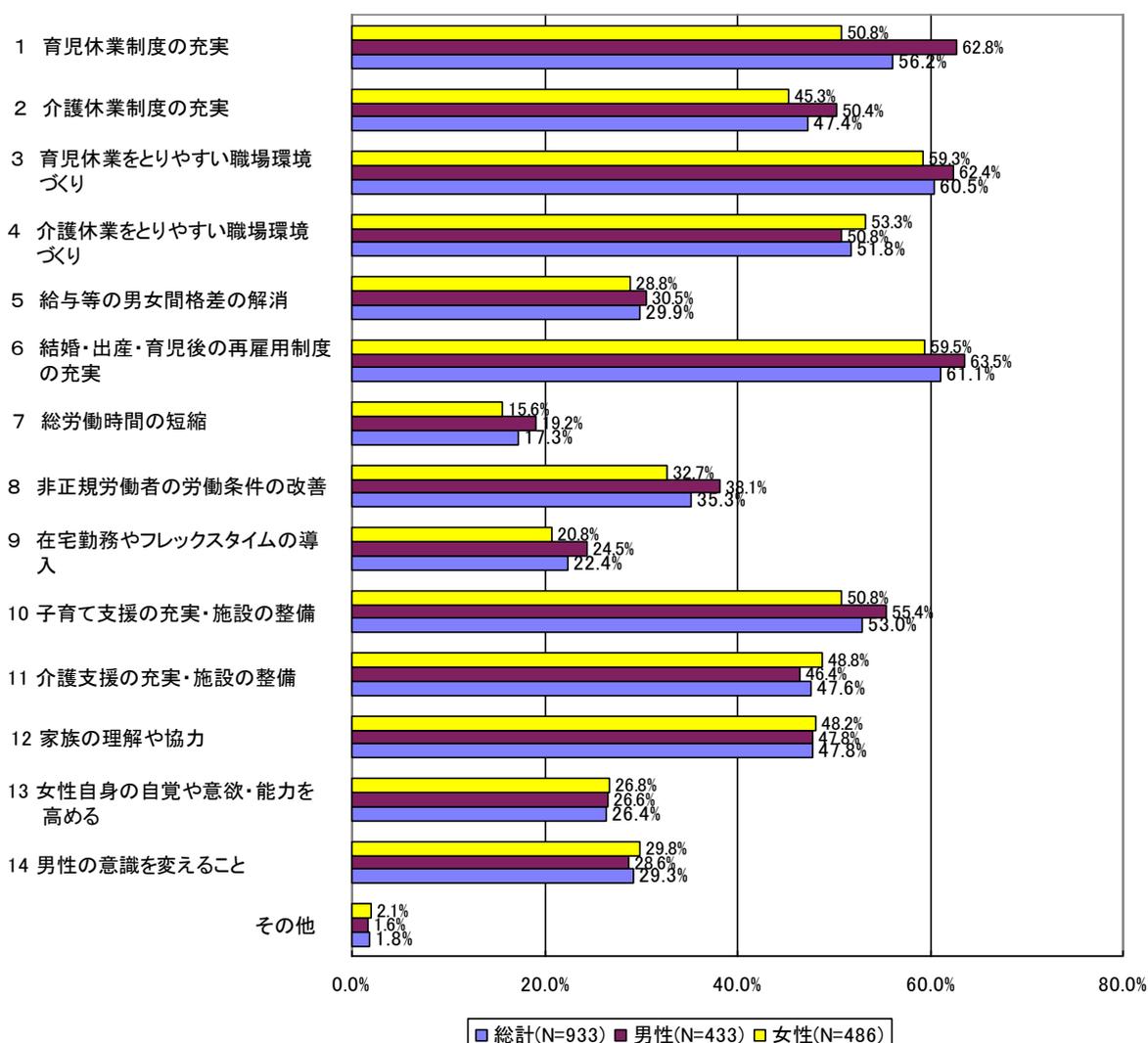
問7 あなたは、女性が働き続けるためには、今後どのようなことが必要だと思いますか。

【あてはまるものすべてに○】

・全体では、「結婚・出産・育児後の再雇用制度の充実」が61.1%で最も多く、「育児休業をとりやすい職場環境づくり」が60.5%、「育児休業制度の充実」が56.2%、「子育て支援の充実・施設の整備」が53.0%で続いている。

・男女別で見ると、男女とも「結婚・出産・育児後の再雇用制度の充実」が最も多い。（男性63.5%、女性59.5%）

【男女別】



・年代別で見ると、20～30代と50代では「育児休業をとりやすい職場環境づくり」が最も多く、40代と60歳以上では「結婚・出産・育児後の再雇用制度の充実」が最も多くなっている。

【年代別】

選択項目	20代 N=76	30代 N=105	40代 N=128	50代 N=199	60以上 N=410	合計 N=933
育児休業制度の充実	72.4%	68.6%	53.1%	54.8%	52.0%	56.2%
介護休業制度の充実	48.7%	43.8%	51.6%	48.2%	46.8%	47.4%
育児休業をとりやすい職場環境づくり	80.3%	69.5%	59.4%	60.8%	55.4%	60.5%
介護休業をとりやすい職場環境づくり	55.3%	46.7%	55.5%	57.8%	49.3%	51.8%
給与等の男女間格差の解消	48.7%	36.2%	34.4%	28.6%	23.4%	29.9%
結婚・出産・育児後の再雇用制度の充実	75.0%	65.7%	61.7%	59.8%	58.5%	61.1%
総労働時間の短縮	26.3%	19.1%	12.5%	15.1%	17.8%	17.3%
非正規労働者の労働条件の改善	42.1%	33.3%	32.8%	39.2%	33.2%	35.3%
在宅勤務やフレックスタイムの導入	31.6%	24.8%	25.0%	20.6%	20.5%	22.4%
子育て支援の充実・施設の整備	69.7%	65.7%	58.6%	49.8%	46.3%	53.0%
介護支援の充実・施設の整備	50.0%	31.4%	52.3%	49.8%	48.5%	47.6%
家族の理解や協力	56.6%	47.6%	50.8%	43.2%	47.8%	47.8%
女性自身の自覚や意欲・能力を高める	29.0%	20.0%	23.4%	25.6%	29.5%	26.4%
男性の意識を変えること	30.3%	34.3%	36.7%	29.2%	25.6%	29.3%
その他	0.0%	4.8%	0.8%	0.5%	2.4%	1.8%

7 教育について

問8 学校生活の中、学校生活以外の場で感じたり、経験したことについて

①あなたは、学校生活の中で、次のようなことを感じたり、経験したことがありますか。

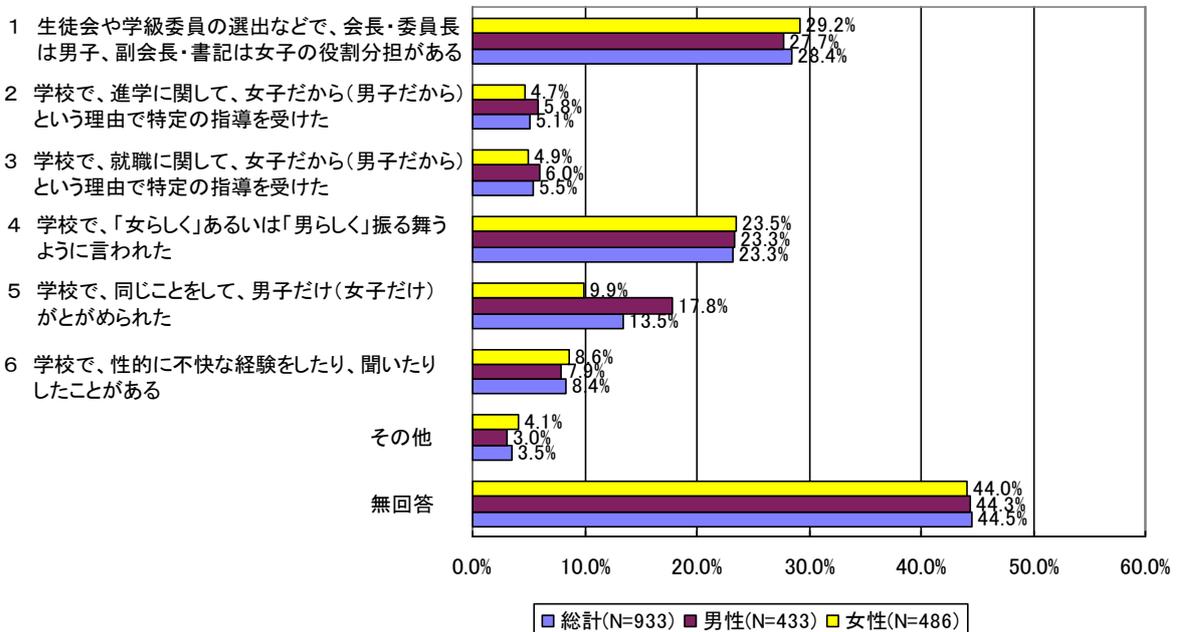
次の中から選んでください。【あてはまるものすべてに〇】

・無回答を除くと、全体では「生徒会や学級委員の選出などで、会長・委員長は男子、副会長・書記は女子の役割分担がある」が 28.4%で最も多く、『学校で、「女らしく」あるいは「男らしく」振る舞うように言われた』が 23.3%、「学校で、同じことをして、男子だけ（女子だけ）がとがめられた」が 13.5%で続いている。

・男女別で見ると、「無回答」を除き、男女ともに「生徒会や学級委員の選出などで、会長・委員長は男子、副会長・書記は女子の役割分担がある」が最も多い。（男性 29.2%、女性 27.7%）

・年代別で見ると、「無回答」を除き、20代では『学校で、「女らしく」あるいは「男らしく」振る舞うように言われた』が最も多く、30代では「学校で、同じことをして、男子だけ（女子だけ）がとがめられた」が、40代以上では「生徒会や学級委員の選出などで、会長・副会長は男子、副会長・書記は女子の役割分担がある」が最も多くなっている。

【男女別】



【年代別】

選択項目	20代 N=76	30代 N=105	40代 N=128	50代 N=199	60以上 N=410	合計 N=933
生徒会や学級委員の選出などで、会長・委員長は男子、副会長・書記は女子の役割がある	15.8%	22.9%	28.9%	33.7%	29.3%	28.4%
学校で、進学に関して、女子だから(男子だから)という理由で特定の指導を受けた	5.3%	1.9%	3.9%	4.5%	6.6%	5.1%
学校で、就職に関して、女子だから(男子だから)という理由で特定の指導を受けた	6.6%	3.8%	3.9%	6.0%	5.6%	5.5%
学校で、「女らしく」あるいは「男らしく」振る舞うように言われた	32.9%	21.0%	22.7%	22.6%	22.9%	23.3%
学校で、同じことをして、男子だけ(女子だけ)がとがめられた	23.7%	24.8%	13.3%	13.1%	9.3%	13.5%
学校で、性的に不快な経験をしたり、聞いたりしたことがある	11.8%	7.6%	9.4%	8.0%	7.6%	8.4%
その他	2.6%	2.9%	5.5%	3.0%	3.7%	3.5%
無回答	42.1%	48.6%	43.0%	40.2%	46.1%	44.5%

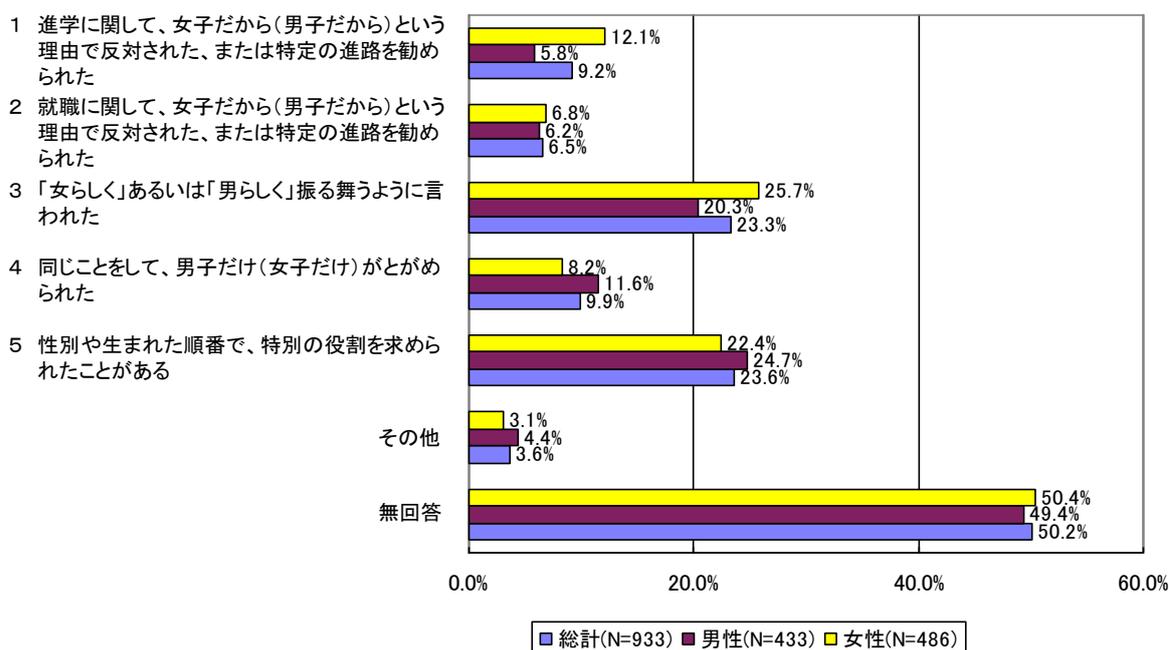
②あなたは、学校生活以外の場（家庭や身のまわり）で、次のようなことを経験したことがありますか。次の中から選んでください。【あてはまるものすべてに○】

・無回答を除くと、全体では「性別や生まれた順番で、特別の役割を求められたことがある」が 23.6%で最も多く、『「女らしく」あるいは「男らしく」振る舞うように言われた』が 23.3%、「同じことをして、男子だけ（女子だけ）がとがめられた」が 9.9%で続いている。

・男女別で見ると、無回答を除き、男性は「性別や生まれた順番で、特別の役割を求められたことがある」が 24.7%で最も多く、女性は『「女らしく」あるいは「男らしく」振る舞うように言われた』が 25.7%で最も多くなっている。

・年代別で見ると、無回答を除き、20代では『「女らしく」あるいは「男らしく」振る舞うように言われた』と「性別や生まれた順番で、特別の役割を求められたことがある」が最も多く、30～50代では「性別や生まれた順番で、特別の役割を求められたことがある」が、60歳以上では『「女らしく」あるいは「男らしく」振る舞うように言われた』が最も多くなっている。

【男女別】



【年代別】

選択項目	20代 N=76	30代 N=105	40代 N=128	50代 N=199	60以上 N=410	合計 N=933
進学に関して、女子だから(男子だから)という理由で反対された、または特定の進路を勧められた	6.6%	10.5%	8.6%	8.0%	9.8%	9.2%
就職に関して、女子だから(男子だから)という理由で反対された、または特定の進路を勧められた	7.9%	4.8%	7.8%	6.0%	6.3%	6.5%
「女らしく」あるいは「男らしく」振る舞うように言われた	31.6%	20.0%	21.9%	22.6%	22.9%	23.3%
同じことをして、男子だけ(女子だけ)がとがめられた	22.4%	15.2%	9.4%	8.5%	6.8%	9.9%
性別や生まれた順番で、特別の役割を求められたことがある	31.6%	22.9%	33.6%	28.6%	16.6%	23.6%
その他	4.0%	1.9%	3.9%	4.0%	3.9%	3.6%
無回答	43.4%	51.4%	46.1%	45.2%	54.6%	50.2%

8 地域活動等について

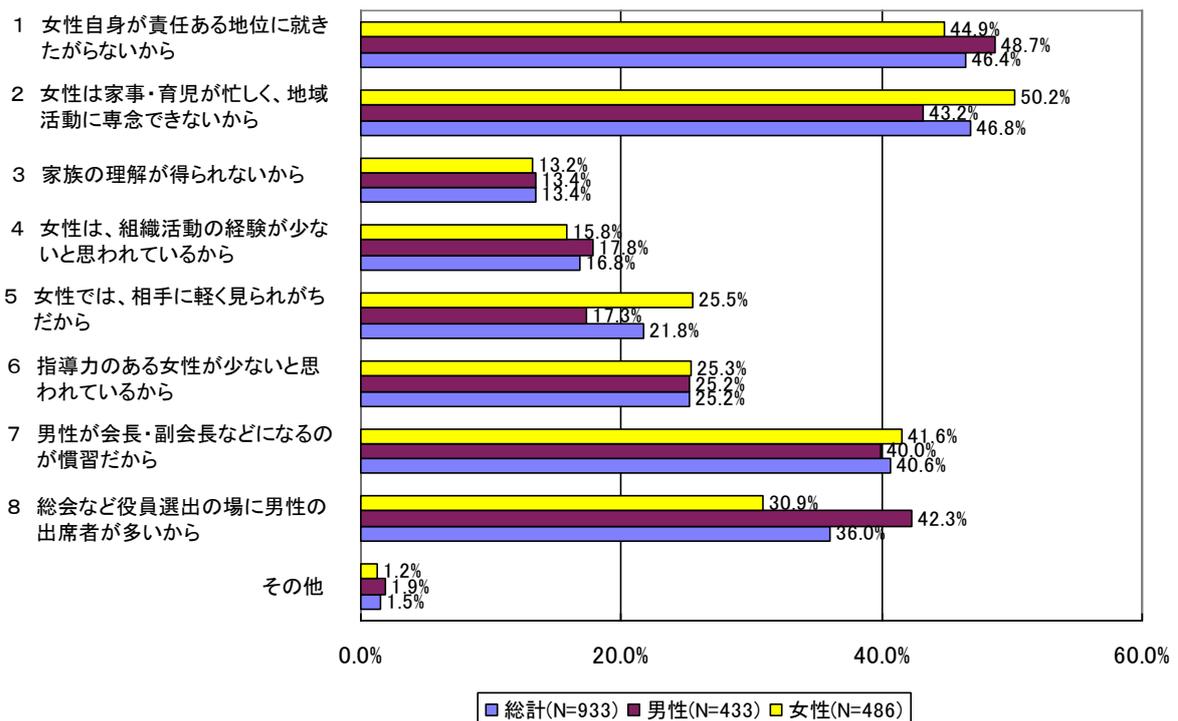
問9 PTAや町内会などの地域団体では、一般的な活動の主体が女性でも会長・副会長などの役員は男性が多いようです。その主な原因は何だと思えますか。【あてはまるものすべてに○】

・全体では、「女性は家事・育児が忙しく、地域活動に専念できないから」が46.8%で最も多く、「女性自身が責任ある地位に就きたがらないから」が46.4%、「男性が会長・副会長などになるのが慣習だから」が40.6%、「総会など役員選出の場に男性の出席者が多いから」が36.0%で続いている。

・男女別で見ると、男性は「女性自身が責任ある地位に就きたがらないから」が48.7%で最も多く、女性は「女性は家事・育児が忙しく、地域活動に専念できないから」が50.2%で最も多くなっている。

・年代別で見ると、20代では「女性は家事・育児が忙しく、地域活動に専念できないから」が最も多く、30代では「男性が会長・副会長などになるのが慣習だから」が、40代以上では「女性自身が責任ある地位に就きたがらないから」が最も多くなっている。

【男女別】



【年代別】

選択項目	20代 N=76	30代 N=105	40代 N=128	50代 N=199	60以上 N=410	合計 N=933
女性自身が責任ある地位に就きたがらないから	34.2%	39.1%	53.1%	48.2%	47.8%	46.4%
女性は家事・育児が忙しく、地域活動に専念できないから	55.3%	48.6%	47.7%	46.2%	44.9%	46.8%
家族の理解が得られないから	13.2%	9.5%	10.2%	16.1%	13.9%	13.4%
女性は、組織活動の経験が少ないと思われているから	13.2%	15.2%	14.8%	17.6%	17.8%	16.8%
女性では、相手に軽く見られがちだから	26.3%	28.6%	25.0%	20.6%	18.3%	21.8%
指導力のある女性が少ないと思われているから	27.6%	20.0%	21.1%	26.1%	27.1%	25.2%
男性が会長・副会長などになるのが慣習だから	44.7%	61.0%	52.3%	38.7%	32.2%	40.6%
総会など役員選出の場に男性の出席者が多いから	34.2%	32.4%	28.9%	37.7%	39.0%	36.0%
その他	1.3%	0.0%	1.6%	4.0%	0.7%	1.5%

9 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

問10 ワーク・ライフ・バランスについての希望と現実

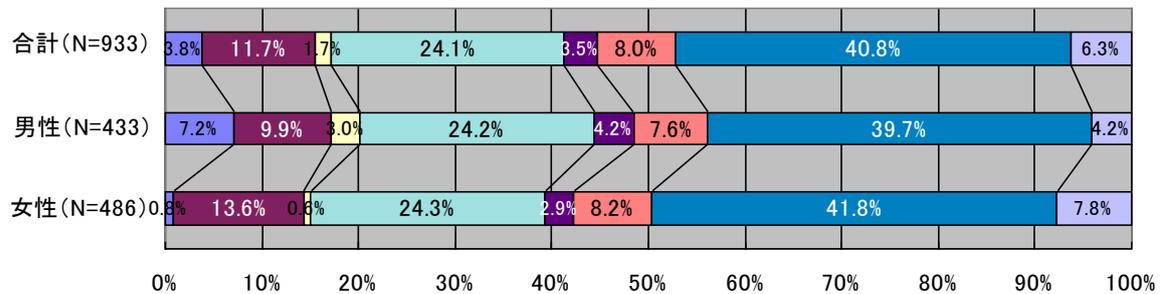
①生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・つき合い等）」について、あなたの希望に最も近いものを選んでください。

・全体では、『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」の三つとも大切にしたい』が40.8%で最も多く、『「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい』が24.1%で続いている。

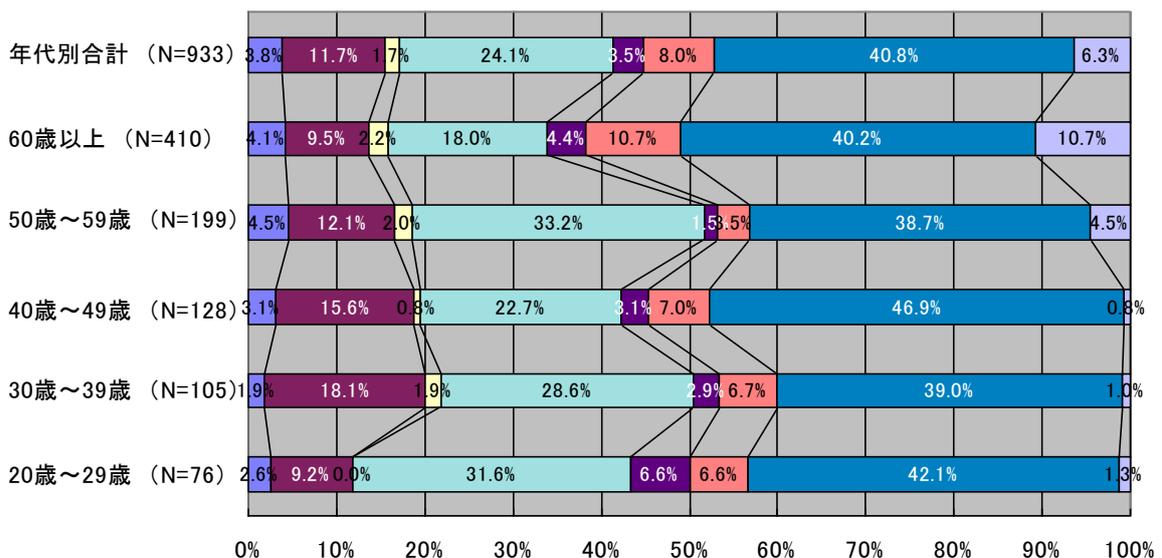
・男女別で見ると、男女とも『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」の三つとも大切にしたい』が最も多い。（男性39.7%、女性41.8%）

・年代別で見ると、どの年代でも『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」の三つとも大切にしたい』が最も多い。

【男女別】



【年代別】



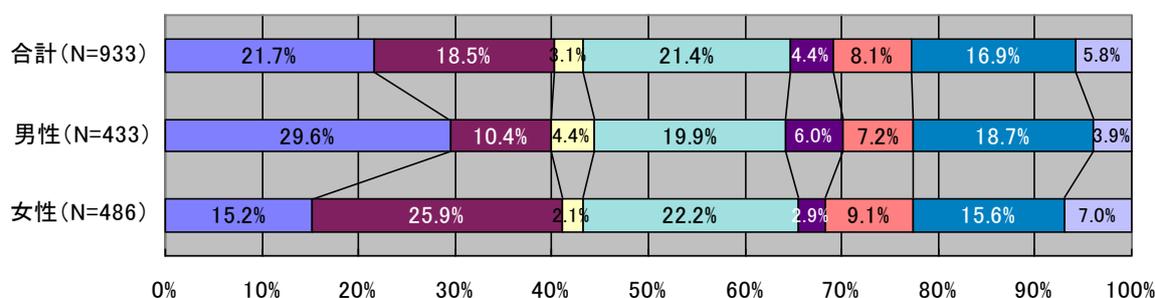
②あなたの生活で、現実（現状）に最も近いものを選んでください。

・全体では、『「仕事」を優先している』が 21.7%で最も多く、『「仕事」と「家庭生活」をともに優先している』が 21.4%、『「家庭生活」を優先している』が 18.5%、『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」の三つとも大切にしている』が 16.9%で続いている。

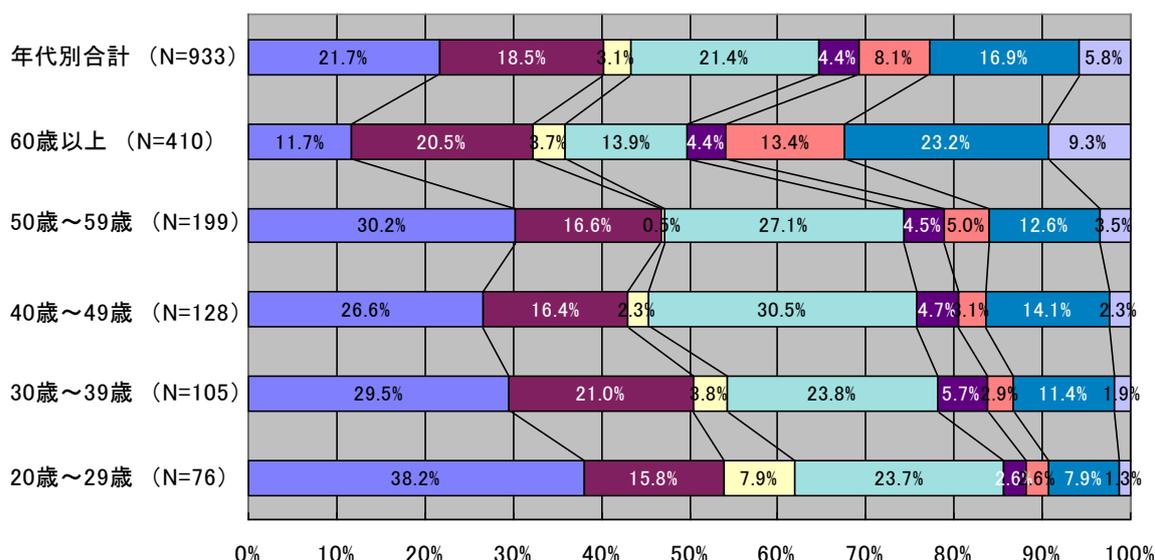
・男女別で見ると、男性は『「仕事」を優先している』が 29.6%で最も多く、女性は『「家庭生活」を優先している』が 25.9%で最も多くなっている。

・年代別で見ると、20～30代と50代では『「仕事」を優先している』が最も多く、40代では『「仕事」と「家庭生活」をともに優先している』が、60歳以上では『「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」の三つとも大切にしている』が最も多くなっている。

【男女別】



【年代別】



- 「仕事」を優先している
- 「家庭生活」を優先している
- 「地域・個人の生活」を優先している
- 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
- 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」の三つとも大切にしている
- 無回答

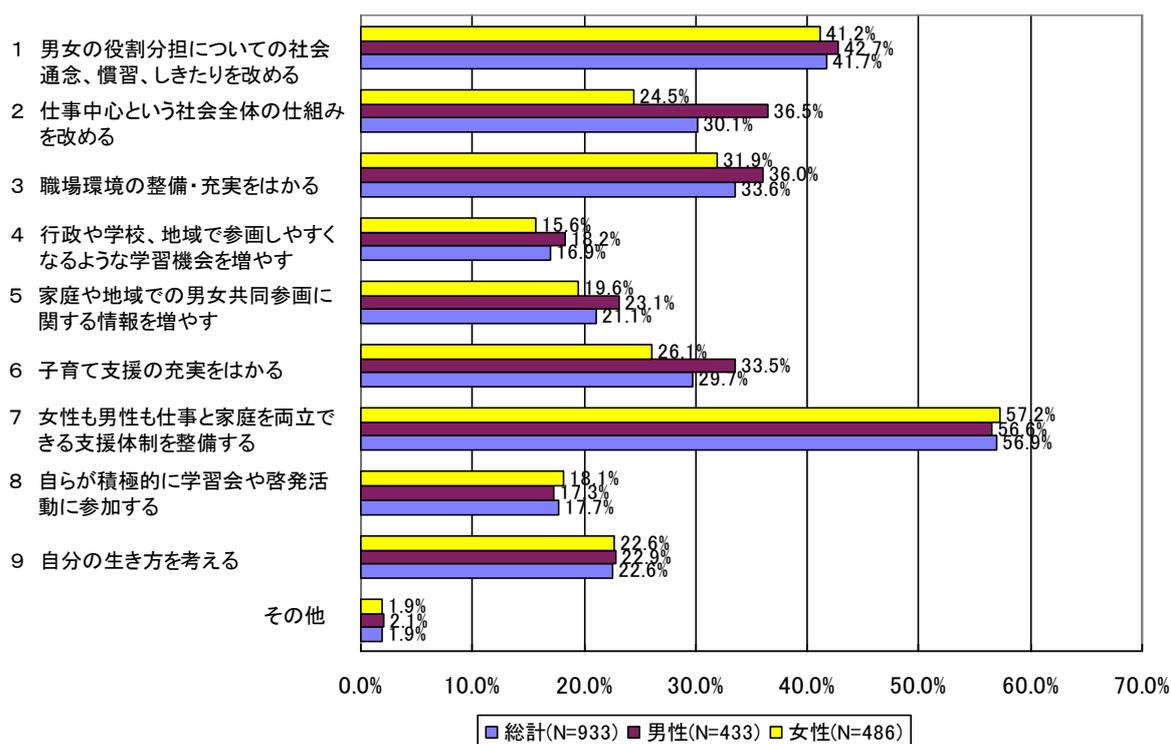
問11 今後、男女がともに家事、子育てや教育、地域活動に積極的に参画していくために、どのようなことが必要だと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

・全体では、「女性も男性も仕事と家庭を両立できる支援体制を整備する」が56.9%で最も多く、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める」が41.7%、「職場環境の整備・充実をはかる」が33.6%、「仕事中心という社会全体の仕組みを改める」が30.1%で続いている。

・男女別で見ると、男女とも「女性も男性も仕事と家庭を両立できる支援体制を整備する」が最も多い。(男性56.6%、女性57.2%)

・年代別で見ると、どの年代でも「女性も男性も仕事と家庭を両立できる支援体制を整備する」が最も多くなっている。

【男女別】



【年代別】

選択項目	20代 N=76	30代 N=105	40代 N=128	50代 N=199	60以上 N=410	合計 N=933
男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める	39.5%	39.1%	54.7%	43.2%	38.3%	41.7%
仕事中心という社会全体の仕組みを改める	39.5%	43.8%	33.6%	32.2%	22.7%	30.1%
職場環境の整備・充実をはかる	51.3%	48.6%	40.6%	34.7%	24.2%	33.6%
行政や学校、地域で参画しやすくなるような学習機会を増やす	15.8%	18.1%	10.9%	12.1%	21.0%	16.9%
家庭や地域での男女共同参画に関する情報を増やす	26.3%	16.2%	11.7%	21.1%	24.2%	21.1%
子育て支援の充実をはかる	56.6%	43.8%	32.0%	23.6%	23.4%	29.7%
女性も男性も仕事と家庭を両立できる支援体制を整備する	67.1%	61.9%	61.7%	50.3%	55.4%	56.9%
自らが積極的に学習会や啓発活動に参加する	13.2%	5.7%	9.4%	17.6%	24.4%	17.7%
自分の生き方を考える	18.4%	19.1%	24.2%	23.6%	23.4%	22.6%
その他	1.3%	2.9%	1.6%	3.0%	1.5%	1.9%

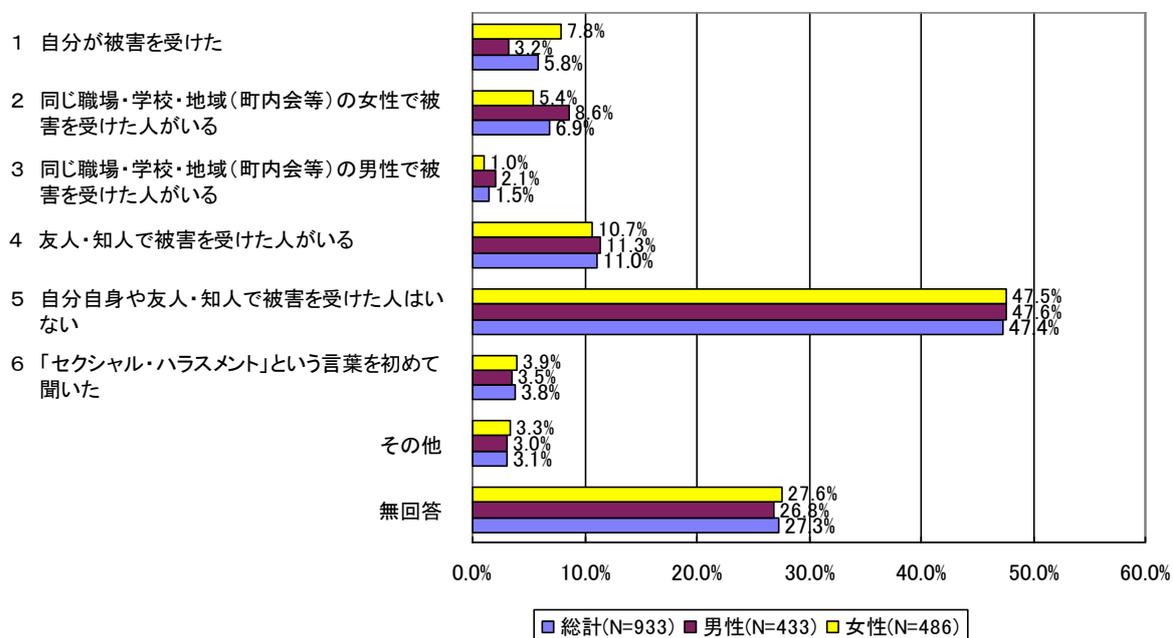
10 暴力等について

問12 セクハラについて

①セクシャル・ハラスメント（セクハラ）についてお答えください。【あてはまるものすべてに○】

- ・全体では、「自分自身や友人・知人で被害を受けた人はいない」が47.4%で最も多い。
- ・男女別で見ると、男女とも「自分自身や友人・知人で被害を受けた人はいない」が最も多い。（男性47.6%、女性47.5%）

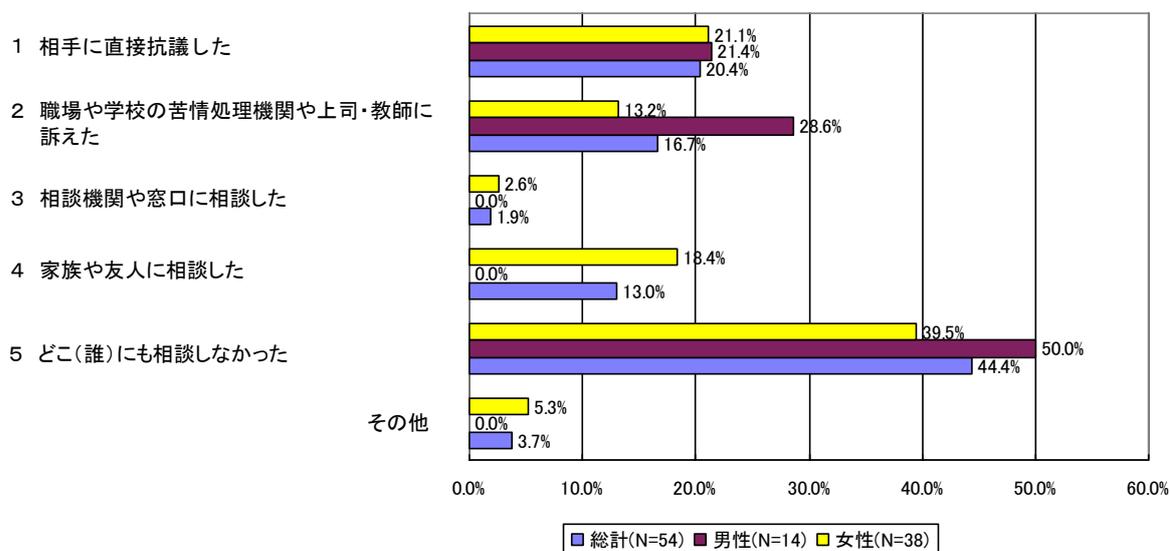
【男女別】



②問12(1)で「自分が被害を受けた」と回答した方におたずねします。被害を受けたときに、どのような対応をしましたか。

・全体では、「どこ（誰）にも相談しなかった」が 44.4%で最も多く、「相手に直接抗議した」が 20.4%、「職場や学校の苦情処理機関や上司・教師に訴えた」が 16.7%、「家族や友人に相談した」が 13.0%が続いている。

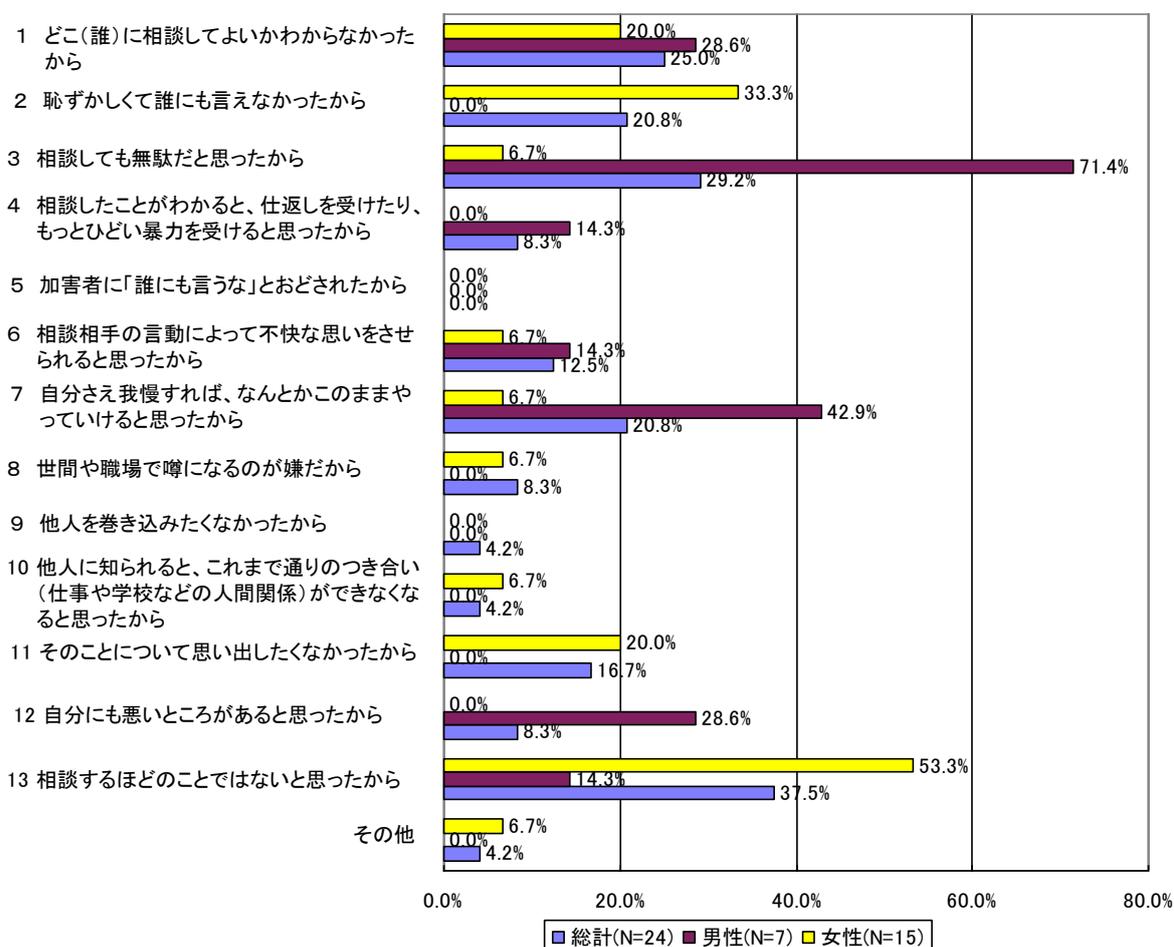
【男女別】



③問12(2)で「どこ(誰)にも相談しなかった」と回答した方におたずねします。相談しなかった理由は何ですか。【あてはまるものすべてに〇】

・全体では、「相談するほどのことではないと思ったから」が37.5%で最も多く、「相談しても無駄だと思ったから」が33.3%、「どこ(誰)に相談してよいかわからなかったから」が29.2%で続いている。

【男女別】

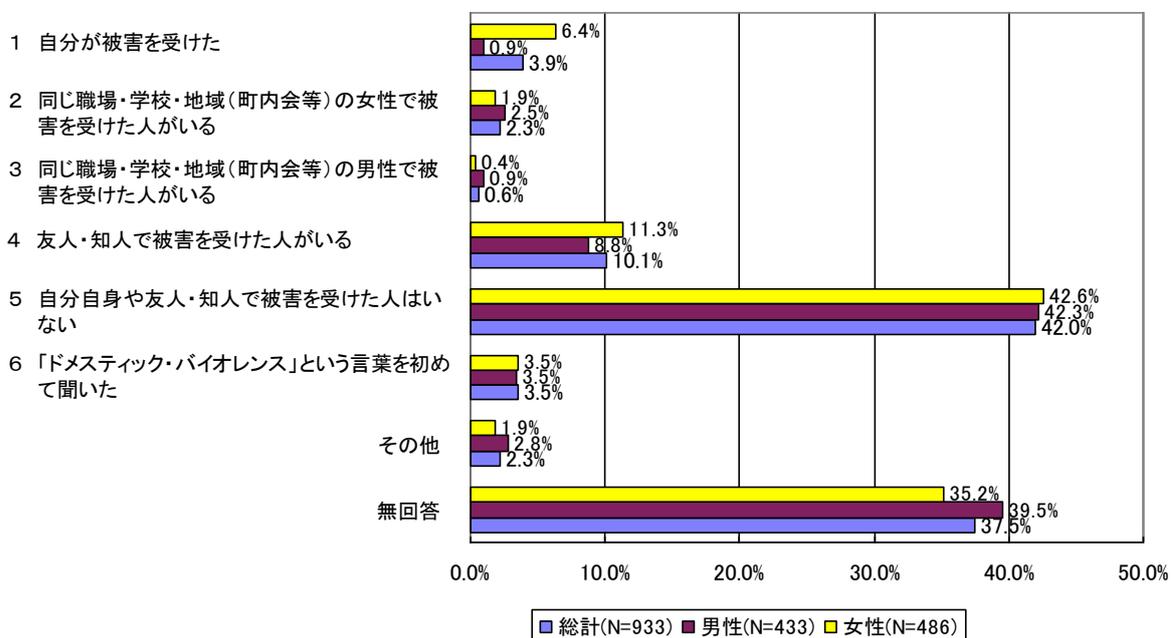


問13 DVについて

①ドメスティック・バイオレンス（DV）についてお答えください。【あてはまるものすべてに○】

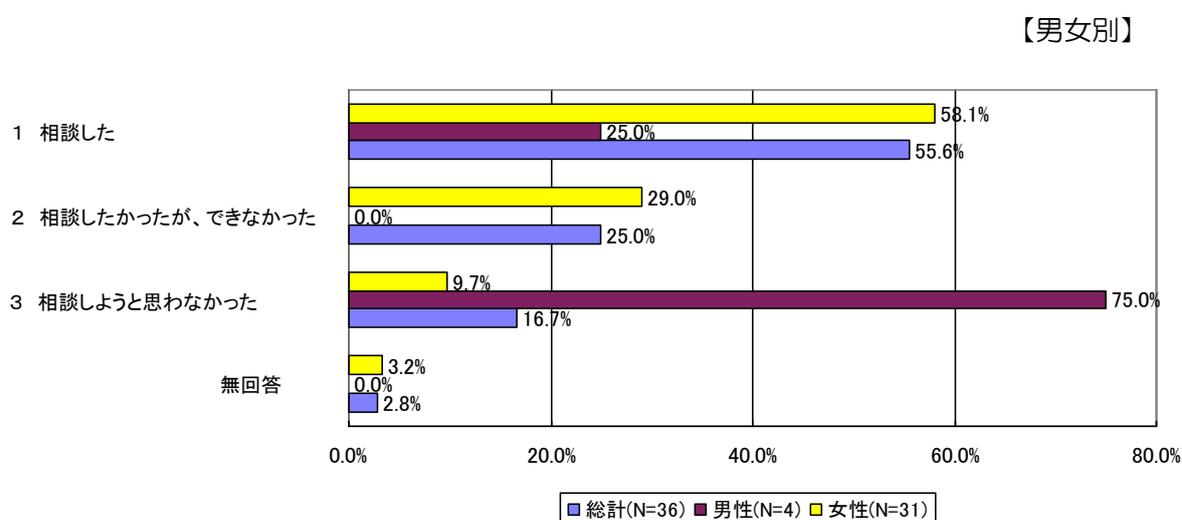
- ・全体では、「自分自身や友人・知人で被害を受けた人はいない」が42.0%で最も多い。
- ・男女別で見ると、男女とも「自分自身や友人・知人で被害を受けた人はいない」が最も多い。（男性42.3%、女性42.6%）

【男女別】



②問13(1)で「自分が被害を受けた」と回答した方におたずねします。被害を受けたときに相談しましたか。

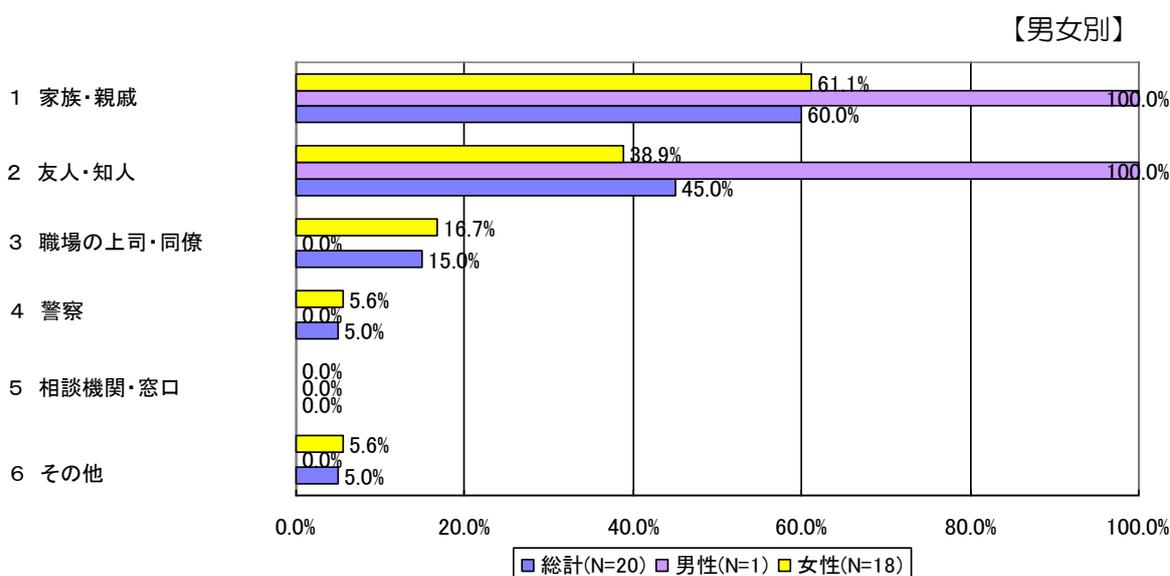
- 全体では、「相談した」が55.6%で最も多い。
- 「相談したかったが、できなかった」と「相談しようと思わなかった」を合わせると41.7%となっている。
- 男女別で見ると、男性は「相談しようと思わなかった」が75%で最も多く、女性は「相談した」が58.1%で最も多くなっている。



③問13(2)で「相談した」と回答した方におたずねします。被害を受けたとき、誰（どこ）に相談しましたか。【あてはまるものすべてに〇】

・全体では、「家族・親戚」が60.0%で最も多く、「友人・知人」が45.0%、「職場の上司・同僚」が15.0%が続いている。

・男女別で見ると、男性は「家族・親戚」と「友人・知人」に相談しており、女性は「家族・親戚」が最も多くなっている。

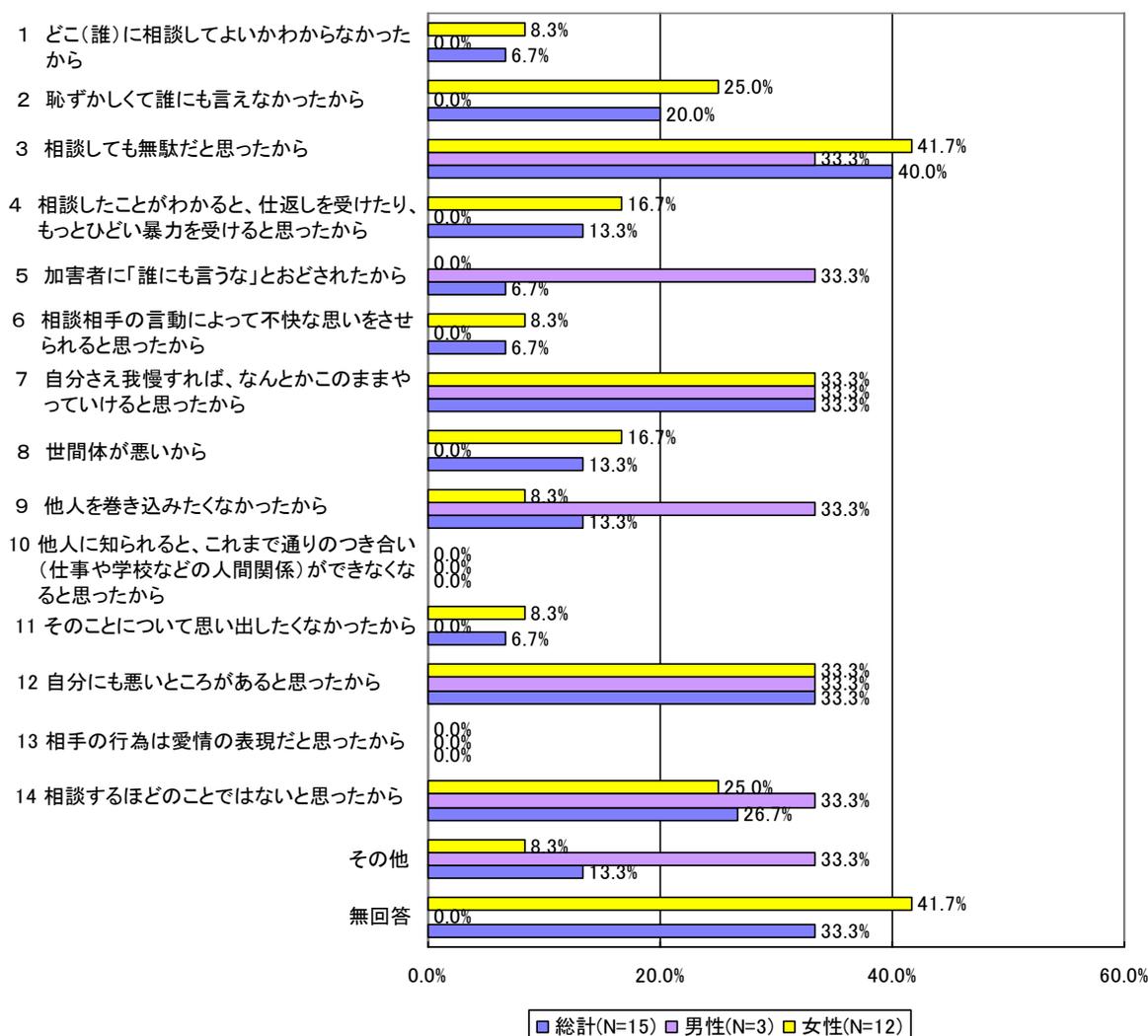


④問13(2)で「相談しなかったが、できなかった」または「相談しようと思わなかった」と回答した方におたずねします。相談しなかった理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

・全体では、「相談しても無駄だと思ったから」が40.0%で最も多く、「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」と「自分にも悪いところあると思ったから」が33.3%、「相談するほどのことではないと思ったから」が26.7%で続いている。

・男女別で見ると、男性は「相談しても無駄だと思ったから」、「加害者に「誰にも言うな」とおどされたから」、「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」、「他人を巻き込みたくなかったから」、「自分にも悪いところがあると思ったから」、「相談するほどのことではないと思ったから」、「その他」と答えており、女性は「相談しても無駄だと思ったから」が最も多くなっている。

【男女別】



11 男女共同参画の推進について

問14 あなたは、次に挙げる法律や制度の名称などについてご存知ですか。

・「内容を知っている」で最も多いのは「男女雇用機会均等法」(29.2%)で、「育児・介護休業法」(25.5%)、「DV防止法」(13.0%)と続いている。

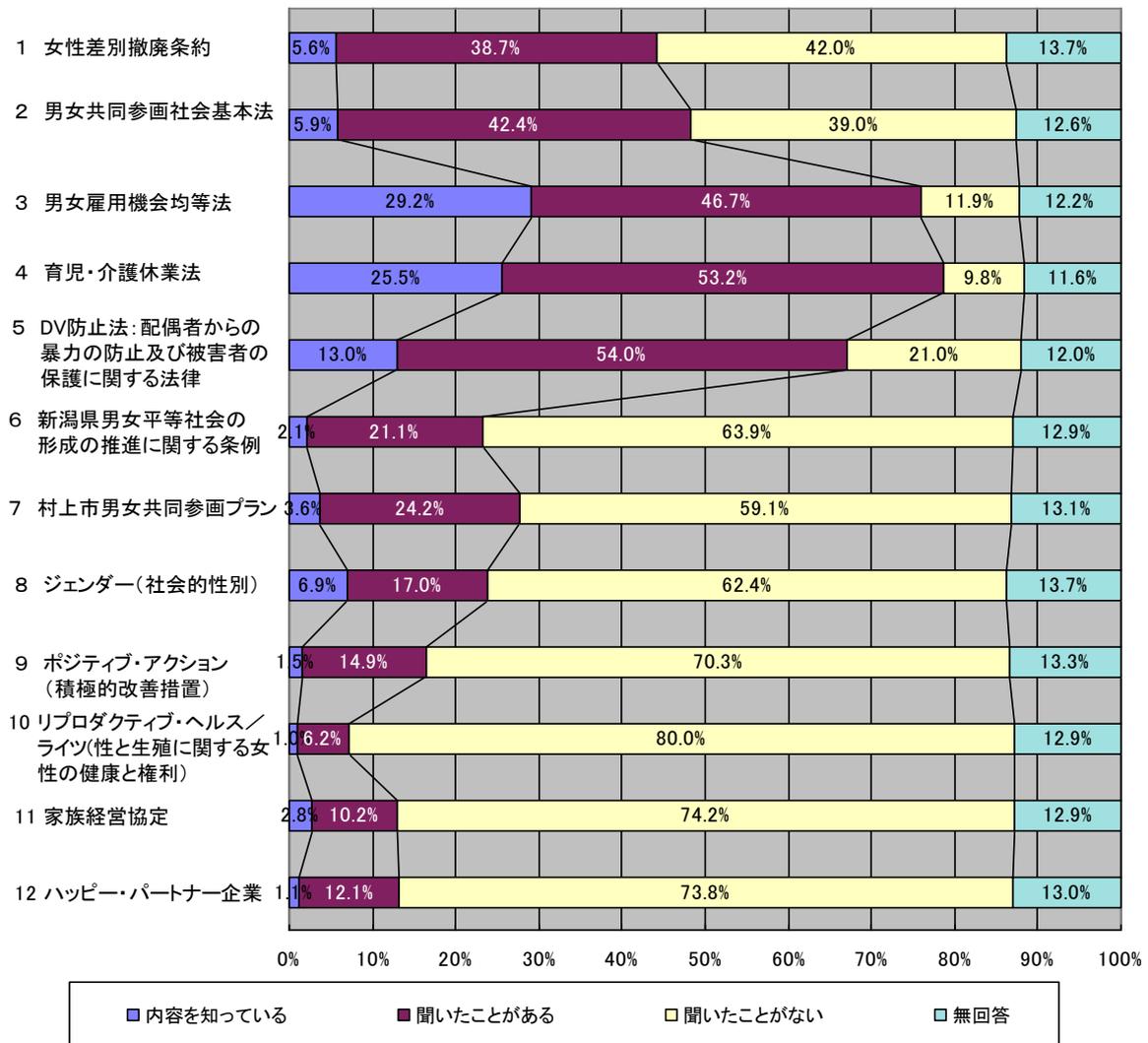
・「内容を知っている」と「聞いたことがある」を合わせて最も多いのは「育児・介護休業法」(78.7%)で、「男女雇用機会均等法」(75.9%)、「DV防止法」(67.0%)と続いている。

・「聞いたことがない」で最も多いのは「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」(80.0%)で、「家族経営協定」(74.2%)、「ハッピー・パートナー企業」(73.8%)と続いている。

・「村上市男女共同参画プラン」については、「内容を知っている」が3.6%、「聞いたことがある」が24.2%、「聞いたことがない」が59.1%となっている。

【全体】

N=933

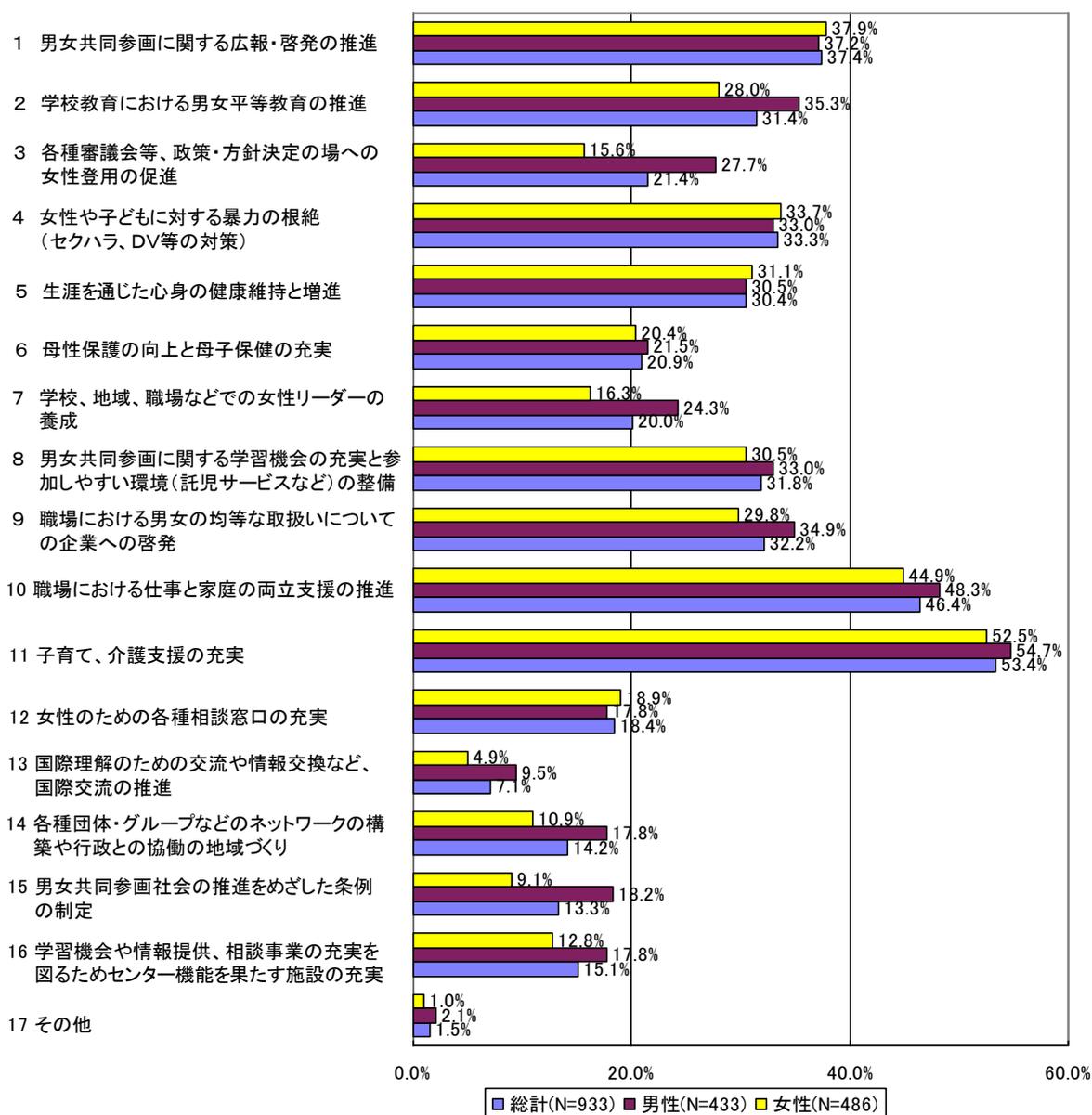


問15 あなたは「男女共同参画社会」を推進していくために、村上市は、今後どのような施策に力を入れていくべきだと思いますか。次の中からお選びください。【あてはまるものすべてに○】

・全体では、「子育て、介護支援の充実」が53.4%で最も多く、「職場における仕事と家庭の両立支援の推進」が46.4%、「男女共同参画に関する広報・啓発の推進」が37.4%で続いている。

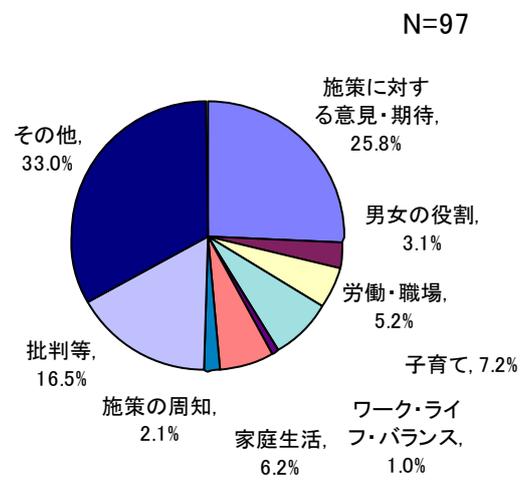
・男女別で見ると、男女とも「子育て、介護支援の充実」が最も多い。(男性 54.7%、女性 52.5%)

【男女別】



12 意見や要望など

意見や要望の内容	回答数	構成比
施策に対する意見・期待	25	25.8%
男女の役割	3	3.1%
労働・職場	5	5.2%
子育て	7	7.2%
ワーク・ライフ・バランス	1	1.0%
家庭生活	6	6.2%
施策の周知	2	2.1%
批判等	16	16.5%
その他	32	33.0%
計	97	100.0%



No.	性別	年代	自由意見記載内容
1	男性	60代以上	原始女性は太陽だったという言葉を知っておりますが、そのとおりだと思います。私もそのように努めてまいりたいと思います。
2	女性	50代	今は生活するのに大変で、参加したくとも時間もなく、このように文章とかメールで参加し希望をとる方法なら参加も可能のように思う。女性も、今は平等に教育を受けているので能力はあると思うが、時間がとれないのが現状である。村上市に一番大事なことは、教育を受けている大卒の新卒の雇用促進に力を入れないと人口が減少してしまう。若い世代が地域に貢献できる場について、早急に力を入れるべきだと思う。若い人が働くことができれば、歳をとった親がフルで働くこともなく、地域活動や貢献も50代くらいから徐々に参加できると思う。今は、意識は男女平等にあるが、みんな余裕のない生活をしている。次の世代をきちんと育成するためにも、40代、50代、60代を地域参加させるために、20代学卒の安定した生活を確保すべきである。今の子どもには夢をかけることができなく、かわいそうであると思う。
3	男性	60代以上	「男女共同参画」は、基本的には家庭生活の中で育み成長していくものと思う。相手を尊重する気持ちがあれば、社会生活の中でも十分に広い心で性差の区別なく接することができるはず。結婚してもその心があれば、困っている状態が見えた場合、手助けするのは自然なたちで出てくると思う。お互いの気持ちを大切に「ユトリ」が何より重要と思う。「和」をもって尊しとなす。
4	男性	20代	育児どころか結婚もできないほど賃金が低い。あるいは職がありません。雇用の拡大及び所得を増やすことが大事だと思います。
5	女性	60代以上	こらからの人たち(年齢の若い人たち)に協力してもらった方が良い。
6	男性	30代	すみません。あまり興味がありません。
7	男性	60代以上	意見や要望を言ったところで聞き入れてもらったためしが無いし、市役所、職員の仕事のためのアンケートではないのですか？
8	女性	20代	男女共同参画についての広報があると良い。 活動に参加できる機会がもっとたくさんあると良い。
9	男性	60代以上	男女平等の言葉を理解していない女性が多く見られる。主張はするが責任感がなく、自分勝手な主張が多すぎる。発言に責任を持つことを知らないから、仕事に関しては平等にはならないと思う。同じ責任と仕事をこなせない以上、平等は無理だと思う。
10	男性	20代	村上市の若者の男女同士での合コンの企画を村上市で開き、実行する。そうすれば明るい村上市になる。
11	男性	60代以上	私は76才になり、仕事をやめて完全に自由の身になりましたが、最近、自身の体調の不調に苦心しています。耳の聞き取りが悪いのですが、医療に行くと親身な検査もなく、器具の購入をすすめられるという話をよく聞きます。良心的な「検査機関」を公報などで知らせ、電話等で予約し診てもらえるような指導が受けられ、そしてそのような医療機関から購入しなくてもいいような検査を受けられるように広報機関がほしい。私だけでなく高齢者間では特にそんな話題を多く聞く。県立、国立の「検査機関」を分かりやすく広報してほしい。高齢者のぐちでしょうか。
12	女性	60代以上	個々の価値観の相違があるけど、自分を磨くことは大事です。
13	女性	30代	女性が社会に出るためには、何よりも保育施設や介護施設等の受入れの場がない限りは実現できないと思う。

No.	性別	年代	自由意見記載内容
14	女性	30代	個人的な意見です。男女平等に働いている夫婦は、ともに納税し、年金等を支払っています。なのに、なぜ専業主婦は保護され、第3号被保険者や減税の対象となるのでしょうか。旦那様が高収入で、働かなくていい方までが保護されるのはおかしいのでは。働けない理由となっている要介護者や子どもを手厚く保護すれば、面倒をみるために働けない女性は助かります。第3号等を撤廃し、専業主婦も年金納付させた方が良いと思います。女性自身に働くという自覚を持たせなければ、ご主人が高額所得者の方であればなおさら働かないと思います。まず専業主婦保護をやめてみては。そして働けない原因となっている要介護者や子ども(3才未満)に手当なり、減税なりしてみては。市単位ではムリでしょうが、いつも感じる不満です。 (私はまだ子どもが小さいので、働かなくても生活できる家庭であれば、なるべく子どもの側にいてあげたいです。でもそれができないので、4ヶ月から保育園にあずけ、働いています。せめて1歳までは一緒にいたかったというのが本音です。)
15	女性	60代以上	男女共同参画には関係ないと思いますが、最近の女性(未婚者、既婚者とも)はタバコを吸ったり、言葉使い等、男性より優位の人が多く見られます。これも社会のせいではなく、家庭内の育て方に原因があると私自身思っております。家族のあり方について、男性優位の社会の方がいいと私は思っております。
16	男性	30代	男には男の、女には女の役割、適材適所というものがあると思う。ただし、それとは別に、女が男の役割をする(またはその逆)ことが可能なシステムづくりはあってもいいと思う。
17	女性	60代以上	何をするにしても、その人の考えだと思います。
18	女性	60代以上	男女共同参画社会を推進していくためには、女性よりも男性がもっと理解をして、女性に参加しやすい環境をつくって、女性を外に出すような時間をつくり出すことが肝心です。男の人は、友人や外の人との関係を持ちたがるが、女性をあまり外へ出したくない。(内の仕事が多い現在は)子どもが育つまでは何もかも女性まかせの男性が多い。地域の人が、老いも若きも人ごとと考えず、子どものために昔のように注意したり、面倒をみたりできるような地域になれば、男性も女性も安心して職場でも力を発揮できるかと思えます。
19	男性	30代	アンケートをやってみて、知らない法律などが多くあったので、市としても、もっと広く勉強会等を開いていった方が良く思う。
20	男性	30代	保育園、幼稚園等の施設が現在よりも、もっと必要だと思う。また、学童保育等があれば、親が安心して仕事ができると思う。子供の安全にも良いと思う。
21	男性	30代	今回のアンケートで「男女共同参画」というものを初めて知りました。志は素晴らしいものだと思いますが、具体的な行動、活動を目に見えるかたちで示してほしいと思います。また、まずは認知度を上げるよう広報をがんばっていただきたい。
22	女性	50代	男女共同参画社会の問題は、大都市を除く日本全体の問題であり、あえて村上市でやる必要はない。仕事を減らし、公務員数を少しでも減らして人件費を減らしてほしい。私と夫は一生懸命働いても、二人合わせた年収は300万円です。あなたの年収と比べてみてください。
23	男性	60代以上	ほとんど耳にした言葉ではありませんでした。私ではなく、別の人の方が良かったと思います。
24	女性	60代以上	私は高齢であるので、若い人たちにはよく考えて、より良い村上市にしてほしい。
25	男性	60代以上	市幹部の教育育成 旧町村の文化歴史の見直し 共同参画、平等教育の考え方、見直しについての教育 基本法等々の理解・指導の場づくり

No.	性別	年代	自由意見記載内容
26	男性	60代以上	各種施策が考えられるが、肝要なのは男性中心社会をいかに変えていくのか。そのためには、男性自身がいかに変わるかにかかっていると考えます。例えば、育児や炊事、洗濯、掃除などを進んでやることに「男の活券にかかわる」と考えている人が多すぎるし、女性もそれを良しとしている。皆で協力し合う家族が築けなくて、地域の交流や和など、とても難しいことでしょう。これまでは仕方ないとしても、今からは将来の子どもたちのためにも、夫婦や家族が相談したり、家庭内の仕事を分担して生きていく姿を見せることによって随分変わっていくのではと期待しております。なお、掃除、洗濯はほぼ私の役目ですし、妻が不在のときは食事もつくりまします。様々なことをしていくと、工夫することが自然と身についてきます。永年やってきた洗濯物のたたみ方が実は間違っていたことなども家族の話題になったりしています。男性は恥ずかしがらずに家事全般にアタックしよう。
27	女性	40代	生活していく上で、男女賃金による差別が一番大きい。村上市は賃金は低いのに、物価が高いし、高所得者と低所得者に差が生じているのを村上市は分かっているのかな。特に少子化も困るが、独身者(特に女性の一人暮らし)の生活やその人の税金や暮らしを守ることを考えてほしい。 ⇒以前、相談窓口で電話したが軽くあしらわれてしまったから、市役所には期待しない。
28	女性	60代以上	問1～10ぐらいまでは何とかアンケートに答えられましたけど、問12～15までになると、質問が難しかったです。
29	男性	20代	男女共同参画についての法律や条例、用語がこんなにあることを知らなかった。男女の協力は少子高齢化対策にもつながっていくと思うので、しっかりと取り組んでほしい。
30	女性	30代	いくら法律や条例を整備し、施策に力を入れても、意識が改革されなければ有効ではない。男女共同参画に関する学習機会の場に、男性を半ば強制的にでも参加させ、これまでの社会通念、習慣、しきたりなどが、時代や法律、制度などと大きくかけ離れていることを認識させるべきです。
31	女性	30代	このアンケートを見るまでは、この事業について見聞きしたことがなかったが、大切なことだと思うので、長期的に推進してほしいと思います。
32	男性	60代以上	男性でも女性でも自立していく社会の確立が必要と思う。
33	男性	20代	もっと家庭と仕事を両立できるような、安心して子育てできるまちにしてほしい。保育園でも一時あずかりなどもしてほしい。
34	女性	60代以上	村上市男女共同参画プランというものがあることを知りませんでした。
35	男性	50代	ジェンダーフリー社会になると、「ひな祭り」や「鯉のぼり」などは不要になるのでしょうかねえ。
36	女性	60代以上	男女共同参画ということがよく分かりません。
37	男性	60代以上	賛成。努力を要する。
38	男性	40代	社会に男女が「平等に」参画していくという考えはある意味、社会的強制ではないでしょうか。男女ともに個人であり、それぞれに個性があるわけで、「男だから」、「女だから」、「男女平等に」などとある種(それぞれ)の考え方をする。一部の人の都合や理想に押しこめられることこそが、人格を尊重しないことになってしまうのではないのでしょうか。そもそも、ジェンダーとは別に、自然(生物学的)に男女は違うものと考えの方が自然なことです。前時代的な性差別は論外ですが、仕事をしたい女性は仕事を、家庭を守りたい女性は所謂主婦を、余計な圧力を感じずにできることが(男性も女性と同様です)大切だと思います。
39	男性	30代	自分は、「男は男らしく」、「女は女らしく」の方が良いと思いますが、「子育て・介護支援の充実」はぜひお願いしたいと思います。

No.	性別	年代	自由意見記載内容
40	女性	50代	男女共同参画については、とても良いことだと思うが、何もかもが男女平等なんだという考えからか、近年女性が強く、男性が優しすぎる傾向にある。女性は社会に出て知識を広めることが大事だが、もう少し男性を救う気持ちがほしい。男性にはもっと自信を持ってほしい
41	男性	60代以上	問15のような愚問はやめてください。
42	女性	40代	市役所の中でアンケートをとるのもいいのでは。一番身近の考え方…
43	男性	50代	男性も介護支援に従事できるよう、自分たちの老後を考え、明るい社会になるよう推進していくように村上市民として願いたいと思います。
44	男性	30代	主たる質問が女性向けで、意味がない。
45	女性	60代以上	学校で男女平等と教わり、現実社会に出て現実の違いに、ただびっくり、がっかりする一生でした。学校ではもっと現実を教えてほしかった。
46	男性	60代以上	何をするにも、土日の休みの日を選んでやってもらいたい。
47	女性	30代	男女を平等にする必要はないと思う。男の人には男の人しかできないこと、女の人には女のしかできないことがあるから、結婚してパートナーとして一緒に暮らしていけると思う。共同してより良くなればいい。
48	女性	50代	まわりに、結婚出産したら1年くらい子育てをしたいが、その会社が再雇用してくれないのでできない人がある。もう少し保育園を増やしてほしい。安心して子どもを生める環境にしてほしい。すぐに職場に戻れるような環境。
49	女性	50代	いくら男女平等と言っても、向き、不向きがあるから、トップに立つ人は個人個人よく見て決めるのが良いと思う。
50	女性	20代	村上市は、特に母子ともにゆとりを持てる場(施設)等が少ない気がします。子を持つ母として、女性も安心して社会で働けるような情報交換ができる場等をつくってほしいです。
51	女性	60代以上	私たちの時代は、とても良い時代だった。男性が働き、女性が家を守り、子どもを育てて、今は男女平等共同おかしな時代になった。男女共同参画の推進はいいが、村上市はお年寄りの心配のない村上市にしてほしい。結婚せずに、子どもも生まずにいい生活をして、病気になって介護を受ける人こそ高い保険料を払ってほしい。私はやっとの思いで介護保険料を払っているのにいつも思っている。少子高齢化の時代もっと考えてほしい。また、若い人の働く場所をつくってほしい。みんな都会に出て行って、若い人たちがいない。働く場所がない。もっと強い子どもを育ててほしい。
52	女性	60代以上	男女平等とか均等な取扱いというのは、男女同じ仕事をするのではない。男女は違いがあるし、個人はもっと違いがある。個人の特性、能力を自他ともに見つめることが必要。男性だから女性だからでグループ分けするのではなく、個人として能力を磨き、社会の中での立ち位置を持つことが大事と思う。
53	女性	20代	職場結婚で退職せざるを得なかったが、いまだその必要性が分からない。会社にとっても経験者がいる方がいいと思うが、今後同じような状況の方が出てくることがないように、国や県、市で女性の仕事について環境を整えてほしい。また、子育てにおいて職場内の整備も進めてほしい。
54	女性	40代	何も変わらない、アンケートを集計したところで何も変わらない。指揮する人が変わらない限り、社会も会社も何も変わらない。
55	男性	50代	村上市で男女共同参画を進めてほしい。しかし、今は子どもの学校教育から進めた方がスムーズに進むのではないかと。DV、セクハラは今すぐやってほしい。

No.	性別	年代	自由意見記載内容
56	男性	60代以上	男女共同参画とは何かが、具体的にイメージできないので、設問ごとに勝手な想像のもとで回答しました。
57	女性	30代	この質問をつくった方は男性でしょうか。女性に対して失礼な言い方がされている点がかかなり気になりました。もう少し表現には気を使う時代ですよ。
58	女性	60代以上	調査内容が少し難しいです。分かりにくい点がたくさんありました。
59	女性	20代	村上市になってから何かと不便になった。他の市のやり方を共有していった方が良いと思う。もう少しサービスを良くすべき。
60	女性	60代以上	DV(ドメスティック・バイオレンス)を犯す人間に対し、地域社会(村上市)でも根絶を目指して、取組を強化すべし。
61	男性	50代	村上市、岩船郡はまだまだ封建的、閉鎖的に思われます。集落においても何か新しい行事をやろうと言うと、足を引っ張られたり、出るクイを打たれるようで、なかなか前に進めません。そんな中で、女性が意見を言ったり、会議に出席することすら難しく、女性の役員起用など、はるか遠く感じられます。地域社会で少しずつでも女性が活躍し、地域、組織がいきいきしてくれば、当集落でも変わるのではと思います。
62	男性	40代	共働きの家族のために保育園の延長保育時間を拡大していただきたい。また、土日保育も条件等を緩和することで、より働きやすい社会になると考えられます。
63	女性	40代	地域的に男性優位で、「女だから・・・」、「女には・・・」などと言われない時代が来るのも楽しみですが、女性の役割にも大切さを感じているので、どちらが良いか悪いかは決めかねる気がします。
64	女性	40代	男女共同参画やジェンダーはシンプルだけど、個々により受け止めが違うので難しいですよ。よくコンパなどでは、女性より男性の方が参加費が高かったりします。これって変ですよ。
65	男性	50代	男女共同参画社会とはどんな社会ですか。目指すべき姿、あるべき姿は人それぞれ違うのではないですか。
66	男性	50代	男女平等と言われているが果たしてどうでしょうか。男女はそもそも性が違うし、体力も身体の構造も別なのだから、平等に生活することは不可能と考える。男は男に合った仕事や家庭の役割で、女は女にしかできないものを持っている。男と同じように女はできない。何もかも平等という考え方には少し納得しかねると感じている。
67	女性	60代以上	私たちの時代には、子供、教育、家事全てが女の仕事として、それが当然だと思われ、今の嫁さんたちには考えつかないと思われそうですよね。姑、小姑に対しても良くして当たり前のような扱いを受けました。男は外で仕事をしてるからと姑に言われたこともありましたが、今の制度はいいですよ。子育てだって皆、共同です。それに職場でも、男性にも育児休暇があつていいと思います。子育ては本当に大変だから。これからは大いに男性陣も協力すべきです。
68	男性	60代以上	大型店の立地、高速道の開通によって村上市に活気が見受けられる。これに伴って雇用の拡大も期待しているが、シャッター通りの村上市内に何か寂しさを感じます。1市2町2村の合併で選ばれた市長にもっと元気に行政に取り組んでほしいです。
69	女性	50代	男女平等と言われていますが、私はそうは思いません。男は男にしかできないことがあるし、女は女にしかできないことがあります。無理に平等、共同とせず、お互いに認め合って何事も進めていけばよい。平等、平等だと言っても、肉体的、精神的にも男と女は違うのだから、無理することはないように思う。

No.	性別	年代	自由意見記載内容
70	男性	60代以上	人口減方向に向かっているの、家族助け合いで生きたい。高齢社会になってきた。家族と一緒に生活ができるように職場をつくっていただきたい。特に村上地域は職場がない。そのため、学校(高卒者)を出ると都会に出ている。高齢者に対して良い方向性をつくってもらいたい。
71	男性	40代	アンケートの回答をしているうちに、女性差別の間が多く不快に思えた。こういうアンケートならば、女性限定にアンケートをとった方がいいと思う。(大事なことは思うけど)女性の立場向上は分かるが質問が偏りすぎ。
72	女性	40代	「男女共同参画」の具体的な内容がよく分からないです。「全て共同にする」ということですか。男性にしかできないこと、女性にしかできないこともあると思うので、その差も考えながら、住みやすい市になればいいと思います。
73	男性	30代	村上市に限ったことではありませんが、現在の異常な労働環境(際限がない長時間労働、低賃金など各種労働法を無視した働かせ方)が改善されない限り、男女共同参画社会の推進は難しいのではないかと考えております。
74	女性	50代	私自身、結婚もしていませんので実感がわかりませんが、子どものときから男女の区別なく家事などを手伝わせることにより、柔軟な発想を持てるようになるのではないのでしょうか。晩婚化が進む中、今のところ女性の方が大きな決断(改姓、仕事の継続、出産子育て等)を迫られることの方が多いような気がします。 市の「男女共同参画」のこと、今まで知りませんでした。(私だけ?)情報不足なのではないのでしょうか。
75	女性	30代	私の上司は女性です。上司が、「子どもが小さいときはやっぱり仕事を休みがちになる。自分は祖父母の協力があつたから、子どもが具合が悪くても病院に連れて行ってきてくれた。祖父母の協力がないと両立は難しいよね」と言っていたことを思い出した。私もそのとおりだと思う。子供を病院に連れて行っても、周りはほとんど女性で、男性が来ていることは少ない。夫の仕事より妻の仕事の方が楽だという意識があるせいなのか、それとも病院でも学校、保育園の参観でも女の人がいっぱいいて、居づらいと思うからなのかは分かりませんが…。家族で、夫婦で協力して子育てができればいいなと思います。
76	女性	30代	市外から嫁いだ者ですが、主人の実家に限ってなのか、村上市が特にそうなのかはよく分かりませんが、男性が圧倒的優位的な雰囲気強く、その状況に耐えきれずアパートに出ました。主人は幸い義父とは違って、私の仕事にも育児にも理解がありますが、封建的な男性優位的な考えは本当にウンザリです。村上市でも、保健師さんたち(女性)で対応が素晴らしい方にも何人か出会いましたが、年齢が上がるだけで役職に就けたようなオジサン達よりずっと有能だと思います。市でも役職手当を上げてでも、実力によって上上がった方には責任とともに報酬も上げていただき、どんどん競争力をつけていただけると市民はありがたいです。一般企業では、競争は当たり前ですからね。
77	女性	60代以上	世の中には、いろいろな理由で働けない人もいますので、そういう人たちにも手をさしのべてほしい。
78	女性	60代以上	家族の理解と協力が根本のように思われます。
79	男性	30代	性を曲げることはできないのだから、適材適所を伸ばしていった方が良く思う。また、村上市は他の市町村と比べ給料のレートが低いので、必然的に家庭に影響が強い。→給料が低い。→休日出勤、残業で仕事の時間割合が増す。→余暇の時間が少なくなる。
80	女性	40代	村上には、男の方がエライ、女は黙っているような考えが根強く残っているように思うので、共同参画というのはなかなか難しいのではないかとと思う。根本的な意識を変えない限り無理だと思います。
81	男性	40代	リストラされる時代に、企業へ協力・期待を求めるのは無理・無意味である。本件の目的は何かを明確にしないとダメ。何でも女性が推進していくと女性が苦しむことになる。

No.	性別	年代	自由意見記載内容
82	男性	40代	このアンケートは何の役に立つのでしょうか。意図が分からない。
83	女性	60代以上	こういうアンケートは、もっと若い人にしてください。
84	女性	30代	この企画について、もっと広く多くの人に知ってもらうことで意識が変わり、活かされていくのではないかと思う。実際に私は、このアンケートによりこの企画を知りました。これからどのように変わっていくのか、皆さんの力に期待しております。
85	女性	40代	男女共同参画とは何かを、このアンケートを読むまで分からなかった。村上市で推進するのであれば、たくさんの人にこの言葉の意味や重要性を分かってもらってからでないと、関心はいかないと思う。
86	女性	30代	男女は平等ではあるが、均等ではないと思う。女性は妊娠、出産という大仕事があるので、女性にしかできないこと、男性にしかできないことがあって当然だと思う。ある程度の女性差別(区別)はあっていいと思う。それで女性は特をしていることもあると思う。(例えば力仕事を男性がやってくれるとか)男は男、女は女らしく生きていくことが、逆に今の世の中必要なことだと思う。
87	男性	50代	村上市のような仕事のない低収入地域は、男女共同参画よりもそちらを解消する方が先なのではないか。私の職場でも男性社員が仕事を休んで育児をすることがありますが、それは単に奥さんの給料の方が高いからです。国や県からの指示でこのようなプランのアンケートをとっているのかも知れませんが、ステレオタイプの考え方はやめて、村上市に合った方針をとった方が現実的ではないかと思う。
88	男性	30代	子どもが病気になると、会社を何日も休まなければならない、会社に迷惑を掛ける。祖父母がいない場合は大変です。村上市にも託児所をつくってもらいたいです。
89	男性	20代	男女共同参画だけではないが、様々な面で偏見や先入観、現代ではおかしいと思わざるを得ない慣習にとらわれている人が多いと感じている。多様化する現代社会に乗り遅れないためにも、村上市全体の早急な意識改革が必要である。
90	男性	60代以上	問15は、1～17全てを○にしたいと思った。
91	女性	20代	小学、中学、高校と、女性差別や男女平等についての講演を聞く機会があり、また先生にも教えられてきました。若い世代は、そういう教育を受けてきたからか、女性の地位について、男性と平等と考える人が多いと思う。おじさん、おばさんほど「女だから」という人が多い気がする。しかし、村上のおばさんは強い。それに続く女性たちもそうでありたい。もっと地域のいろいろなところで女性が輝いてほしいと思う。ぜひ、男女共同参画に関する広報を増やしてください。
92	女性	50代	私自身、障がい者の夫との生活のため、体の面でできることと、できないことがあります。男女に限らずお互いのできることをしています。姑の介護(普段は兄夫婦と生活して交代でみる状態)にしても、体の不自由な夫には無理なため、お互いのできる介護をしています。私共の子どもはいますが、縁あって未成年者後見人をやらせてもらっています。どちらにしても、家族の理解、考えがとても大切となっています。差別などない方が良いに決まっていますが、男だから女だからではなく、お互いの得意分野も生かして、お互いのできることを協力してやっていけたらと思っています。(理想ですが・・・) 市の行政や仕事場での諸々の支援の充実は本当に大事なことでありますが、個人個人の考え方、意識の向上がなければ難しい問題だと思っています。私は恵まれていると思いますが、相談もできず困っている方も多いと思います。どうぞ安心して相談できるように、力を入れていただけたらと心より願っています。
93	女性	50代	結婚後も安心して仕事が続けられるように、子育て、その他を支援し、村上市がモデルとなるような活気のある、明るい社会をつくることができたらいいと思います。

No.	性別	年代	自由意見記載内容
94	女性	50代	<p>まだまだ古いしきたりがこびりついているために、個人の意識があっても、地域や先人の方々の意識が変わらなければ、自己中心な考えが先になり、広く多くの方々のためにという意識に欠ける。全戸に配布されている市政だよりをもっとしっかりと読んでいれば、私自身の意識も変わってたかなと思う。</p>
95	女性	20代	<p>他の市町村に比べ、子育て支援が遅れているため、女性が就業しにくくなり、村を離れる人がいるのではないのでしょうか。他の市町村の良いところをどんどん取り入れてほしいです。(例えば、休日遊べる施設をつくる。24時間保育、休日保育等…。現在は休日保育がとても頼みにくい環境です。)</p> <p>また、他の市町村に比べ、就業場所もとても少なく感じます。もっと商業施設の誘致に力を入れ、就業場所の確保をしたらどうでしょうか。</p>
96	女性	50代	<p>意識調査をする主旨はよく分かるが、設問が多く、専門的すぎる。</p>
97	女性	30代	<p>やはり、いろいろ施策があっても、市民・国民への浸透・理解はまだまだのような気がします。男性上位というか…。何でもかんでも男女平等にすれば良いというものでもないとも思うこともあります。男性と女性は、身体的特徴も考え方も違うところがあるので、難しい問題ですよ。</p>

13 各設問における「その他」の意見

問4（2） 介護をする場合に、家庭内の分担はどのようにするとよいと思いますか。

デイサービス、ホームヘルパー他人の助けも借りる。	女性、40歳～49歳 ほか1名
手のあいてる方がやる。	男性、30歳～39歳 ほか1名
仕事を持っている人は分担は少ないのは仕方がないと思う。	女性、50歳～59歳
女性が健康のときは女、時として男も協力する。	男性、60歳以上
誰を介護するかにもよるだろうし、他の要因もありいちがいには答えられない。	女性、30歳～39歳
できることは皆でするのが良い。3と同じ気もしますが。	男性、30歳～39歳
介護を受ける人が望むように内容によって分担。	女性、60歳以上
ケースbyケースが良い。	女性、50歳～59歳
女性が受け持つ場合がまだまだ根強いと思うが夫の理解が必要である。	女性、50歳～59歳
被介護者による。	男性、40歳～49歳
それぞれ、できることをやっていった方がよい。	女性、50歳～59歳

問4（3） 今後、男性が女性とともに介護に参加していくためには、どのようなことが重要になると思いますか。

経済的な面で国等より支援がほしい。	男性、60歳以上 ほか1名
在宅介護者には補助金等必要。	男性、60歳以上 ほか1名
介護施設の充実と増設。	男性、60歳以上 ほか1名
本格的な介護は仕事との両立は無理。在宅介護サービスの充実が必要。	男性、50歳～59歳 ほか1名
生活費の確保。	男性、50歳～59歳
中学高校で介護の基礎を教える。	女性、60歳以上
男性の方が都合の良い役割を与えること。	男性、30歳～39歳

問5（1） 女性はどのような働き方をしていくのが理想だと思いますか

個人の自由、人それぞれ。	女性、40歳～49歳 ほか9名
ケースパーケース・理想の形はない。	女性、60歳以上 ほか3名
家庭で何か安定した収入で育児ができないか考えられないか。	男性、60歳以上
出産・育児休暇を十分にとれ、もとの職場に復帰するのがベスト。	男性、50歳～59歳
3ですが、くれぐれも女性だけに負担がかからぬように。	女性、60歳以上
相談して決める。	男性、20歳～29歳
仕事を持ってもらいたい、育児をメインに考えてもらいたい。	男性、30歳～39歳

問5 (2) 現実、あなたはどのような働き方をしていますか。

介護を機に仕事をやめて家庭に入った。	女性、40歳～49歳 ほか1名
子供を見る人がいなくなり家庭に入り保育園入園と同時に働きました。	女性、50歳～59歳
結婚出産後仕事を持ち続けたが、子供の病気入院を機に仕事をやめて家庭に入った。	女性、40歳～49歳
結婚をし育児の途中で事情が生じ仕事についた。	女性、50歳～59歳
結婚し、出産し、仕事を持ち続けたが、仕事・家事・育児・つき合いなどの負担にたえきれずに退職した。	女性、30歳～39歳
出産を機に仕事をやめて家庭に入ったが、経済的に苦しくなってきたため、やむを得ず仕事を始めた。	女性、30歳～39歳
出産を機に仕事をやめたが、再び仕事に就いた（育児などが一段落したわけではない）。	女性、20歳～29歳
結婚出産し仕事を持ち続けたが家族の病気で家庭に入った。再び仕事についた。	女性、40歳～49歳
夫の転勤でやむを得ず離職し、その後別の仕事についた。	女性、40歳～49歳

問5（3） 「理想」と「現実」が違っている理由について

自営業（店）で両立しなければならなかった。	女性、60歳以上
子どもがいることでなかなか働き口が見つからない為	女性、40歳～49歳
年齢的。	女性、60歳以上
子どもをみてくれる人がいなかった。	女性、60歳以上
自分自身の意思で選択。	女性、40歳～49歳
東京で暮らしていたが実家の方に帰って来て仕事についた。	女性、60歳以上
夫が関東の方で仕事をしていたから。必然的。	女性、50歳～59歳
以前働いていた職種は結婚出産後、働くのが難しいため。	女性、40歳～49歳
義母と同居のため。	女性、40歳～49歳
まだ子供が小さいので。	女性、30歳～39歳
仕事につきたいが、年齢が上がると職がなかなか見つからない。	女性、40歳～49歳
自分で子どもを育てたかったから。	女性、50歳～59歳
自分で望んで家庭に入った。	女性、50歳～59歳
子供との時間が少なかった。	女性、40歳～49歳
自分自身の考えが変わった。	女性、50歳～59歳
出産を期待されすぎて、未だに仕事をする気になれない。	女性、40歳～49歳
育児が一段落してないから。	女性、20歳～29歳
祖父母(父・母)が子どもを見てくれた。	女性、40歳～49歳
仕方がないと思います。	女性、40歳～49歳
希望の仕事につけない、子どもの保育など。	女性、60歳以上
自営を始めたので、前の会社には行けなかった。	女性、50歳～59歳
女も社会に出て、活躍できる場があることが望ましい。	女性、60歳以上
自営業、家での仕事があったため。	女性、50歳～59歳
会社の経営者として夫に協力した。	女性、50歳～59歳
自ら寿退社を望んでました。	女性、20歳～29歳
子どもができない。	女性、30歳～39歳
夫の転勤と正社員になれる職場がない。	女性、40歳～49歳
家族（夫側）が育児等その他も協力してくれなかった。	女性、50歳～59歳
まだ出産していないため。	女性、20歳～29歳
まだ結婚して間もないため出産はこれからの予定。	女性、20歳～29歳
家庭が大切だったので。	女性、40歳～49歳
子育てのため。	女性、60歳以上
子供が出来なかった。	女性、50歳～59歳
育児を担ってくれる人がいなかったため。	女性、60歳以上
自分自身の体の不安と介護等のため。	女性、50歳～59歳
家族の間で話し合って決めた。	女性、50歳～59歳
家業のある（自営）嫁ぎ先だったので、働きつづけています。	女性、40歳～49歳

問6 村上市を全般的にみて、女性が働く環境についてどう思いますか。

働く場が少なすぎる。	男性、60歳以上 ほか2名
働く場がない。	女性、50歳～59歳
正社員登用がない。	女性、20歳～29歳

問7 女性が働き続けるためには、今後どのようなことが必要だと思いますか。

働く場や職種の充実。	女性、30歳～39歳 ほか2名
被雇用者を守る法律の充実、使い捨て防止や雇用制度の見直し。	男性、40歳～49歳
病児保育。	男性、30歳～39歳
子供と同じ時間学校にいている時だけに働く。	女性、50歳～59歳
夫の収入が良ければ働く必要はなく家庭に専念できると思う。	女性、30歳～39歳

問8 (1) 学校生活の中で次のようなことを感じたり、経験したことがありますか。

みんなの前で自分だけ何回も怒られた。(同じことをしていたのに)	女性、60歳以上
名簿は男子が常に先だった。今は異なる学校が多い。	男性、50歳～59歳
ひいき。	女性、40歳～49歳
クラスメートにいじめられたりした。	女性、40歳～49歳 ほか1名
生活教育（モラル、マナー）の不十分さ。	男性、40歳～49歳
時代間隔に差がありすぎて答えられない。	男性、60歳以上 ほか1名

問8 (2) 学校生活以外の場（家庭や身のまわり）で、次のようなことを経験したことがありますか。

長男だから地元に帰ってくるのは当然だ。	男性、60歳以上
男子だから上を目指せ、家を建てろなど。	男性、40歳～49歳
夫と夫の家族から、特別の役割を強く求められ、またそれが当然だと言われ続けている。	女性、30歳～39歳
家の格式で、町内・集落内で序列が決まっている(当事者の能力に関わらず)。	男性、60歳以上
祭りの獅子舞は男子のみの参加だった。	女性、20歳～29歳
今と違って昔は男女の隔てはなかった。	女性、50歳～59歳
何でも長男が一番目。	男性、60歳以上
長男だから家業を継げと言われた。	男性、60歳以上
長男、長女だから家を継ぐとかいう事。	女性、50歳～59歳

問9 PTAや町内会などの地域団体で、役員に男性が多い主な原因は何だと思えますか。

会合に女性の参加が少なく発言がほとんどない。	男性、60歳以上
それまでのなりゆき。	男性、20歳～29歳
町内会は酒席の習慣があるため。	男性、50歳～59歳
男性の方が能力が高い人が多いように思う。	女性、50歳～59歳
PTAでは女性の役員も増えてきているが、地域ではまだ昔の風貌が残っているのでは・・・	女性、50歳～59歳
金持ちの区別が多く進んでしまい中に入りにくくなって。	女性、50歳～59歳
議事や問題を解決できない。	男性、40歳～49歳
大事な決定事やまとめ役は男性の方が向いていると思う。	女性、50歳～59歳

問11 今後、男女がともに家事、子育てや教育、地域活動に積極的に参画していくために、どのようなことが必要だと思えますか。

経済的に充実し余裕のある生活ができる社会にすること。	女性、50歳～59歳
男性の意識改革。	女性、30歳～39歳
経済面での余裕が精神面や体力面に影響を与えると思うので、雇用の充実が必要。	女性、30歳～39歳
行政からのもっともっと育児、他の支援が必要。	男性、50歳～59歳
保育施設を充実させる。	女性、20歳～29歳
年寄りの古い考えを改めさせる。	女性、60歳以上
現状のままでよい。	男性、40歳～49歳
男の意識が変わらないと何を变えても変わらない。	男性、40歳～49歳
余裕のある社会の実現。	男性、50歳～59歳
男女どちらもお互いできることを話し合い、協力しあえるよう、自らが意識を変えていくよう努力する。	女性、50歳～59歳
家族間、夫婦間での話し合い。	女性、50歳～59歳

問12 (1) セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)についてお答えください。

軽度のものは多々あると思うが、大ごとにするほどのものはまだ身近にはない。	女性、40歳～49歳
セクハラよりパワハラが多く感じる。	女性、30歳～39歳
パワハラで上司が言葉の暴力はしばしばある。	女性、40歳～49歳

問12 (2) 被害を受けたときに、どのような対応をしましたか。

110番通報した。	女性、40歳～49歳
小学生のときだったので、セクハラだと分からなかった。	女性、20歳～29歳

問12（3） 相談しなかった理由は何ですか。

中学生だったから。	女性、40歳～49歳
-----------	------------

問13（1） ドメスティック・バイオレンス（DV）についてお答えください。

家族で被害を受けた人がいる。	男性、20歳～29歳
口論になり妻にしたことがある。	男性、20歳～29歳
DV支援にかかわった。	女性、60歳以上

問13（4） DV被害を相談しなかった理由は何ですか。

言葉による暴力・精神的なDVなので、命に危険があるわけではないし、あざやけがなどの証拠も残らない。	女性、30歳～39歳
---	------------

問15 その他の記述

男女共同参画なのだから男性保護、父子保健、保障も考えるべき。	男性、50歳～59歳
推進していくのは良いけど、もっと年寄りを大事にしてもらいたい。	女性、60歳以上
行政がまず手本を示すべきである。	男性、50歳～59歳
現状のままでよい。	男性、40歳～49歳